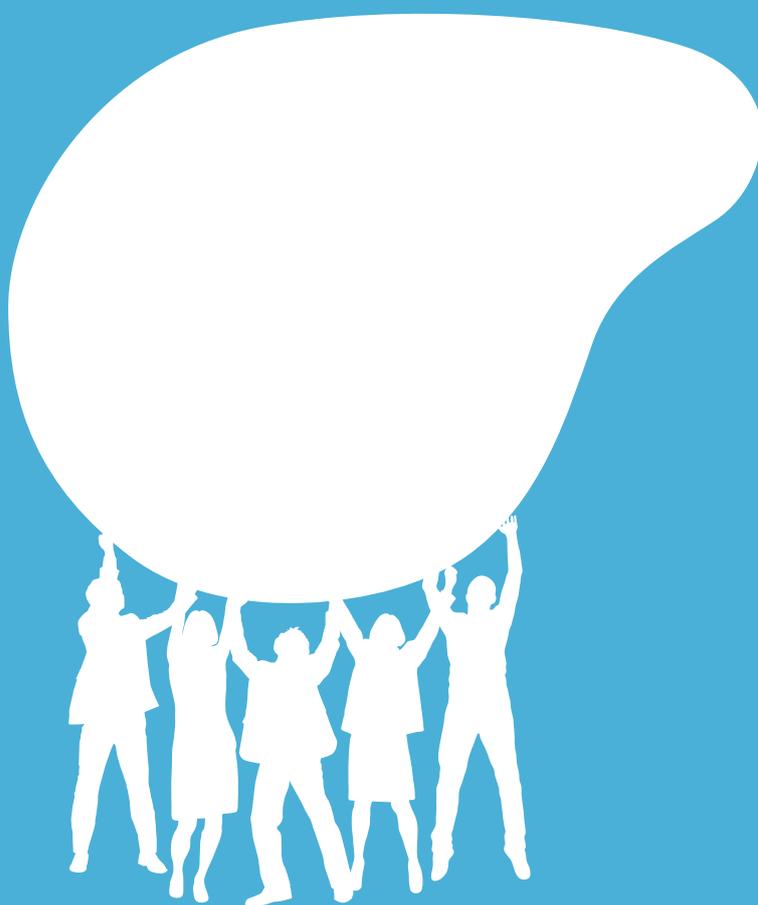


肝疾患サポートチームの活動報告 ～ 3年間の歩み～

拠点病院活動としての取組



岡山大学病院
岡山県肝疾患診療連携拠点病院

目 次

はじめに

岡山県肝疾患診療連携拠点病院としての岡山大学病院の役割	1
一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けて下さい	2
岡山大学病院の肝疾患サポートチーム	3

肝疾患サポートチーム定例会

肝疾患サポートチーム定例会について	4
-------------------	---

活動紹介

1. 岡山県肝炎相談センター 相談事業	18
2. 抗HCV治療を受ける患者の支援	20
C型肝炎ウイルス治療におけるチーム支援	21
C型肝炎ウイルス治療の実際の流れ	22
3. 受診勧奨活動	23
4. 院内肝臓病教室・家族支援講座	25
5. 出張肝臓病教室	29
6. 院内 世界肝炎DAYイベント	35
7. 無料肝炎検査イベント	41
8. MOMO肝通信の発刊	55
9. 肝疾患診療連携拠点病院事業に関わる会議等	66
10. 論文・学会・その他	70

思い出写真集	73
--------	----

メンバー紹介	82
--------	----

お役立ちツール	88
---------	----

あとがき	99
------	----

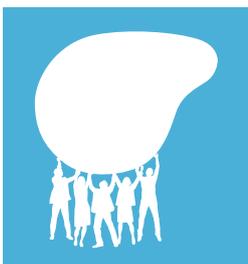


イラスト 下村泰之

主筆者紹介

表紙

目次

岡山県肝疾患診療連携拠点病院としての岡山大学病院の役割 一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けて下さい 岡山大学病院 肝疾患サポートチーム	岡田裕之 高木章乃夫 池田房雄
肝疾患サポートチーム 定例会 肝疾患サポートチーム 定例会 議事録要旨 定例会で紹介された文献一覧	難波志穂子 細羽章子・山崎典子 笠原郁子
岡山県肝炎相談センター 相談事業 活動紹介 抗HCV治療を受ける患者の支援 活動紹介 受診勧奨 活動紹介 院内肝臓病教室/家族支援講座 院内肝臓病教室 活動実績 家族支援講座 活動実績 出張肝臓病教室 活動実績 スライド 院内世界肝炎デー しおり スライド 無料肝炎検査イベント しおり MOMO肝通信の趣旨 MOMO肝通信の発行 肝疾患診療連携拠点病院事業に関わる会議/発表/論文 等	小山道弘 山崎典子 森光友佳 森光友佳・横田崇志 下村泰之 山崎典子 安中哲也 山崎典子 長谷川祐子 下村泰之 笠原郁子 大久保進之介・岩井賢司・笠原郁子 難波志穂子 犬山奈穂美・難波志穂子 笠原郁子 難波志穂子 細羽章子・難波志穂子 難波志穂子 笠原郁子 笠原郁子・小山道弘
思い出写真集 メンバー紹介 お役立ちツール あとがき	下村泰之 笠原郁子・犬山奈穂美・二宮美咲・山下美穂 笠原郁子・難波志穂子 小山道弘・難波志穂子

岡山大学病院の肝疾患サポートチーム

岡山大学病院消化器内科助教

池田 房雄

平成22年に肝炎対策基本法が制定され、平成23年には肝炎対策の推進に関する基本的な指針が定められました。この指針が今年5年ぶりに改訂され、主たる内容として、「職域での検診等の利便性に配慮した検査体制を整備すること」、「国は地方公共団体・医療関係者等との連携を強化し肝炎ウイルス検査の受検促進、検査結果が陽性である者への適切な肝炎医療の受診の推進」などが追加されました。こうした国の施策に基づき、患者や家族のニーズを十分に反映させたきめ細やかな全人的医療を提供するためには、様々な職種が専門性を活かし、協働することで、仕事や日常生活、家族の悩みなど幅広い相談にも対応することが可能となり、解決の糸口を見つげられることも増えます。

当院では2013年の肝臓病教室の開催をきっかけに肝疾患サポートチームを立ち上げました。月2回の肝疾患サポートチーム定例会で全国拠点病院会議や肝炎情報センターの情報や厚生労働省ウイルス肝炎研究班の協議内容の報告などを参考にして、年間計画を立てています。現在、職域や地域などと連携した肝炎ウイルス陽性者の掘り起こしが重点課題であり、肝炎ウイルス検査イベントは、岡山大学病院の職員だけではなく岡山県内の様々な地域の保健所や医療機関、香川県とも積極的に連携し、取り組んでいます。さらに、患者や家族のニーズに合わせて、肝炎だけでなく、糖尿病やピロリ菌、歯科衛生など肝臓病と様々な繋がりのある領域のスタッフとも連携し、活動の幅を広げているところです。一つの活動が他の活動に広がる場合も多く、枚挙に暇がありません。また、これらのチーム活動の意義について検証し、新たなエビデンスとして発信していきたいと考えています。

- 12/11 **第14回 肝疾患サポートチーム 定例会**
 ・第4回肝臓病教室決定事項報告
 ・次年度肝臓病教室の計画/方針について協議
 ・次年度の予定報告
 [世界肝炎DAYTに向けてのイベント開催計画
 ◆院内肝炎キャンペーンを企画
 ◆院外にて出張採血キャンペーン/肝臓病相談会を企画
 ・チームとしての年度計画表や全体目標を設定することが大切
- 12/22 **第15回 肝疾患サポートチーム 定例会**
 ・院内褥瘡キャンペーンでの様子を参考に院内肝炎キャンペーンの内容協議
 課題:
 ◆目的、対象の明確化
 ◆来場者が偏見を持たれないようにする工夫が必要
 ◆人員配置の難しさ
 目的:
 ◆一般市民に対する肝臓病の理解の啓発活動
 ◆医療者に対する肝臓病の理解の啓発活動
 提示物:
 ◆院内で実施された研究の開示
 ◆肝炎サポートチームの活動報告
 ◆肝炎治療薬の変遷
 ◆肝臓病に関する取り組み紹介
- 1/8 **第16回 肝疾患サポートチーム 定例会**
 ・ダクラタスビル/アスナプレビル導入患者の進捗状況報告
 [当日導入者が増えたため業務が煩雑
 説明漏れなどないように注意必要
 ・世界肝炎デーについて協議
 院内キャンペーンは1週間パネル展示
 ・院外キャンペーンに向けて準備開始
 ・2015年度肝臓病教室の計画/方針報告
 テーマは肝臓の話とトピックスにする
 ・出張肝臓病教室のリーフレット作成報告
 ・肝疾患サポートチーム勉強会予定報告
 ・出張肝臓病教室予定報告(1月)
 ・第4回肝臓病教室決定事項報告
 ・2015年 年間活動計画目標の案を提示
 [◆アクションのない肝炎受診勧奨者に対してどうするかを検討
 ◆肝臓病教室を年4回開催
 ◆出張肝臓病教室を年間8回開催
 ◆世界肝炎デーの院内展示会の開催
 ◆無料肝炎採血キャンペーンの開催
- 2/5 **第17回 肝疾患サポートチーム 定例会**
 ・全国肝疾患診療連携拠点病院会議報告
 ・肝炎受診勧奨用紙の改訂報告
 [小児科は特別対応
 カルテ内受診勧奨マークについて手順の見直し
 ・出張肝臓病教室リーフレットの修正検討
 ・出張肝臓病教室の現状と今後の展望について情報提供
 [職域での肝炎ウイルス検査促進を県と連携して活動検討
 産業保健師との連携も検討
 出張肝臓病教室の開催について全国健康保険協会(以下協会けんぽ)、国民健康保険団体連(以下国保連)
 合会と連携していくことを県とともに協議中
 ・2015年度 年間計画目標の決定
 [◆アクションのない肝炎受診勧奨者に対してアプローチを展開する
 ◆肝臓病教室を年4回開催
 ◆出張肝臓病教室を年間8回開催
 ◆世界肝炎デーの院内展示会の開催
 ◆無料肝炎採血キャンペーンの開催
 ・第4回肝臓病教室の準備確認
 ・英語論文紹介
- 2/17 **第4回肝臓病教室反省会**
 ・事前準備の確認、会場への誘導、受付手順について検討

6/18

第22回 肝疾患サポートチーム 定例会

・無料肝炎採血キャンペーンについて協議

決定事項報告

◆日程

◆採血コーナー

採血者:岡山県健康づくり財団に依頼

人数:max150名

◆準備担当者決定

各コーナーでの企画内容検討

集客方法検討

広報検討

必要物品・経費検討

7/2

17 第23回 肝疾患サポートチーム 定例会

・2014年度の受診勧奨対応件数報告

〔課題:対応確認票の未回収肝炎陽性者への今後のアプローチ

・公費助成制度の報告

〔C型肝炎(ジェノタイプ2型)を対象としたソフォスブビル+リバビリン投与の申請開始

・出張肝臓病教室の報告事項

〔リーフレット/パンフレット完成

・厚生労働省班会議参加報告

・無料肝炎採血キャンペーンについて協議

〔キャンペーン共済団体検討

ポスター、のぼり、ボールペン、Tシャツ等のデザイン考案

地域肝炎サポーター研修参加者にボランティア協力依頼

7/15拠点病院会議で一次医療機関の医師に協力依頼

広報:岡山大学記者クラブを活用

・院内世界肝炎デーキャンペーンパネル展示作成期限確認

・文献紹介

・出張肝臓病教室予定報告(7・9・10・11月)

8/6

13 第24回 肝疾患サポートチーム 定例会

・肝炎協議会の報告

〔岡山県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の会長に岡田教授が選出

第16回医療従事者研修会についての報告

地域肝炎対策サポーター研修会についての報告

岡山県健康づくり財団が一次医療機関として推薦、認定

・院内世界肝炎デーキャンペーン終了報告

〔アンケート結果報告

・第6回院内肝臓病教室準備の確認

・無料肝炎採血キャンペーンについて協議

〔参加ボランティア内訳報告

◆地域肝炎サポーター研修参加者:2名

◆治験参加患者:22名

◆一次医療機関から医師1名、看護師1名、事務1名

イベント役割分担確認

◆広報活動として岡山駅前にて当日ティッシュ・うちわ配布

◆前日会場設営準備

◆当日の役割分担

無料肝炎採血キャンペーン用展示パネル担当・枚数確認

〔ティッシュ・うちわ配布方法検討

・文献紹介

・出張肝臓病教室予定報告(9・10月)

9/3

10 第25回 肝疾患サポートチーム 定例会

・平成27年度第1回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会の報告

〔事業仕分けを検討中

今後、明確な成果が求められるようになる

・第6回院内肝臓病教室開催報告

・肝炎受診勧奨システムの報告

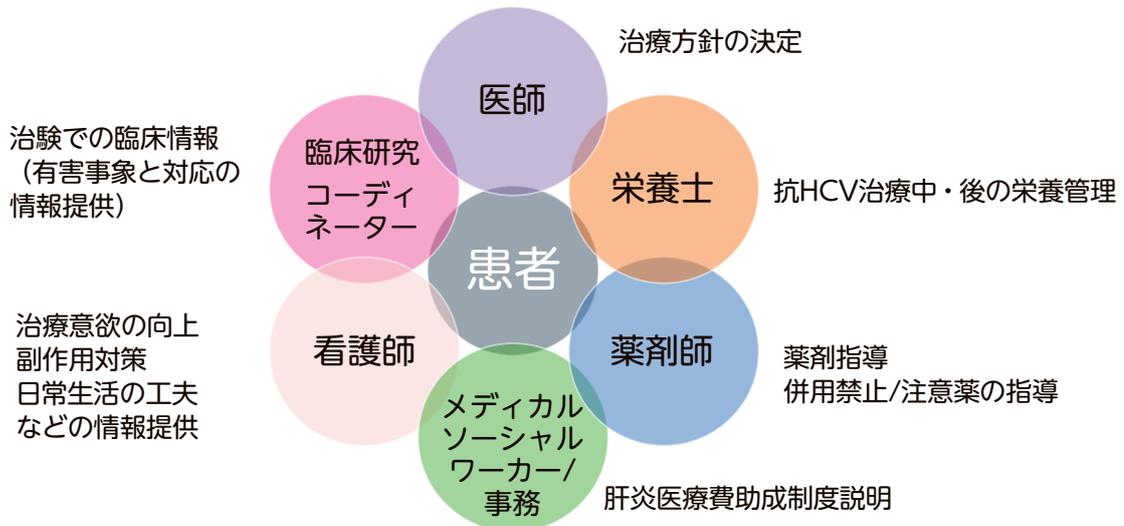
〔肝炎患者一覧でのデータ抽出作業改善予定

- ・ファジアーノとの協働企画について状況報告
 - 〔 日程: 9/25
無料肝炎採血: 目標500名
ファジアーノとコラボした記念グッズ作成: ハンドタオル〕
 - ・第10回院内肝臓病教室/第3回家族支援講座決定事項報告
 - ・文献紹介
 - ・研修等予定のお知らせ
 - ・出張肝臓病教室開催予定報告(7・9月)
- 8/9 12 **第38回 肝疾患サポートチーム 定例会**
- ・各研修等参加報告
 - ・世界肝炎デーイベント開催結果報告と改善点協議
 - 〔 準備不足
広報不足
中央採血室の利用は、月曜日が混雑するため避けたほうが良かった
書類記載、ID作成、採血に時間がかかりすぎる
ポスター展示はスペースの工夫が必要〕
 - ・肝炎相談センターパンフレット3000部印刷
 - ・肝炎受診勧奨システムの報告
 - 〔 2016年6月分肝炎受診勧奨未実施者に初回通知郵送
2015年10月～12月で対応確認票未提出者に再通知郵送〕
 - ・出張肝臓病教室実施状況報告
 - ・家族支援の調査開始の報告
 - ・日本慢性看護学会発表
 - 〔 『C型慢性肝炎でアスナブレビル/ダクラタスビルの治療を受ける患者に対するチーム支援の効果について』〕
 - ・第10回院内肝臓病教室/第3回家族支援講座決定事項報告
 - 〔 当日外来受診予定患者にご案内を発送〕
 - ・『肝疾患サポートチームの歩み』記念誌の発刊を企画
 - 〔 役割分担、締め切り通知〕
 - ・ファジアーノとの協働企画について状況報告
 - 〔 日程: 9/25、開催時間はまだ未定だが、試合開始の4時間前から準備
無料肝炎採血: 目標500名、検診車を準備
ファジアーノとコラボした記念グッズ作成: タオルハンカチ8月中に注文予定〕
 - ・第10回院内肝臓病教室/第3回家族支援講座決定事項報告
 - ・MOMO肝通信Vol.10決定事項報告
 - ・文献紹介
 - ・研修等予定のお知らせ
 - 〔 9月 日本歯科衛生士会 発表〕
 - ・出張肝臓病教室開催予定報告(8・9・12月)
- 9/1 12 **第39回 肝疾患サポートチーム 定例会**
- ・B型肝炎ワクチンの定期接種の開始について報告
 - ・アルコール研修会の実施を報告
 - ・肝炎受診勧奨システムの報告
 - ・出張肝臓病教室実施状況報告
 - ・ファジアーノからの連絡と事前準備について連絡
 - 〔 開始時間、ブースでの流れ、詳細の役割分担表は来週提示〕
 - ・『肝疾患サポートチームの歩み』記念誌の進捗状況の確認
 - ・倉敷市の健康まつりで、肝疾患サポートチームとしてなができるか検討
 - 〔 肝炎ウイルス検査については、今年度は難しいが、次年度は倉敷市保健所の予算が下りれば実施可
肝炎啓発となるような情報提供のリーフレットを提供の提案〕
 - ・MOMO肝通信Vol.10決定事項報告
 - ・文献紹介
 - ・研修会等のお知らせ
- 10/4 11 **第40回 肝疾患サポートチーム 定例会**
- ・「直島福祉まつり」での香川県立中央病院とのコラボイベントについて報告
 - ・「小豆島 秋の健康フェア&セミナー」でのコラボイベントについて報告
 - ・学術集会参加の報告
 - ・肝炎受診勧奨システムの報告
 - ・出張肝臓病教室実施状況報告
 - ・倉敷市の健康まつり
 - 〔 AUDIT、岡山県肝炎相談センターの案内、出張肝臓病教室の案内を各500部郵送〕
 - ・薬剤情報提供
 - 〔 アッヴィ合同会社: ヴィキラックス ジェノタイプ2でも適応拡大となった
MSD: グラゾプレビル: グラジナ錠、エルバタスビル: エレルサ錠〕
 - ・ファジアーノ岡山でのイベント 後処理
 - 〔 追加注文をしていたハンドタオルを受領したので、スタッフ/ボランティア参加した方にも提供する予定〕

肝炎相談センターの実施状況（平成25年度からの実施状況）

	一般相談（専任看護師・メディカルソーシャルワーカーなど）								専門相談 (医師)	左記 の内、 面談の 件数
	病気に ついて	検査 治療	感染 予防	専門医 療機関	医療費	病気へ の不安	その他	合計 (実人数)		
25年4月 ～26年3月	98	316	22	64	207	78	193	978 (846)	11	—
26年4月 ～27年3月	83	499	55	88	182	74	123	1104 (669)	2	276
27年4月	7	74	3	20	14	4	10	132 (69)	0	29
5月	4	54	4	4	18	4	12	100 (53)	0	30
6月	3	78	4	6	25	3	10	129 (78)	2	43
7月	6	86	3	21	34	3	22	175 (103)	0	50
8月	9	63	4	19	17	4	28	144 (90)	7	45
9月	4	81	2	18	43	2	7	157 (96)	0	44
10月	4	111	13	18	73	6	16	241 (141)	0	97
11月	4	88	6	15	37	5	28	183 (116)	6	67
12月	2	60	3	12	32	1	8	118 (77)	0	49
28年1月	5	36	8	7	58	3	14	131 (100)	0	69
2月	16	88	4	18	43	4	13	186 (115)	0	77
3月	10	45	4	8	43	10	8	128 (78)	0	58
27年度計	74	864	58	166	437	49	176	1824 (1116)	15	658

C型肝炎ウイルス治療におけるチーム支援



看護師の役割

HCV治療を開始するに当たって、患者様をご自身で副作用に対処できるようになることを目標に面談を行います。医師の診察前に面談にて副作用や服薬状況の確認を行い、患者様が治療を継続できるよう支援していきます。

実際の看護面談の流れ

患者様が体調評価・BDI（抑うつ度）のアンケートに回答



看護師との面談

- ①副作用の出現状況の把握
- ②日常生活の変化の把握
- ③精神的負担感の把握
- ④対処方法の指導

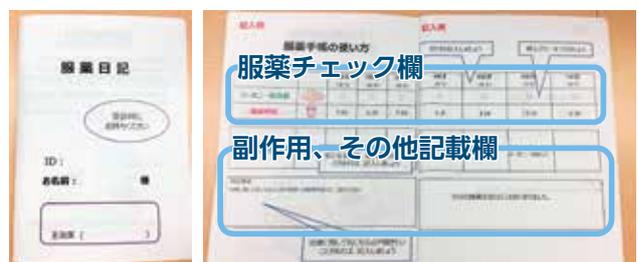
患者様が副作用に対処できる

薬剤師の役割

現在、抗HCV治療薬の中心は内服薬（DAAs）となっています。DAAsによる治療では、インターフェロンを中心とした治療と比べ、副作用の発現頻度は格段に低くなっています。それにともない、薬剤師に期待される役割も副作用対策から、薬の飲み忘れおよび相互作用の回避へと変化しています。

当院では飲み忘れ対策として独自の服薬日記帳を作成（下写真）し、飲み忘れ予防を行っております。

【服薬日記帳】



相互作用を回避する取り組みとしては、治療開始時に全患者様を対象に、薬剤師が面談を行っています。外来においても薬剤師が介入し、使用薬剤を確認することで、相互作用を回避し、安全に治療を開始できる体制をとっています。

C型肝炎ウイルス治療の実際の流れ

インターフェロンを含む治療 導入決定後の患者様の流れ

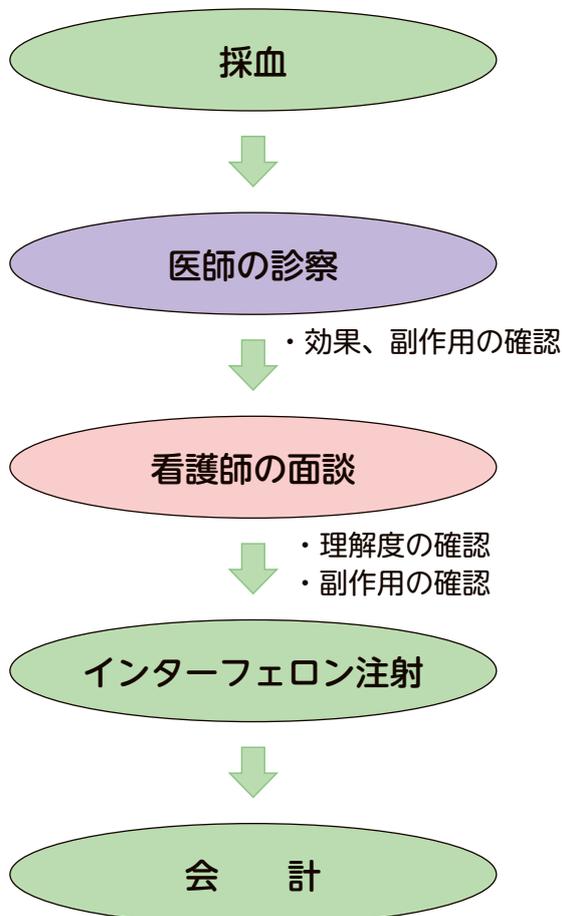
【入院】治療導入前

- ・治療の説明
- ・服用薬の確認
- ・眼科受診
- ・メディカルソーシャルワーカーとの面談
 - ・医療費助成制度などの手続き

【入院】治療開始後

- ・副作用の確認
- ・副作用の対処法、日常生活の注意点の説明
- ・外来の流れの説明
(1～2週間の入院)

【外来】治療開始後

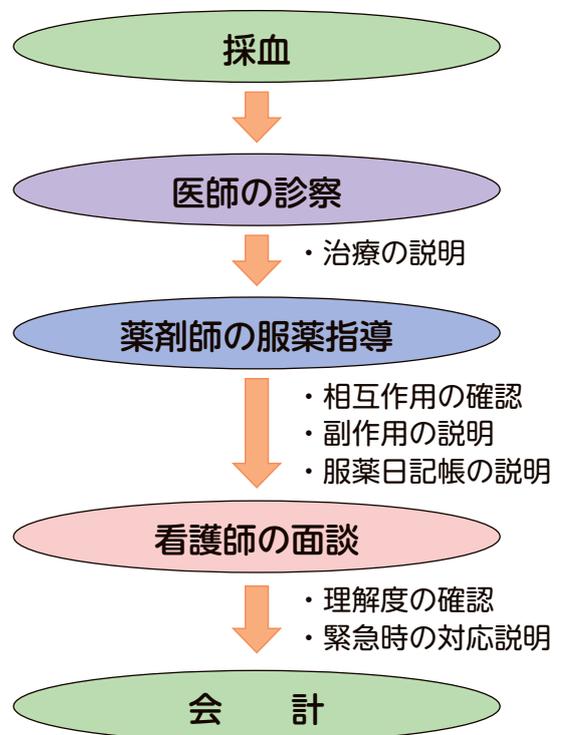


DAA治療 導入決定後の患者様の流れ

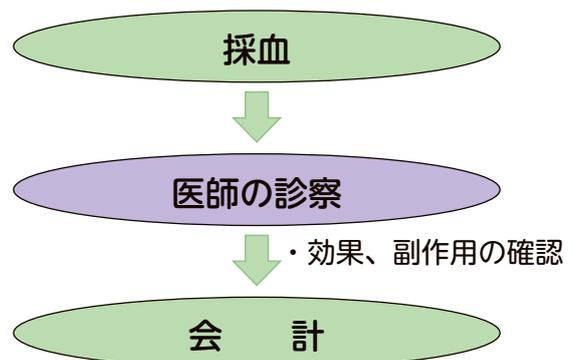
【外来】治療導入前

- ・治療の説明
- ・メディカルソーシャルワーカーとの面談
 - ・医療費助成制度などの手続き

【外来】治療開始時



【外来】治療開始後



受診勧奨活動

岡山大学病院では2013年から電子カルテ上でウイルス検査の結果報告に関する新たなシステムを構築し運用しています。手術前や輸血前にはスクリーニング検査として肝炎ウイルス検査を行っていますが、肝炎検診など受検者本人の希望による受診とは異なり、本人が検査を受けたことを自覚していない場合や、その結果を受検者へ適切に報告できていない場合があることが背景にあります。このシステムの導入が、肝炎ウイルス検査の受検者への検査結果報告を病院全体で徹底し、検査陽性者の肝臓の専門医受診率を向上させ、肝硬変や肝がんの予防や早期発見につながることを期待しています。

電子カルテを用いたウイルス検査結果報告システムについて

岡山大学病院では2013年4月より電子カルテ（HOPE EGMAIN-GX、富士通システムズ）を用いた肝炎ウイルス検査陽性患者への結果報告と肝臓の専門医受診を勧奨する取り組みを開始しています。ウイルス検査を受検すると「患者プロフィール」へ検査結果と日付が自動抽出されるシステムを利用し、予め選択した項目について検査陽性であった場合、受検者のカルテに肝臓専門科の受診勧奨を促すアイコンが自動表示されます。受検者個人の検査結果とそれに関する説明、肝臓精査を勧める文書を含むウイルス検査報告書を印刷すると、患者プロフィールに自動的に印刷者氏名と印刷日時が記録され、肝臓専門科の受診勧奨を促すアイコンが消え、ウイルス検査を再度行って結果が陽性であってもアイコンは表示されないようになっています。

ウイルス検査報告書の郵送による受検者への報告について

検査施行医が受検者へ検査結果を直接報告することに加えて、検査施行約1か月後にウイルス検査報告書が印刷されていない受検者については、検査施行医に検査結果が陽性であることを報告し、検査施行医の了解があれば、検査報告書を受検者に郵送するようにしています。検査施行医への連絡や検査報告書の郵送などの業務は肝炎相談センターが中心となって行っています。

肝炎ウイルス検査受診勧奨システム

■ 岡山大学病院では、初診時、手術前、入院時などに、感染症検査を受けていただいています。

■ B型C型肝炎ウイルス検査結果陽性者には、肝臓精査のお勧めの手紙をお渡しして肝臓専門医の受診をおすすめしています。

陽性者



電子カルテ上に特定の印
(受診勧奨マーク)

毎月1回リストアップ

検査オーダー医により 郵送の許可の判断

郵送 可

郵送 否

受診勧奨文書作成
郵送(勧奨すみ)

検査オーダー医が対応

半年後 再送

未回答者

未勧奨

対応に賛同が得られない診療科

患者様

当院 消化器内科 受診

他院 肝臓専門医
受診

郵送物を持参

他院用紹介状持参

対応確認票を受け取る

他院より診察結果返送

肝炎相談センター返送(回答)

対応確認票の内容を入力、電子カルテに取込後、肝炎相談センターにて保管

システムにより発見された陽性者が、ひとりでも多く精査、治療に結びつく事を期待しています。

受診勧奨現況 2016/8/25現在

	陽性者数	未勧奨	勧奨すみ(郵送)(再送)	回答すみ	未回答
2014年度	1690	206	1501 770 229	1295	206
2015年度	2614	257	2357 730 284	1888	469

院内肝臓病教室

岡山大学病院では、岡山県肝疾患連携拠点病院として肝疾患に関する正しい知識の普及啓発につとめ、肝炎ウイルスの感染予防に資するとともに、患者・感染者の方々がいわれのない差別を受けることのないよう、肝疾患の病状や最新の治療法、日常生活の留意点などの必要な知識を分かりやすく伝える場として肝臓病教室を開催しています。

2014年5月の第1回肝臓病教室は「肝臓病ってなあに？」をテーマにスタートし、その後は肝癌、ウイルス性肝炎の治療から塩分・糖質管理、運動療法まで幅広い内容で年4回の開催を続けております。

肝臓専門医からの情報提供だけでは通常の外来と大きな違いがないため、外科手術については消化器外科医、小児の肝臓病については小児科医、生活習慣病については糖尿病専門医とそれぞれのエキスパートによる講演も行っております。また医師だけでなく看護師、薬剤師、管理栄養師、ソーシャルワーカー、歯科衛生士、理学療法士の講演を組み込むことで、幅広い視点での情報提供を目指しています。

今後さらに多くの職種を巻き込みながら、日々進歩する肝疾患診療に合わせて最新の情報を、患者さんの役に立つ形で提供できるよう企画していく予定です。

家族支援講座

肝疾患の患者さんは様々な問題や悩みを抱えていると言われていています。厚生労働省科学研究による患者実態調査によると患者さんの持つ悩みは一様ではありません。経済的な問題以外にも仕事や家事への影響、差別偏見など、様々な要因が悩みやストレスとなっています。

患者さんが最も気軽に相談できる相手としてご家族を挙げる人が多いものの、ご家族の肝疾患に関する知識が必ずしも十分ではないため、十分な理解と協力が得られないことが問題となっています。

そこで肝炎患者さんのご家族を対象とした講座を開催し、肝疾患や患者さん支援に関する専門的知識の習得を図るとともに、ご家族同士の交流の場として機能させることで、ご家族による相談支援機能の強化を図り、肝疾患患者さんが地域において安心して暮らせる環境づくりにつなげることがこの活動の目的です。

これまで感染予防、医療費助成、食事・運動療法をテーマに計3回を開催しました。特に食事・運動療法などは患者さんだけでなく、中高年のご家族の健康にも役立つ内容を心がけました。また講演をただ聴くだけでなく、参加者である患者さんやご家族の方にも積極的に発言して頂く機会を作ること、より良い家族支援を目指しています。

今後もアルコール依存症のサポート、ご家族ぐるみの食事療法、多数の薬剤の管理など、特色あるテーマでの開催を予定しています。

	テーマ	題目	所属	氏名	
第5回	平成27年5月19日	肝臓の外科手術について	肝臓の外科治療	肝胆膵外科 医師	八木 孝仁
			肝臓手術の術前術後の看護	看護部 看護師	秋山 千絵
			肝臓疾患術後のリハビリテーション	リハビリテーション部 理学療法士	岩井 賢司
			術後の栄養のポイント	臨床栄養部 管理栄養士	坂本八千代
第6回	平成27年8月18日	肝臓と塩	肝臓病と食道・胃静脈瘤	消化器内科 医師	岡田 裕之
			肝臓と腎臓と塩の関係	消化器内科 医師	高木章乃夫
			減塩に気をつけましょう	臨床栄養部 管理栄養士	長谷川祐子
第7回	平成27年11月17日	子どもと肝臓	B型肝炎と予防接種	小児科 医師	藤井 洋輔
			子どもと肝炎感染予防対策	感染管理 担当師長	渡邊都貴子
			子どもと肝臓	臨床栄養部 管理栄養士	林本加奈枝
第8回	平成28年2月16日	肝臓と糖質	肝臓と糖質	消化器内科 医師	下村 泰之
			運動と糖質	リハビリテーション部 理学療法士	岩井 賢司
			糖質と栄養について	臨床栄養部 管理栄養士	長谷川祐子
第9回	平成28年5月17日	ウイルス性肝炎について	肝炎のお話	消化器内科 医師	池田 房雄
			ウイルス性肝炎治療を行う上で注意すべき薬や健康食品&治療開始時の薬剤師の関わり	薬剤部 薬剤師	横田 崇志
			ウイルス性肝炎の食事療法	臨床栄養部 管理栄養士	長谷川祐子
第10回	平成28年8月16日	脂肪肝について	肝硬変にみられる耐糖能異常の病態・治療	総合内科 医師	小比賀美香子
			脂肪肝に気をつけよう	消化器内科 医師	下村 泰之
			肝臓病患者における口腔ケアの実際	歯科衛生士室 歯科衛生士	大森 裕子

家族支援講座

		テーマ	題目	所属	氏名
第1回	平成28年2月16日	家族だから知っておきたいこと	家族支援講座について	新医療研究開発センター 臨床研究コーディネーター	難波志穂子
			肝臓病食について	臨床栄養部 管理栄養士	長谷川祐子
第2回	平成28年5月17日	家族でできる感染予防対策	肝臓病とご家族の関わり	消化器内科 医師	安中 哲也
			家族でできる感染予防対策	看護部 感染管理認定看護師	宮村 純子
第3回	平成28年8月16日	家族でできる脂肪肝予防対策	家族でできる脂肪肝予防につながる運動	リハビリテーション部 理学療法士	岩井 賢司
			脂肪肝の食事について	臨床栄養部 管理栄養士	長谷川祐子

出張肝臓病教室

近年ウイルス性肝炎の治療は進歩してきましたが、慢性肝炎の治療は定期的な通院や入院を必要とすることが多く、就労者に対しては職場の理解や協力が不可欠です。また、未受診の肝炎患者を見つけるために、多くの人に肝炎検診の重要性を理解していただき、肝炎ウイルス検査を受けていただくことが大切です。

私たちは岡山県肝疾患拠点病院事業として、肝炎患者の就労支援のために、肝臓病の啓発活動として当院の医療従事者（内科医師、小児科医師、看護師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、歯科衛生士など）が、職能団体あるいは企業に出向いて就労者を対象とした講演を行う出張肝臓病教室を開催してきました。また、2015年度より肝臓病教室の直後に肝炎ウイルス検査を実施する取り組みをしています。最近ではウイルス肝炎だけでなく、脂肪肝やアルコールなど受講者の関心も強くなっており、県内外の様々な機関とも協力して、活動を広げています。

平成26年度（H26年10月～H27年3月）

日 時	市	企業名		対 象 者	人 数	開始時間	講 演 者			司会	会場係
		会 場	業 名				職 種・氏 名	職 種・氏 名	職 種・氏 名		
10月28日(火)	岡山市	岡山大学 津島キャンパス		大学職員	14	13:15～14:15	医師 池田	看護師 草信	MSW 笠原	下村 難波	小山 犬山
10月31日(金)	津山市	津山商工会 津山国際ホテル		商工会に 所属する人	63	18:30～19:00	医師 池田	管理栄養士 坂本		下村 難波	
11月14日(金)	岡山市	サピックス 岡山大学病院		一般社員	64	12:30～13:00	医師 下村			難波	笠原
11月16日(日)	岡山市	岡山県健康管理士会 NPO会館		加入者	20	13:00～14:00	医師 安中	看護師 小銭	MSW 笠原	難波	
11月22日(土)	岡山市	岡山県社会保険労務士会 岡山県立図書館		加入者	29	10:00～11:00	医師 和田	看護師 原	MSW 笠原	下村 難波	
12月5日(金)	岡山市	フィリップス・レスピロニクス 健康づくり財団		製薬会社MR 一般社員	20	12:00～13:00	医師 下村	管理栄養士 坂本			小山 笠原
12月8日(月)	岡山市	テルモ株式会社		製薬会社MR 一般社員	22	10:00～11:00	医師 森元	看護師 森光	MSW 笠原	難波	小山 山崎
1月27日(火)	岡山市	岡山刑務所		法務省 矯正局職員	99	17:10～18:10	医師 安中	看護師 山崎	MSW 笠原	難波	
3月17日(火)	岡山市	岡山市消防署 岡山市民病院		救命救急士	53	11:20～12:00	医師 森元	管理栄養士 坂本		下村	小山・犬山 笠原
3月18日(水)	岡山市	岡山市消防署 岡山市民病院		救命救急士	53	11:20～12:00	医師 竹内	管理栄養士 坂本		山田	小山・山崎 笠原

平成27年度（H27年4月～H28年3月）

日 時	市	企業名		対象	人数	開始時間	講 演 者			司会・クリックカー	会場係	採血人数	採血
		会 場	企業名				職種・氏名	職種・氏名	職種・氏名				
4月23日(木)	岡山市	西日本メディカルリンク株式会社		一般社員	53	18:00～19:00	医師 下村	薬剤師 佐藤	事務員 犬山	難波	小山笠原	未実施	
5月27日(水)	岡山市	旭川荘療養・医療センター		病院職員	103	14:00～15:00	医師 藤井	看護師 山崎	薬剤師 横田	難波	小山犬山	〃	
6月5日(金)	真庭市	勝山病院		病院職員	60	17:30～18:30	医師 池田	看護師 細羽	薬剤師 横田	下村 難波	小山笠原	〃	
6月14日(日)	岡山市	岡山県歯科衛生士会 生涯学習センター		歯科衛生士	35	13:30～14:30	医師 大西	看護師 森光	薬剤師 晴田	下村 難波	犬山笠原	〃	
9月25日(金)	岡山市	介護サービスセンター 岡山ふれあいセンター		介護職	30	15:00～16:00	医師 下村	看護師 山崎	検査技師 大久保			〃	
10月3日(土)	和気町	北川病院		患者・家族 ・地域住民	100	14:00～15:00	医師 桑木	薬剤師 晴田	管理栄養士 長谷川	池田 難波	犬山	健康 づくり財団	
10月30日(金)	岡山市	岡山県介護福祉士会 岡山県総合福祉会館		介護福祉士	20	9:00～10:00	医師 下村	理学療法士 岩井	管理栄養士 長谷川	難波	笠原	未実施	
11月21日(土)	真庭市	銘建工業株式会社		一般社員	126	11:00～12:00	医師 高木	野澤	細菌衛生士 蟻正	池田 難波	笠原	勝山 病院	
12月8日(火)	岡山市	社会福祉法人 恵風会		看護師 ・介護職員	48	14:00～15:30	医師 池田	看護師 山崎	薬剤師 佐藤	下村 難波	笠原	未実施	
12月17日(水)	岡山市	MSD㈱		一般社員 MR	11	19:00～20:00	医師 竹内	歯科衛生士 三浦	事務員 犬山	下村 難波	笠原	〃	
1月21日(木)	岡山市	アッヴィ合同会社		一般社員 MR	9	18:00～19:00	医師 森元	理学療法士 岩井	管理栄養士 長谷川	下村 難波	犬山笠原	〃	
1月26日(火)	岡山市	RSK		一般社員	29	19:15～20:15	医師 白羽	看護師 山崎	MSW 笠原	下村 難波	犬山笠原	〃	
1月29日(金)	岡山市	津島小学校		教職員	35	16:00～17:00	医師 藤井	看護師 二宮	薬剤師 佐藤	下村 難波	笠原	健康 づくり財団	
2月1日(月)	瀬戸内市	瀬戸内市役所		保健師 ・行政職	11	14:00～15:00	医師 池田	看護師 難波	MSW 笠原	難波	小山	〃	
2月19日(金)	岡山市	株式会社 岡山大学病院		一般社員	58	12:30～13:00	医師 和田			下村	笠原	〃	

平成28年度（H28年4月～H28年9月）

日 時	市	企業名		対象	人数	開始時間	講 演 者			司会・クリッカー	会場係	採血人数	採血	岡大採血者
		会 場	名				職 種・氏 名	職 種・氏 名	職 種・氏 名					
4月5日(火)	岡山市	アークホテル	A	ホテル従業員	18	15:00～16:00	医師 安中	医師 喜多	事務員 犬山	下村 難波	犬山	17	岡大	難波 山崎
4月27日(水)	岡山市	アークホテル	B	ホテル従業員	18	15:00～16:00	医師 中村	医師 喜多	MSW 笠原	難波 小山	笠原	13	岡大	難波 山崎
5月16日(月)	岡山市	日本生命保険相互会社		一般社員	38	16:30～17:30	医師 竹内	医師 喜多	検査技師 大久保	難波	大山 笠原	21	岡大	難波 大久保
5月25日(水)	倉敷市	水島協同病院		病院職員	81	15:00～16:00	医師 池田	看護師 難波		難波 小山	大山 笠原		未実施	
6月15日(水)	岡山市	日本医薬品卸勤務薬剤師会 岡山県支部		薬剤師	23	16:00～17:00	医師 桑木	薬剤師 横田	MSW 笠原	難波	大山 笠原	20	岡大	難波
6月27日(月)	備前市	日生漁協組合		組合員	68	11:00～11:20	医師 池田			難波	笠原	60	日生病院	難波 大久保
7月7日(水)	岡山市	ティーエスアルフレッサ		MR・DS	24	19:30～20:30	医師 池田	看護師 山崎	検査技師 大久保	下村 難波	笠原	20	岡大	難波 大久保
7月12日(火)	備前市	日生漁協組合 婦人部		組合員	37	10:30～10:45	医師 下村			難波	小山 笠原	35	岡大	難波 山崎
7月15日(金)	岡山市	あすなろ薬局		医師 薬剤師	13	14:00～14:30	医師 下村			難波	笠原		未実施	
7月15日(金)	岡山市	会社 管理者会 アークホテル		事業主	21	17:00～18:00	医師 池田			難波	大山	21	岡大	難波 細羽
7月28日(水)	真庭市	真庭警察署		警察官	46	10:00～11:00	医師 高木	管理栄養士 長谷川	理学療法士 岩井	下村 難波	小山	44	勝山病院	難波 森
8月9日(火)	倉敷市	児島薬剤師会 児島マリノア 会議室		薬剤師	20	19:30～20:30	医師 下村	薬剤師 横田	管理栄養士 坂本	難波	小山		未実施	
9月4日(日)	倉敷市	倉敷薬剤師会 アハホテル		薬剤師	20	10:30～11:30	医師 下村	薬剤師 横田	MSW 笠原	山崎	笠原		〃	
9月6日(火)	岡山市	岡山ヤクルト販売株式会社 中央センター		一般社員	16	14:30～15:30	医師 安中	管理栄養士 長谷川	歯科衛生士 大森	難波	大山	11	岡大	難波
9月7日(水)	香川県	三菱マテリアル株式会社 直島精錬所		一般社員	30	10:00～11:00	医師 池田	理学療法士 岩井	医師 高口	難波	小山		未実施	

出張肝臓病教室

職種毎の講演内容

医師

ウイルス性肝炎

- ・肝炎診療の目的
- ・肝炎検診の種類
- ・肝炎ウイルスの感染経路
- ・肝炎ウイルスの感染予防
- ・B型肝炎、肝硬変の抗ウイルス療法
- ・C型肝炎ウイルスの最新治療
- ・肝炎治療の医療費助成制度

アルコールとお付き合い

- ・適正なアルコール摂取量
- ・アルコール摂取時の工夫

医師

小児におけるB型肝炎

- ・B型肝炎ワクチンで予防接種
- ・B型肝炎の自然経過
- ・感染経路(母子感染と水平感染)



職場でのウイルス性肝炎対策

- ・職場におけるウイルス性肝炎の問題点と解決策
- ・肝炎ウイルスに感染することがない行為とある行為
- ・肝炎ウイルス検査を受けた方がよい方
- ・職場、家族での感染対策

医師

ピロリ菌

- ・ピロリ菌の病態
- ・c型肝炎とピロリ菌と発癌について
- ・ピロリ菌の診断と治療の流れ



脂肪肝

- ・脂肪肝の分類
- ・脂肪肝と発癌の関係
- ・非アルコール性肝疾患とメタボリックシンドロームの関係
- ・脂肪肝の予防と治療

看護師

ウイルス性肝炎と患者心理

- ・肝炎患者の悩みと本音
- ・肝炎差別、偏見の現状
- ・肝炎ウイルスの感染予防対策



感染予防対策

- ・血液/体液汚染の対応
- ・日常生活での感染予防

理学療法士

脂肪肝

- ・脂肪肝に対する運動の効果
- ・脂肪肝に効果的な運動の種類・負荷・頻度
- ・運動を継続するために必要なこと



看護師

岡山大学病院が行う 肝炎啓発活動のご紹介

- ・陽性者の反応
- ・肝炎ウイルス検査受検後の
肝臓専門医受診までの流れ
- ・大学病院職員と地域との連携活動



歯科衛生士

肝臓と歯科の関係

- ・肝臓病と口腔環境との関係
- ・歯周病と食事の関係
- ・セルフケアの必要性和具体的な方法
- ・歯科定期受診の推進



事務/MSW



肝炎治療の医療費/その他

- 肝炎ウイルス検査の種類
- 肝炎ウイルス検査の受検方法/場所
- 市町村による肝炎ウイルス検査の受検方法のちがい
- 肝炎の治療で利用できる助成制度
- 肝炎相談センターの利用方法

薬剤師



B型肝炎

- B型肝炎ワクチン接種の概要
- B型肝炎治療薬の種類

C型肝炎

- C型肝炎治療の変遷
- 薬の飲み合わせ
- C型肝炎治療薬の副作用

管理栄養士



ウイルス性肝炎と栄養の関係

- 良質なタンパク質の摂取の重要性 (魚、肉、乳製品)
- 鉄分の制限
- 便秘予防対策

脂肪肝と栄養の関係

- 甘いもの、お菓子、アルコールの適正量
- 推奨摂取カロリー
- 腸内環境

臨床検査技師



検査全般

- 肝臓の基本的な機能
- 肝機能に関わる血液検査
- 肝炎ウイルス検査にかかる費用
- 肝機能に関わる画像検査

院内 世界肝炎DAYイベント

世界肝炎デー（7月28日）は、B型肝炎・C型肝炎の世界的認識を高め、予防・検査・治療を促進することを目的としたWHO（世界保健機関）が認定する世界啓発の日の一つです。

岡山県肝疾患診療連携拠点病院である当院でも、これに呼応し肝炎啓発活動を企画しました。

2015年に初めての実施し、2016年は2回目となります。

初年度は、平成27年7月28日～8月4日は外来棟1階自動精算機前でポスター展示を行いました。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、検査技師などの肝臓病に関わりのある10部署からポスターを作成していただきました。

2回目は、平成28年7月19日～7月29日の間、2015年同様ポスター展示を行いました。前年度より協力して頂ける部署がさらにふえ、16部署から50枚のポスターが提出され、肝臓病の病態、最新治療、肝臓病のケア、日常生活で工夫できる食事や運動、当院の肝疾患サポートチームが行っている活動紹介などの展示がされました。

また、今年度初めての試みとして、7月25日～27日の3日間、無料肝炎ウイルス検査を受検する機会を作りました。また、希望する方には、本院で過去に肝炎ウイルス検査を受検しているかどうかを知らない方、あるいは検査を受検したが結果を知らない方に対しての肝炎ウイルス検査結果説明を行いました。肝疾患サポートチーム以外の検査部、医事課などの多くのスタッフの協力があり実現できました。

検査を受検していても、その意味や検査内容を十分に理解する機会がこれまでなかった方や、受検する機会がないと思っていた方にとっても有意義な活動になったかと思います。次年度は、すでに肝炎と診断された患者さんのご家族に事前レターを送付するなどの工夫もしたいと考えています。

院内 世界肝炎DAYの実施手順書

受付A

1. 『無料肝炎検査 案内票』と『肝炎についての調査用紙』を渡し、記載方法を説明する

①『無料肝炎検査案内票』の説明内容

- 黄色の枠の中を記載してください。
- 住所については該当するところに○を付けてください。
- 住民票の記載の住所が岡山県外、倉敷市の方は受検できません。
- <補足>岡山県外の人はこちらのリーフレットに電話すると無料で受検できる場所を案内してもらえます。
- 倉敷在住の方はこちらの用紙の保健所に電話すると無料で受検できる場所を案内してもらえます。
- ※受検できない方でも、岡大IDを持っていて過去の検査歴を聞きたい人はP0①で結果を聞くことができます。

②『肝炎についての調査用紙』の説明内容

- 裏表あるので、全ての項目について記入してください。

2. 『無料肝炎検査案内票』と『肝炎についての調査用紙』の記載ができたら【P0①】のカウンターに提出するように説明する

P C①

1. IDを検索して、過去の受検歴を確認します
2. 肝炎ウイルス検査結果の用紙に、名前・受検日・陰性/陽性・チェックボックスに記載します。

A：どちらも陰性だった場合：

- 感染の可能性はありません。
- これらの用紙（無料肝炎検査 案内票、肝炎についての調査用紙）を、回収箱に入れてお帰りください

B：どちらか一方でも陽性だった場合：

- 専門の者からご説明します。
- 肝炎相談センターの留守番（6851）に電話をする。
- 話を聞いたら、これらの用紙（無料肝炎検査 案内票、肝炎についての調査用紙）を、回収箱に入れてお帰りください

★他の方も大勢いることなので、個人情報の保護のためにも、徹底してください。

P C②

1. 診察券と『本日のご案内（肝炎デー 肝炎健診）』の発行ができた人からファイルを受け取る。
2. 検査オーダーを入れる。
オーダー方法は別紙参照
3. 無料肝炎検査 案内票の裏を見せ、中央採血室をご案内する。
採血後は、回収箱にすべての書類（本日のご案内、無料肝炎検査 案内票、疫学の同意書、肝炎についての調査用紙、肝炎ウイルス検査申込（問診）票）をもって来てもらうように依頼する。

受付B

1. P C①で本日受検可能となった人に『肝炎ウイルス検査申込（問診）票』と『疫学調査の同意説明文書』『疫学調査の同意書』を渡し、記載方法を説明

① 肝炎ウイルス検査申込書

- 住所は住民票に登録しているものを記載

② 疫学調査の同意説明文書/同意書

- ・以下の要点を説明
- 同意書の住所に、検査結果が2週間以内に郵送されてくること
- 陰性でも陽性でも郵送されてくるが、陽性だった場合には、その後診ししやすい病院などをお知らせするために、個別に電話連絡がくること
- 研究として今回のアンケート結果と検査結果を使用させていただきたいこと
- 同意いただけるなら同意書にご署名記載
- 同意撤回など何かあるときの連絡先

2. 記載ができた人から順番に受付Cに書類を提出するように説明

受付C

1. 『肝炎ウイルス検査申込（問診）票』と『疫学調査の同意書』が書けた人から用紙を受け取る。

2. 記載内容の確認『肝炎ウイルス検査申込書』と『疫学調査の同意書』の記載漏れがないか確認。（必ず、名前、住所、電話番号を確認）

3. ファイルに入れる4種類の用紙が揃っていることを確認

- 【1】無料肝炎検査 案内票<色付き紙>
- 【2】肝炎についての調査用紙
- 【3】肝炎ウイルス検査申込（問診）票
- 【4】疫学調査の同意書

4. 『無料肝炎検査 案内票』の①「過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか」の「はい」○に丸がないことを確認する。

5. 身分証を提示してもらい、氏名と住所を確認
(確認できる身分証がない場合には、間違いがないか再度声をかける。)

6. 『肝炎ウイルス検査申込（問診）票』をファイルの1番上に入れる

7. 案内1の担当者に以降の移動を説明してもらう

案内1

1. 受付Cで書類のチェックが終わった人はファイルに用紙【1】～【4】を入れて、【1】を見せながらこの後の手順を説明する
 - 総合受付窓口の②か③に行き受付
 - 診察券を受け取る
 - 肝炎受付P C②に行き、検査のオーダーをいれてもらう
 - 2階の中央採血室で採血
 - ファイル（全ての書類）を返却して終了

案内2

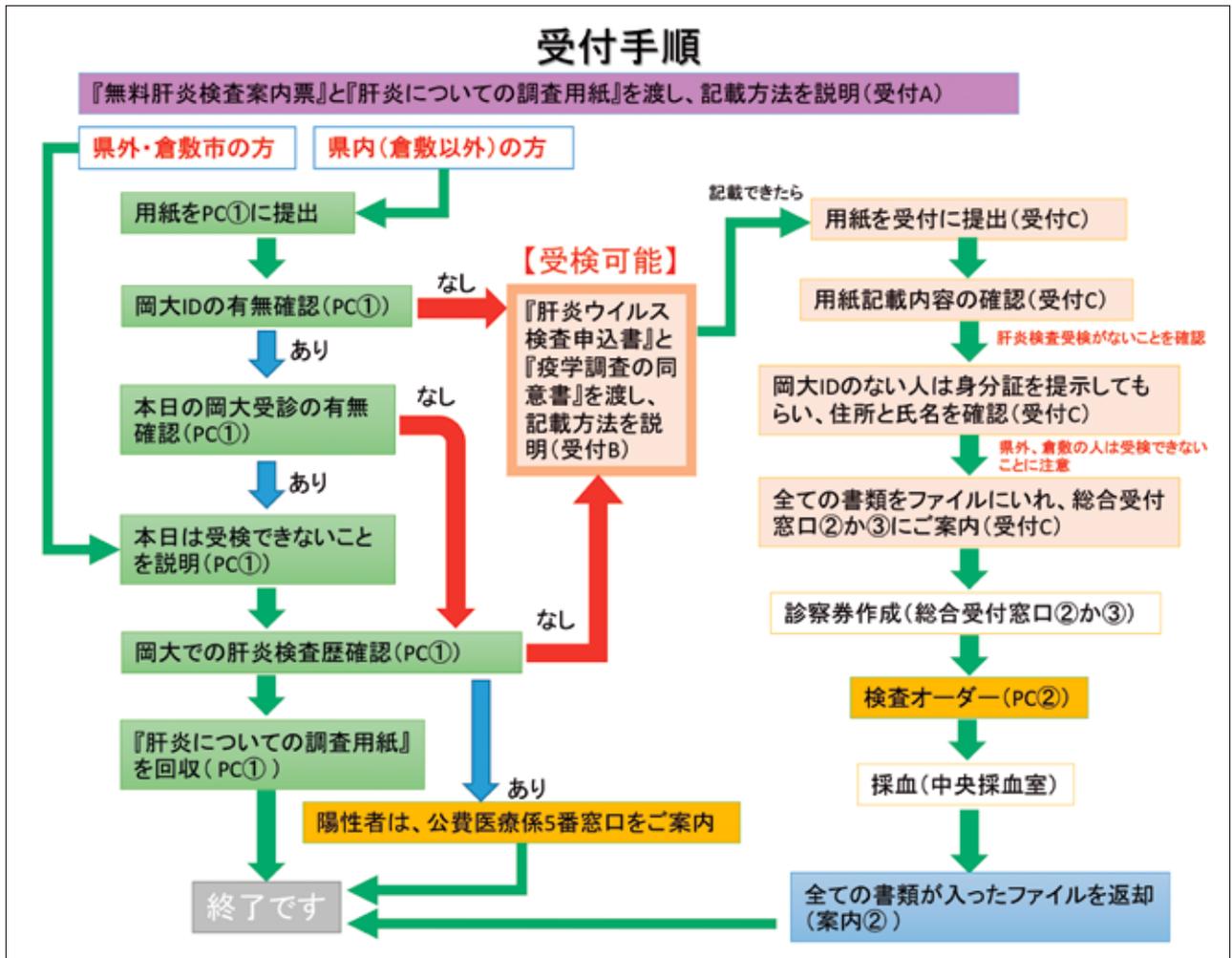
書類を確認して回収箱に入れる

廊下側に列ができるようにしてください。

自動会計機を利用される患者さんの妨げにならないように配慮をお願いします。

★注意事項★

初めての大学受診となる人でも、今回に限り「診察申込書」は不要です。



世界肝炎デー 無料採血 係一覧

	7月25日(月)			7月26日(火)			7月27日(水)		
	13:00~14:00	14:00~15:00	15:00~16:00	13:00~14:00	14:00~15:00	15:00~16:00	13:00~14:00	14:00~15:00	15:00~16:00
受付A	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	貞本	秋山	関野
受付B	細羽	細羽	細羽	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎
受付C	犬山	山崎	笠原	犬山	犬山	山崎	笠原	犬山	犬山
PC①(ID・検査履歴検索)	難波	難波	難波	坂本	坂本	坂本	坂本	坂本	坂本
PC②(検査オーダー)	安中	安中	安中	下村(8368)	下村	下村	難波	難波	難波
案内①	貞本	秋山	関野	安中	蟻正	小山	小山	矢野	岩井
案内②	小山	岩井	横田	貞本	秋山	関野	秋山	関野	横田
ヘルプ人員	山崎	笠原	犬山	笠原	笠原	犬山	犬山	横田	笠原
	秋山	関野	岩井	秋山	安中			笠原	
	岩井	横田			関野				

可能な限り参加をお願いします。参加できない場合はヘルプ人員の方に御連絡しますので、よろしくお願い致します。

必ず参加をお願いします。

世界肝炎デー 院内ポスター展 部署紹介(スライド編)

消化器内科

消化管、肝臓、膵臓領域を合わせた消化器総合領域を専門としており、緊急性、緊急外来とも連携し、高い診療、研究、教育を完結すべく取り組んでいます。

肝臓
ウイルス性肝炎、その他の肝炎の診断と治療
肝臓癌の治療

消化管
消化管内視鏡（胃カメラ、大腸カメラ）を用いた診断
癌の内視鏡的切除
炎症性腸疾患の治療

膵臓
膵炎、膵臓癌の治療
化学療法

基礎研究
癌の増殖制御
癌の遺伝子治療
肝炎ウイルスの複製と感染
慢性肝炎

岡山大学小児科感染免疫グループ



- ・ウイルス性肝炎 (HBV, HCV)
- ・劇症肝炎・肝不全
- ・肝移植前後の評価
- ・炎症性腸疾患

などの疾患を主に診療しています。

肝胆膵外科 (HBP)

Hepatology & Pancreatic Surgery
Osaka University Hospital

180例(高難度手術)
330例(肝臓手術)

年間手術件数
肝臓：100-130件
膵臓：60-70件
(肝臓・膵臓の十二指腸切除を含む)
肝臓移植：20-30件

特徴：
1) 肝臓移植の技術を用いた血管吻合
2) 腹腔鏡手術を用いた高難度手術
3) 癌で切除不能とされた患者さんへの外科的治療
4) 消化器内科・放射線科との協力による集学的治療

外来 内外科8フロア

内外科8フロアは消化器内科・消化管外科・肝胆膵外科・小児外科に分かれており、主に消化器系の疾患を持つ患者様が通院されています。医療は日々進歩していますが、中でも肝炎の治療は著しく進歩しており、多くの肝炎が完治できたり、進行を抑えたりできるようになってきています。当院でも多くの患者様が外来通院で治療されています。治療中、医師・看護師・薬剤師が治療を完遂できるよう全力でサポート致します。お気軽にご相談ください。

お気軽にご相談ください

西6階病棟 消化器内科

食道から胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、膵臓など、消化器疾患すべてを対象に、看護師34名で、49床のベッドに入院された患者さん、お一人お一人に寄り添った看護を提供させていただきます。

肝疾患に関連して、西6階のエコー室で週に2日、肝臓のラジオ波治療や肝生検を行っています。

医師も看護師も薬剤師も、全スタッフが一丸となって、患者さんをサポートいたします。

西病棟5階 泌尿器・消化器内科

今年から男性看護師3名になりました！

外科系・内科系の混合病棟です。疾患も多岐にわたり、治療や経過も様々です。最近では侵襲の少ない手術・処置が多く、当病棟でも短期入院の方が増加しています。

スタッフ一同笑顔を絶やさず頑張っています！！

優しい院長さんについていきます！

入院棟 東6階 消化管外科・肝胆膵外科

術前は不安のないよう説明を行い、術後は早く元気になって頂くために早期離床を行い、合併症の早期発見に努めております！

H28年度新人4名経験者1名を迎えて頑張っています！

東6病棟では、肝臓移植、肝臓切除、膵臓切除、食道手術、大腸の手術、胃切除などの手術をしています。

肝臓移植の予防のために術後早期離床を行います！早く動くことが術後の回復の促進になります！！

痛みは必ず取り除きます！

治験推進部

お薬ができるまでの道のり

基礎研究
お薬の候補を見つけます

動物で試験
非臨床研究
動物で試験を行います

治験
患者さんにご協力頂き、安全性や効果調べます
医師や医療スタッフと協力して
皆さんが安心して治療に参加できるように
安全確認を行っています

承認
承認されると・・・

販売
新薬の誕生です

臨床栄養部

臨床栄養部では、病棟などにおける治療の一環としての栄養管理、栄養指導、入院中の食事を安全に届けるための給食管理、学生教育、臨床研究を行っています。

【管理栄養士の仕事】

- 外来・入院の患者さんに栄養指導を行っています。（9時～16時まで）ご希望の患者さんは主治医にお申し出下さい。
- 入院における栄養管理と給食管理、入院・外来における食事療法の指導、食欲不振時や低栄養対策の相談などに対応しています。
- 肝炎サポートチーム、栄養サポートチーム、糖尿病チーム、褥瘡チーム、頭頸部癌チーム、緩和ケアチーム、心リハチームなどのチーム医療に参加しています。また、生活習慣病領域の臨床研究を行っています。

岡山大学病院 総合リハビリテーション部

医師	2名
理学療法士	26名
作業療法士	4名
言語聴覚士	3名
看護師	1名
計	36名

【薬剤部の紹介】

～医薬品のプロフェッショナル集団として、安全かつ良質な薬物療法に貢献する～

お薬を適切に管理し、正確に、そして患者様が飲みやすいようにお薬の調剤を行っています。

適切なお薬が、適切な量で患者様に届けられるよう、点滴の量が薬剤師と看護師を連携して確認しています。

科学的根拠に基づいた、より良い医療を提供するために研究を行っています。成果を積極的に発信しています。また、教育機関として次世代の薬剤師育成に努めています。

医師、看護師をはじめとした他職種と連携しながら、患者に関する専門性を発揮し、チームとして、患者さんのより良い治療に貢献しています。

薬の管理 調剤
注射薬の無菌調製
より良い医療を目指して
臨床試験 研究・教育
薬の説明
他職種との連携

お薬を正しく使うために必要な情報提供を行っています。入院中の調剤や外来診療室にうかがい、処方、調剤、飲み合わせ、血中のお薬の濃度、お薬の管理方法など様々なことを考慮し、必要に応じて、新たなお薬の提案やお薬の減量・変更の提案を行います。

お薬について聞いていることがあれば、お気軽に薬剤部にご相談ください。

検査部

エコー検査、血液検査、微生物検査、採血、心電図、遺伝子検査、病理検査、輸血検査、尿一般検査、脳波検査、生化学検査などいろいろな検査を担当しています！

放射線部について

放射線部は、画像診断装置、インターベンショナルラジオロジー（IVR）装置、放射線治療装置などを一か所に集中配置して、効率的な画像検査、画像診断、画像ガイド下治療、放射線治療などを行う部門です。さらに核医学部門にも携わっています。

- CTは、エックス線を使って、体の内部を断面で撮影する方法です。撮影剤を使うことにより、病気を早期に発見するため、より正確な診断が可能です。
- MRIは、電磁気学を利用しない分野であり、非常に強力な磁場と電磁波により、様々な種類の組織を撮ることができ、全身から撮影でき、多断層での撮影も可能です。
- PET検査では、がん、脳症や全身の骨に病巣、フロンタルロブダイナミックなどの最新技術を用いたPET検査装置で画像情報を提供しています。
- 放射線治療部門では、リニアック放射線治療装置で各種悪性腫瘍に対して、患者さんにお申し込み・治療的治療を行います。
- IVRセンターでは、脳卒中や脳動脈瘤、心臓疾患、胆管癌、尿管癌や先天性心疾患などにカテーテルを用いた治療や診断が実施されます。また、肝臓がんの手術前に二次手術や転移がんの診断に介入する治療を行っています。さらに、腸がん・肝臓がんのラジオ波治療、腎がんの凍結治療など先進的な治療を行っています。
- 核医学検査室では、シンチグラフィ、腫瘍・血管シンチグラフィ、脳血流シンチグラフィ、心筋血流シンチグラフィ、骨シンチグラフィ、肺シンチグラフィ、レゾラム検査などを行っています。さらに、内臓臓器の検査、アイソトープ内服療法の治療も行っていきます。

MRI装置
治療計画装置
心臓装置
核医学検査装置

歯科衛生士室の紹介

人員：17名
 配属科：歯科棟10診療科
 医科外来2センター
 業務内容：歯科診療の補助、歯科保健指導、
 歯科予防処置等を外来や病棟で行っています。

Qitc 臓器移植コーディネーター

移植に関することはなんでもお気軽にご相談ください

岡山県 肝炎相談センター

肝炎相談センターは各保健所内にあります

◆開 業：平成19年12月
「肝炎相談支援拠点病院」に認定
大学病院内に岡山県肝炎相談センターを設営

肝炎相談センターってなにをするところ？

- ◆活動内容：患者さま、ご家族さまからの相談窓口
- ◆ウイルス性肝炎（B型・C型）などの肝臓病等に關する専門的な医療相談
- ◆専門医療機関に關する情報提供
- ◆生活や仕事、感染予防、医療費などの情報提供
- ◆肝炎ウイルス検査陽性者に對する生活相談、フォローアップ事業の促進

肝炎相談センターではどんな人が対応してくれる？

◆相談方法 ※受付時間：月～金 9:00～17:00

◆一般相談

- ・専任看護師・公認コーディネーター
- ・管理栄養士・公認コーディネーター
- ・薬剤師
- ・医療ソーシャルワーカー

◆専門相談 予約が必要

- ・医師が対応
- ・1回30分
- ・初診はあり
- （月・水・金）

肝炎相談センターの活動は写真を数えて！

過去2年の活動内容 比較 単位：枚

年度	患者さま	ご家族さま	合計
平成27年度	1,000	1,000	2,000
平成28年度	1,000	1,000	2,000

肝炎相談センターはどこにある？

◆外来科2階
8フロアの渡り廊下側 奥 デスク
お電話にお取り寄りください 連絡先 岡山県肝炎相談センター
直通 086-225-0811

スタッフ紹介



藤原 美穂
看護師
コーディネーター



相模 真美
看護師
コーディネーター

無料肝炎検査イベント

肝炎ウイルスの感染経路は必ずしも特定できることばかりではないこと、また感染していても自覚症状もほとんどないため、肝炎ウイルスに感染しているかどうかは肝炎ウイルス検査を受検しなければ不明です。

そこで、一生に一度は肝炎ウイルス検査を受検することの必要性を多くの人に理解して頂き、検査結果に応じた適切な対応をとることが重要です。

肝炎ウイルス検査の受検体制については、地方公共団体や職域での健康診断などでの機会はあるものの、受検していない人の数が一定数存在することは数々の報告があります。

そこで、肝疾患診療連携拠点病院として、岡山県と連携し、気軽に受検する機会を作りました。

2015年8月21日(金)には、第1回『無料肝炎検査キャンペーン2015 in イオンモール岡山・未来スクエア』を開催しました。また、同日、岡山市役所にて大森雅夫岡山市長を「知って、肝炎」のスペシャルサポーターの平松政次様と岡山大学病院職員が表敬訪問をし、岡山市としても肝炎に対する理解を深め、啓発活動を推奨していくことを約束して下さりました。

2015年11月24日(火)には、第2回『岡山大学病院健康フェスタ in 岡山大学まちなかキャンパス at イオンモール岡山』にて、肝炎だけではなく糖尿病のチームと連携した活動を実施しました。

2016年9月25日(日)には、サッカークラブ ファジアーノ岡山とコラボし、ファジアーノ岡山vs.V・ファーレン長崎「岡山県民応援デー」に併せて第3回『無料肝炎検査キャンペーン2016 in シティライトスタジアム』を開催しました。ファジアーノ岡山とのコラボハンドタオルも製作し、人気でした。

第1回目は、集客500名・受検者347人、第2回目は、集客250名・受検130名、第3回目は、集客380名、受検者268人でした。

このイベントには、岡山大学病院の職員だけではなく、肝炎一次専門医療機関の職員、地域肝炎対策サポーターの方々にもボランティアスタッフとして多くの方にお手伝い頂きました。

**【無料肝炎検査キャンペーン2015】
in イオンモール岡山・未来スクエア**

開催日時：2015年8月21日（金）10:00～18:00

会場：イオンモール岡山1階「未来スクエア」
岡山市北区下石井 1-2-1

スタッフ / ボランティア 用しおり

1

目次

活動要旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

活動概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

日程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

担当表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

ブースごとのルール・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

歌詞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

キャンペーンの開催にあたり・・・・・・・・ 10

お礼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

会場見取り図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別紙1

担当時間割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別紙2,3

2

(1) 活動要旨

肝炎ウイルス検査の受検の必要性は十分に浸透していないのが現状にある。ウイルス肝炎特有の問題として、進行しないほとんど自覚症状がないため自分自身で気がつくことができない。また世間での偏見があることで、隣県や周囲の人に報告しにくく受検/受診行動の助けになっている。

新たな取り組みとして、当院医療スタッフ(肝炎患者サポートチーム)、岡山県、肝炎地域対策サポーターと連携しながら、肝炎に対する知識啓発キャンペーンを企画し、肝臓病に対する知識の啓発を行うとともに、肝炎ウイルス検査を手軽に受けてもらうための機会をもちうけることとした。

(2) 活動概要

<背景>

本邦では、肝炎ウイルス感染者は約350万人いると推計され、慢性肝炎患者は潜在的感染者の早期発見、早期治療の対策を進めている。しかし、肝炎ウイルス検査は必ずしも職場での健康診断での必須検査にはなっておらず、一度も肝炎ウイルス検査を受けたことがない人も多い。

とくに、肝炎ウイルスに感染していても多くは無症状であることから、受検の必要性についての理解が乏しいため、肝炎治療の機会を得られず、肝硬変や肝がんといった重篤な病態に移行してから発見されることも報告されている。こうした肝炎が進行し肝がん・肝硬変になること等の肝臓病に対する知識不足や肝臓病に対する無理解による差別/偏見が原因で、肝炎患者の中には、職場に受診していることが告げられず、精神的負担も大きいことも知られている。

そこで、感染を早期に発見することの重要性、肝炎ウイルス検査は簡便な方法（血液検査のみ）で行えることを知る機会を作ることが重要であり、若い世代が訪れる機会の多い、イオンモールで肝炎ウイルスに対する知識を啓発する活動を行う。

また、知識の啓発だけでなく、一般の人に気軽に肝炎ウイルス検査を受検する機会も得られることが望ましいと考え、【無料肝炎検査キャンペーン2015】では肝炎ウイルス検査を無料で受検する機会を設けた。

<目的>

- 肝臓病の正しい知識を提供することで、肝炎ウイルス検査の受検動機/受診動機、肝炎ウイルスに対する差別/偏見解消に役立てる。
- 肝炎ウイルス検査の機会をつくる。

3

日程表

<岡山駅前>

7:30～9:00 キャンペーン広報（岡山駅前でティッシュ・うちわくばり）

<イオンモール岡山>

10:00 イベント開始
（肝炎検査開始、パネル展示、健康相談コーナー、こども広場）

11:00 オープニングセレモニー

挨拶

- 岡山大学病院 科長 岡田知之
- 岡山県健康推進課 課長 兼徳定夫氏
- 知って肝炎スペシャルサポーター 平松政次氏
- 岡山大学病院 センター長 高木卓乃夫

ももっち・うらっちの登場

トークショー 平松政次氏、田中***氏、伊藤***氏

【肝炎治療は劇的に変わった！検査するのが当たり前時代に！】
岡山大学オーケストラ部の演奏 弦楽四重奏

14:00 歌と体操/ダンスで体脂肪を減らそう
【LOVE 肝臓】

18:00 肝炎検査・パネル展示・健康相談コーナー・こども広場 終了

21:30 撤入物品回収

22:00 片付け終了

<市役所>

15:30 岡山市役所 表敬訪問（知って肝炎スペシャルサポーター 平松政次様）

●集合場所●

前日準備 21:00 病院前玄関

集合場所 7:30 岡山駅前（スタッフはTシャツ着用で集合）

集合場所 9:30 イオンモール岡山（スタッフはTシャツ着用で集合）

4

担当表

- <総責任者> 池田勇雄
- <全体相談係> 下村泰之、難波志穂子
- <テッシュ・うちわ配り> 小山遼弘、元患者ボランティア
- <組合学会、トークショー> 下村泰之
- <会場アナウンス> 長井美典
- <岡山大学オーケストラ弦楽四重奏> 山下千華、オーケストラ部4名
- <歌、体操、ダンス> 岩井賢司、山崎典子、武本あかね、元患者ボランティア
歌唱・楽器4名
- <アンケートコーナー> 笠原智子、大山京穂美、三浦留美
- <採血コーナー> 橋辺幸子、大久保信之介、森光友佳、長井美典、
岡山県健康づくり財団看護員2名
- <相談コーナー> 山崎典子、藤井洋輔
- <パネル展示> 下村泰之、長谷川祐子、二宮美咲、橋辺幸子
- <こども広場> 坂本八千代、山田陽子、馬場雅子、元患者ボランティア
- <ももっち、うらっちのかわり> 横田崇志、山下美穂
介添人：元患者ボランティア

- <表紙訪問> 池田勇雄、岡田裕之、難波志穂子
- <ボランティア窓口> 難波志穂子、橋辺幸子
- <取材/報道> 高木肇乃夫<午前>、池田勇雄<午後>、難波志穂子

- 太字の人が、リーダーです。
 - 高字の人が、歌/体操/ダンスのときにそのブースに残る人です。
- ※別紙 2.3 に詳細が記載されています。

※※※ 緊急連絡 ※※※

難波志穂子： (15～16 時までは岡山市役所にいきます)

小山遼弘：

ブースごとのルール

<こども広場>

- ・ボールもしくはボールペンは、調査用紙に記入、肝炎検査をした人、パネル展示をした人、なにかしらのブースに参加した人にプレゼントします。各ブースで、【スーパーボールすくい無料券】を設置をしているので、それを
- ・ボールは、たくさんとりたそうにしている人がいれば監視対応に対応してください。

<健康相談コーナー>

- ・専門的な相談を受けた場合は、山崎典子さんからそれぞれの職種に打診がきます。その場合は、相談を受けてください。
- ・一人 10 分程度をめやすにしてください。
- ・相談された内容は、所定の記録用紙がありますので、そちらに記載してください。

<アンケートコーナー>

- ・調査用紙を渡されたら記入漏れがないか、確認してから回収 BOX に入れてください。

<採血コーナー>

- ・同意取得を担当する場合は、以下の4点は必ず説明してください。
- 研究の目的は、肝臓病啓発活動として行う無料肝炎検査キャンペーンが
- ①肝臓病に対する理解の向上②肝炎ウイルス検査の受検行動につながり、
- 陽性だった場合に受診まで行ったかを把握することを目的としています。
- そして、こうした啓発活動の意義を検証することです。

□検査結果は、希望の住所に郵送します。(自宅でもなくても問題ありません)岡山大学病院の封筒で希望の住所に届きます。

□もしHBe 抗原もしくはHCV 抗体が陽性だった場合には、精密のお知らせが同封されます。また、検査結果が揃ってから、3ヶ月後に実際に病院に受診したかどうかを調査する用紙が届きます。

□今回の記載していただいた調査用紙と検査結果は、岡山大学病院の研究者が内容を確認し、論文や学会発表でデータを使用します。ただし、個人情報

報がでることなく、統計学的に処理した形で公表されますので、プライバシーは保護されます。

□検査のごことで疑問があれば、岡山大学病院 治験推進部 難波志穂子に御連絡ください。

□同意書、調査用紙、血液検査スピッツは必ず同じ番号が記載されていることを確認してください。

<ももっち、うらっち>

- ・一緒に写真を撮りたいという人がいたら、積極的にカメラを受け取って「ご家族も一緒にどうですか?」と声をかけて、写真を撮ってあげてください。

★ティッシュ・うちわ配りの心算★

- ・前を向いている人は、受け取ってくれる割合が高い。
- ・相手が受け取りやすい位置にティッシュがくるように渡す。
- ・渡す際には、大きな声で元気よく!
- 駅前：「本日、イオンモール岡山でキャンペーンしています。」
- イオンモール岡山市内：「無料で肝炎検査しています。受けていきませんか。」
- ・相手が受け取ってくれなくてもがっかりしないようにしてください。(そんなこともあります。)

注意事項 ★このページは必ず目を通して下さい★

- 1 駐車場の準備はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 2 昼食は、こちらで軽食を準備しています。イオンモール岡山の所定の場所で召し上がってまいります。休憩は状況を見ながら、順次お取りいただくこととなります。
- 3 当日の様子を記録するために、撮影や写真を撮らせて頂くことがあります。また報道等もありますので、ご了承ください。
- 4 溜ったこと、心配なことがあれば、担当ブースの責任者にお声がけください。担当ブースの責任者でも判断が困ることがあれば、難波志穂子にお声がけください。
- 5 岡山大学スタッフは、登壇して歌・体操・ダンスを行います。ボランティアスタッフは、岡山大学病院スタッフの動きをみて「体操」を一緒にしてください。体操のあとにダンスはありますが、こちらは、岡山大学病院スタッフがダンスするところを座ってご見学ください。
- 6 この冊子には、誰がどの役割を担うかを伝えるために、氏名や個人情報が記載されています。取り扱いには十分にお気を付け下さい。
- 7 岡山大学スタッフは当日ネームプレートをご用意していますので、つけてください。

LOVE 肝臓

作詞・作曲：山崎典子
振り付け（体操）：若井賢也
ダンス：武本あかね

毎日 掃除機 30分 机やイスも動かして
ぞうさん片手に汗をかき 小さな積み重ね
燃やそう100キロカロリー
あなたの肝臓守りましょう
減らそう体脂肪 イキキ暮らしできるように

自転車こいで25分 安売りスーパーはしごして
今日も買い物さっそうと 小さな積み重ね
燃やそう100キロカロリー
あなたの肝臓守りましょう
減らそう体脂肪 イキキ暮らしできるように

食後のお散歩30分 タカジョギング15分
カロリー消費に努めます
小さな積み重ね
燃やそう100キロカロリー
あなたの肝臓守りましょう
減らそう体脂肪 イキキ暮らしできるように

どんかつやめて しょうが焼き 外食メニューに気をつけ
替え玉サービスあきらめて 小さな積み重ね
燃やそう100キロカロリー
あなたの肝臓守りましょう
減らそう体脂肪 イキキ暮らしできるように

菓子パンやめておにぎりに アイスの代わりにヨーグルト
タルタルソースはウスターに 小さな積み重ね
燃やそう100キロカロリー
あなたの肝臓守りましょう
減らそう体脂肪 イキキ暮らしできるように

9

キャンペーンの開催にあたり

新医療研究開発センター 難波志穂子

昨年の秋、岡山大学病院消化器内科の医師が厚生省の会議に出席し、肝炎・肝がんの撲滅に向けて、全国の大学病院で様々な取り組みが行われていることを肝疾患サポートチームのミーティングで紹介して下さりました。

岡山大学でも肝炎・肝がんの知識啓発のために市民公開講座を地域の医療機関や日本肝臓学会と連携し毎年主催していますが、医師以外の医療スタッフが積極的に啓発活動に加わる機会はなく、当院でも様々な職種のスタッフが啓発活動を展開したいと思っていることを池田勇雄先生に伝えたとこ、具体的な計画として先導して下さることとなりました。

私は臨床試験に携わる臨床研究（治験）コーディネーターとして働いています。主に、C型慢性肝炎の治験薬に関わることが多く、過去に何度も治療を受けても治らなかった患者さんが、治験に参加したことで治り喜ばれている姿に喜び、新規治療薬の開発に携われることを嬉しく思っていました。

私事で恐縮な話となりますが、実は私の父もC型慢性肝炎で過去にインターフェロンを使った治療を受けましたが、残念ながら死産せず昨年胆管がんで亡くなりました。胆管がんは、ウイルス性の慢性肝炎や肝硬変が原因でおこるがんの一つとして知られています。肝臓がんよりもさらに生命予後が悪く難治性で知られるがんのため、その診断を知ったときにはショックを受けました。そして、『C型慢性肝炎を治すことができていたら、胆管がんにはならなかったのかも知れない。』と思いました。仕事上で知り得た新規薬剤が厚生労働省から承認されたら、父にも治療にチャレンジしてもらいたいと思っていただけに、悔しく残念で悲しかったです。

2007年の岡山県内での調査では年間700人が肝がんになり、600人が肝がんで亡くなっていると報告されています。この患者さんのご家族の中には、私と同じ思いをしている人が何人もいます。

肝炎は治る病気になってきています。肝炎のうち治療すれば、未来は変えられるかも知れません。あなたの健康は、あなたの周囲にいる人達の幸せの一部だということを含めて伝えたいです。

肝炎には治る方法があることを知らず、肝炎ウイルス検査を受けることに抵抗を感じている人、健康診断で肝炎と指摘されていても自覚症状がないために放置している人も多く聞きます。

私たち一人一人ができることは限られたものです。しかし、一人が十人、百人と集まれば、大きな力となります。無料肝炎検査キャンペーンがきっかけとなり、岡山県内、さらに日本中で肝炎に対する理解が深まることを願ってやみません。

10

このキャンペーン開催は、院内のスタッフ約30名、大学関係者7名、治験に参加して下さいた元患者さま28名、知って肝炎プロジェクトからは、平松さま、宇都宮さま、岡山県や岡山市の職員さま、川口メディカルクリニックの職員さま、地域肝炎対策サポーターさま、岡山県健康づくり財団の職員さま、総勢80人のご協力のもとに、実現することとなりました。

お忙しい中、このキャンペーン開催の趣旨にご賛同下さり、ご協力下さったことに、感謝申し上げます。

岡山大学病院
消化器内科
池田勇雄

Tシャツ、ボールペン、ポケットティッシュ、うちわ、ちらし、のぼり：株式会社キスコ 提供さま
会場の設営：ビザビコミュニケーションズ 華城さま、入江さま
にお世話になりました。ありがとうございました。

11

会場見取り図

12

担当時間割 (院内スタッフ)

		事業年度 担当時間割											
氏名		1:30	3:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1	田田 裕之				10:45までに準備	オープニングセレモニー							
2	高木 康乃美				10:45までに準備	オープニングセレモニー							
3	栗田 真由												
4	医師 下村 泰之			オープニング準備【司会打ち合わせ/ゲスト対応】	ハネル展示担当	トークショー司会						ハネル展示担当	サポート
5	藤井 其輔												
6	森本 穂志												
7	和田 真												
8	小山 運弘			オープニング準備【ボランティア案内】	平和通字案内	ゲスト対応・運営							サポート
9	犬山 尚徳美			オープニング準備【アンケート打ち合わせ】	ゲスト接客								アンケート担当
10	笠原 都子			オープニング準備【アンケート打ち合わせ】									アンケート担当
11	山崎 典子			オープニング準備【音楽スタッフ打ち合わせ】									相談コーナー担当
12	山下 美穂			オープニング準備【うちらちち動作確認】	10:45~15:00準備	うちらちち	サポート(複数回)						サポート(複数回)
13	看護師 二宮 美咲			オープニング準備【うちらちち介添え】									ハネル展示担当
14	森光 美佳												
15	藤野 恵子			オープニング準備【複数回打ち合わせ】									
16	岡波 悠穂子			オープニング準備【5分お楽しみ企画/準備/確認/準備】	ボランティア説明	オープニングセレモニー担当							ハネル展示担当
17	PT 岩井 真由			オープニング準備【うちらちち動作確認】	ももっち準備	ももっち	サポート(子ども広場)						ももっち
18	高村 祥志												
19	高村 真由			オープニング準備【複数回準備】【アウクス】									
20	佐藤 あかね												
21	佐藤 八千代			オープニング準備【子ども広場】									
22	佐藤 山田 篤子			オープニング準備【子ども広場】									
23	佐藤 太公保 進之介			オープニング準備【うちらちち介添え】									
24	佐藤 三浦 留美												
25	看護師 佐藤 美子												
26	看護師 高橋 美子												
27	室内課 4人												
28	歌 栗山 典子 藤原 美穂												

★各コーナー担当者が相継ぎでお昼の休憩を取って下さい。
★不明な点、困っていることや何かあったときは、相談に連絡して下さい。

担当時間割 (外部ボランティア)

		氏名	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
1	新見中央病院	早瀬***			OP観覧	勧誘	休憩	歌・体操・ダンス参加	子ども広場
1	川ロメディカルクリニック	黒住***					勧誘/歌とダンスの準備	歌・体操・ダンス参加	
2		桑田 洋子***					勧誘/歌とダンスの準備	歌・体操・ダンス参加	
3		粕井***					勧誘/歌とダンスの準備	歌・体操・ダンス参加	
1	岡山県 保健福祉部	山野***						歌・体操・ダンス参加	
2		重寶***						歌・体操・ダンス参加	
3		橋川***						歌・体操・ダンス参加	
4		石原***						歌・体操・ダンス参加	
5		久永***			OP観覧				
6		富松***			OP観覧				



目次

- 活動要旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 日程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 担当表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ブースごとのルール・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- お礼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 会場見取り図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別紙
- 担当時間割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別紙

活動要旨

【市民公開講座 岡山大学病院健康フェスタ】
岡山大学まちなかキャンパス at イオンモール岡山

1 開催趣旨
我が国の肝炎ウイルス感染者は約200万人いると推計され、厚生労働省は潜在的感染者の早期発見、早期治療の対策を進めている。しかし、受検の必要性についての理解が乏しいため、肝炎ウイルス検査を行わず、肝硬変や肝癌といった重篤な病態に移行してから発見されることも報告されている。

そこで、肝炎ウイルス検査の重要性をさまざまな世代に知ってもらえる機会をつくるため、イオンモール岡山において肝炎ウイルスに対する知識啓発活動を行うとともに無料で肝炎ウイルス検査を受検する機会をもうける。

さらに、近年、ウイルスが原因となるウイルス性肝炎だけではなく、食事や運動などの生活習慣が原因となる脂肪肝についても問題とされている。とくに生活習慣病の代表ともいえる糖尿病患者/予備軍とされる人は肝臓の機能低下に陥りやすく、生活習慣を見直すことで肝臓だけでなく糖尿病の予防のためにも役立つ。

そこで、岡山県民に広く肝臓病や糖尿病についての知識をもってもらえるため、岡山大学病院の肝疾患サポートチームと糖尿病教室開催メンバーの協働のもと市民公開講座を根拠におくキャンペーンを開催する。

2 日時：平成 27 年 11 月 24 日（火）14:30～20:00
3 会場：イオンモール岡山5階・おかやま未来ホール
岡山市北区下石井1丁目2番1号
4 テーマ：生活習慣を見直すこと、肝炎ウイルス検査の受検の重要性

5 主催：岡山大学病院
6 共催：岡山県

日程表

<岡山駅前>
7:00～8:30 キャンペーン広報（岡山駅前でチラシ・ティッシュくぼり）
<イオンモール岡山>
14:30 受付開始
肝炎ウイルス検査、血糖測定（先着200名）、健康相談（先着50名）開始

15:00～15:15 開会挨拶
消化器内科 教授 岡田裕之
糖尿病性腎症治療学 准教授 小川大輔
岡山県 健康推進課 副課長 河原正和

【公開講座】
15:15～16:00 講演1、「身近な食材を工夫して健康生活を送ろう」
講師 臨床栄養部 副部長 長谷川祐子
16:00～16:30 講演2、「肝炎治療最新情報とお酒との上手なおつきあい」
講師 消化器内科 助教 池田勇雄
16:30～17:00 講演3、「あなたの生活習慣は大丈夫？」
講師 薬学部 薬剤師 植田祐介

（休憩 60分）
【ミニレクチャー】
18:00～18:20 講演4、「今日からできる日常生活での気軽な運動」
総合リハビリテーション部 理学療法士 岩井賢吾
18:20～18:40 講演5、「肝炎相談センターのご紹介」
肝炎相談センター 看護師 山崎典子
18:40～19:00 講演6、「肝炎治療にまつわるお金のあれこれ」
肝炎相談センター MSW 豆原郁子

●集合場所●
駅前 7:00 現地集合
イオンモール岡山・5F 13:00（大学出発の場合）
14:00 現地集合（岡山大学以外の方）
（★それぞれ来られる時間が異なっていると思いますので、難波から連絡のあった時間帯で集合してください。）

担当表

<総責任者> 池田勇雄
 <全体相談係> 難波志穂子
 <テッシュ配り> 小山道弘、参加できる人みんな
 <総合司会/会場アナウンス> 大山原穂美、池田勇雄
 <講演ホール内整備> 小山道弘
 <受付 A> 笠原那子、川原***、松田***、大山原穂美
 <来場者誘導> 長谷川那子、橋本***、橋本***、井上***
 <肝炎ウイルス検査受付 B (提出書類確認)> 橋本那子、美生***
 <肝炎ウイルス検査誘導> 藤井洋輔、森岡佳代、岩井賢也、橋本崇志、橋本***、二宮美咲
 <肝炎ウイルス検査> 美生***、宮本***、甲斐***、香山***
 <止血確認 (テント内)> 小越知代、馬場那子、下村孝之、難波志穂子、二宮美咲
 <IC 書類記載補助> 坂本八千代、横正桂子、下村孝之、二宮美咲、清田祐介、西岡***、坂出***、岡***
 <IC 係> 長井美貴、大久保達之助
 <血糖測定> 岡***、坂出***、藤原***
 <血糖測定結果説明者> 下村孝之、高取佐智子、長田麻里
 <健康相談> 山崎典子、池田勇雄、高木華乃夫、能瀬一祐、橋本***、井上***
 <挨拶> 豊田昭之、小川大輔、高木華乃夫、尾形***
 <講演> 長谷川祐子、池田勇雄、清田祐介、岩井賢也、山崎典子、笠原那子
 <ボランティア窓口> 難波志穂子、笠原那子
 <取材/報道> 池田勇雄
 <カメラ係> 下村孝之、難波志穂子
 ★手が離れたら、大変そうならこころへ積極的に手厚いにいきましょう。
 ※太字の下線がある人は、その場の責任者です。
 ※別紙に詳細が記載されています。

難波志穂子 :
 小山道弘 :

5

ブースごとのルール

<健康相談>
 ・専門的な相談を受けた場合は、山崎典子さんからそれぞれの職種に打診がきます。その場合は、相談を受けてください。
 ・一人 10 分程度をゆずりしてください。
 ・相談された内容は、所定の記録用紙がありますので、そちらに記載してください。

<肝炎ウイルス検査>
 ・同意取得を担当する場合は、以下の 4 点は必ず説明してください。
 □研究の目的は、肝臓病啓発活動として行う無料肝炎検査キャンペーンが
 ①肝臓病に対する理解の向上②肝炎ウイルス検査の受検行動につながり、
 陽性だった場合に受診まで行ったかを把握することを目的としています。
 そして、こうした啓発活動の意義を検証することです。

□検査結果は、希望の住所に郵送します。(自宅だけでなく問題ありません。)健康づくり財団から希望の住所に届きます。

□もしHbs 抗原もしくはHCV 抗体が陽性だった場合には、検査のお知らせが同封されます。また、検査結果が届いてから、3 ヶ月後に実際に病院に受診したかどうかを調査する用紙が届きます。3 ヶ月後の用紙は、増大から届きます。

□今回の記載していただいた調査用紙と採血結果は、岡山大学病院の研究者が内容を確認し、論文や学会発表でデータを使用します。ただし、個人情報がでることはなく、統計学的に処理した形で公表されますので、プライバシーは保護されます。

□検査のことで疑問があれば、岡山大学病院 治験推進部 難波志穂子に御連絡ください。

□同意書、調査用紙、血液検査スリッパは必ず同じ番号が記載されていることを確認してください。

6

注意事項 ★このページは必ず目を通して下さい★

- 1.駐車場の準備はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 2.こちらで軽食を準備しています。会場近くに控え室がありますので、そちらで召し上がってまいります。休憩は状況を見ながら、順次お取扱いいただくこととなります。
- 3.当日の様子を記録するために、撮影や写真を譲らせて頂くことがあります。また報道等もありますので、ご了承ください。
- 4.困ったこと、心配なことがあれば、担当ブースの責任者にお声がけください。担当ブースの責任者でも判断が困ることがあれば、難波志穂子にお声がけください。
- 5.この冊子には、誰がどの役割を担うかをお伝えするために、氏名や個人情報に記載されています。取り扱いには十分にお気をつけ下さい。
- 6.キャンペーンスタッフは当日ネームプレートとたすきをご用意していますので、つけてください。
- 7.着衣は、スーツもしくは、それに類似したものでお願いします。(血糖測定をされる方は自施設の白衣をご持参ください。着用されるかどうかは自由です。)

7

今年、8月21日に行われた「無料肝炎検査キャンペーン」に引き続き、本日は第2段のイベントです。
 今回は、糖尿病グループスタッフのご協力のおかげで、肝炎と糖尿病のコラボレーションの啓発活動が実現することとなりました。そして、複数の肝炎一次専門医療機関からもボランティアとして参加して頂き、肝炎サポーターとしての活動の場として、さまざまな施設とのコミュニケーションの場としても、活用して下さることも期待しています。
 お忙しい中、このキャンペーン開催の機会にご賛同下さりご協力頂けることに感謝申し上げます。

岡山大学病院
 消化器内科
 池田勇雄

ボケットティッシュ、ちらし、のぼり：株式会社キスコ 対応さま
 会場の設営：ビザビコミュニケーションズ 華城さま、入江さま
 にお世話になりました。ありがとうございました。

8

11/24(火) イオンモール岡山・未来ホール 肝炎無料検査 スタッフ名簿											
氏名	参加可能時間帯										
	7:00~8:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
医師	岡田 裕之				閉会挨拶						
	高木 章乃夫						健康相談		閉会挨拶		
	池田 勇雄	チャット・チラシ配り		健康相談	講演	健康相談	休憩	司会	健康相談		
	下村 泰之		血糖測定準備	血糖測定説明			止血確認	IC書類記載補助			
	藤井 洋輔	チャット・チラシ配り			肝炎検査誘導			休憩	肝炎検査誘導		
酒・内Dr	熊祖 一裕						健康相談				
酒内秘書	森岡 佐代		準備	肝炎検査誘導			休憩	肝炎検査誘導			
事務	小山 道弘	チャット・チラシ配り	肝炎採血IC準備	講演ホール内整備			休憩	講演ホール内整備			
	犬山 奈穂美	チャット・チラシ配り		アナウンス・司会			休憩	受付A			
	笠原 穂子	チャット・チラシ配り	受付準備	受付A		休憩	受付A	講演	受付A		
看護師	山崎 典子	チャット・チラシ配り	健康相談準備	健康相談			休憩	講演	健康相談		
	難波 志穂子	チャット・チラシ配り	全体の調整								
	細羽 章子		肝炎採血IC準備	肝炎検査受付B	休憩	肝炎検査受付B					
	二宮 美咲			肝炎検査誘導	止血確認	IC書類記載補助					
	小越 知代		肝炎採血IC準備	止血確認		休憩					
PT	岩井 賢司					肝炎検査誘導	講演	肝炎検査誘導			
薬剤	横田 崇志	チャット・チラシ配り					肝炎検査誘導	肝炎検査誘導			
	長井 美貴		肝炎採血IC準備	肝炎採血IC		休憩	肝炎採血IC				
	晴田 祐介			IC書類記載補助	休憩	講演	IC書類記載補助				
栄養	長谷川 祐子			来場者誘導	講演	休憩	来場者誘導				
	佐野 優子	チャット・チラシ配り									
	坂本 八千代					IC書類記載補助	休憩	IC書類記載補助			
技師	大久保 進之介	チャット・チラシ配り	肝炎採血IC準備	肝炎採血IC			休憩	肝炎採血IC			
歯科	横正 桂子			IC書類記載補助	休憩	IC書類記載補助	16:45まで				
糖尿	高取師長		血糖測定指導	血糖測定説明							
	長田 麻里		血糖測定指導	血糖測定説明							
看護研究	馬場 裕子						止血確認				

★休憩時間を記載していますが、これ以外にも混雑状況を見て適宜小休憩を取って下さい。

11/24(火) イオンモール岡山・未来ホール 肝炎無料検査 スタッフ名簿

医療機関	氏名	参加可能時間帯									
		14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
川口メディカル	看護師 勝部 ***	準備	血糖測定								
	事務 西岡 ***	準備	IC書類記載補助								
津山中央病院	看護師 坂出 ***	準備	血糖測定			休憩	IC書類記載補助				
	栄養士 橋本 ***	準備	健康相談・来場者誘導					休憩	健康相談・来場者誘導		
	栄養士 井上 ***	準備	健康相談・来場者誘導				休憩	健康相談・来場者誘導			
水島中央病院	事務 川染 ***	準備	受付A			休憩	受付A				
重井病院	事務 松田 ***	準備	受付A			休憩	受付A				
	事務 橋本 ***	準備	肝炎検査誘導				休憩	肝炎検査誘導			
保健管理センター	保健師 岡 ***	準備	血糖測定	休憩	血糖測定	IC書類記載補助					
岡山県健康づくり財団	看護師 宮本 ***	準備	肝炎採血		休憩	肝炎採血					
	看護師 甲斐 ***	準備	肝炎採血			休憩	肝炎採血				
	看護師 香山 ***	準備	肝炎採血					休憩	肝炎採血		
	看護師 蒲生 ***	準備	肝炎検査受付B			休憩	肝炎検査受付B				

★休憩時間を記載していますが、これ以外にも混雑状況を見て適宜小休憩を取って下さい。

ファジアーノ岡山ホーム公式戦 「県民応援デー」で実施する 「無料肝炎検査キャンペーン2016」

日時：9月25日(日) (vs長崎 キックオフ14:00)
時間：10:00~14:00
場所：シティライトスタジアム前広場
(岡山市北区いずみ町 2-11)



1

目次

活動概要	3
日程表	4
担当表	5
肝炎ウイルス検査/調査用紙 手順	6
役割と人の流れ	
フローチャート	
注意事項	11
時間割	別紙
会場への行き方	別紙
集合場所	別紙
肝炎ウイルス検査を受検することの重要性	別紙

2

活動概要

<背景>
B型・C型肝炎ウイルス感染者は日本で210~280万人いると推測され、その3割は自分が感染していることに気づいていないと報告されています。
肝臓は「沈黙の臓器」と称されるように自覚症状がないため、肝炎ウイルス検査(採血)を行わなければ、感染しているのとは分かりません。
肝機能値が正常であっても感染していることがあります。感染している状態で長年放置していると肝硬変や肝臓癌といった深刻な病態に陥る可能性があります。
ウイルス性肝炎の治療は近年進歩しており、感染していても適切な治療を受けることで治したり、進行を抑えることのできる病気になっています。
肝炎ウイルス検査は、必ずしも職場での必須検査になっていないこともあり、自分でオプション検査を選択する、あるいは行政からの健診健診を利用するなど自分で意識しなければ、受ける機会がありません。
そこで【無料肝炎検査キャンペーン2016】では肝炎ウイルス検査を無料で気軽に受検する機会を設けることにしました。
とくに、ファジアーノ岡山では、家族連れで比較的若い世代・働き盛り世代の来場者も多いため、幅広い年代層に受検する機会となります。
さらに、岡山県では、肝炎に関して受検・受診・受療の場で活躍する地域肝炎対策サポーターを養成しており、こうしたサポーター層士が交流をもつ場としても活用できることが期待されます。

<目的>
・肝炎ウイルス検査の機会をつくる。
・地域肝炎対策サポーターの活動の場をつくる。

3

日程表

<岡山大学病院 玄関集合>
8:20 小山・池田・安中・下村・足立・難波・大久保
8:40 大山・笠原・長谷川・脇坂・山下・二宮・森光
<現地集合>
9:00 高木・精田・大山・岩井
(荷物を搬入する難波・小山・大山・笠原は8時集合)

9:00 健診車(バス)を所定の位置にスタンバイ。
9:15 準備物搬入終了(テントへ9:30まで車輛進入可)
9:30 準備終了
9:30 ボランティア/スタッフミーティング

10:00 テントブース 検査開始
14:00 テントブース 検査終了
15:00 車輛進入 搬入物除去、健診車撤収
16:00 終了



4

担当表

<総責任者>池田勇雄
<全体調整>髙波志穂子

<肝炎検査の重要性の用紙配布/説明：A>
下村泰之、高本草乃美、岩井賢司、小山通弘、川中***、西田***、
大野***、戸部***、岩津***

<整理券配布：B>
足立卓哉、下村泰之、大山淳史

<文書作成補助：C>
大久保進之介、二宮美咲、山下美穂、越塚早岐美、福嶋***、
岡田***、西村***、轟多***、三宅***、二階堂***、
陶守***、福山***

<書類確認：D>
大山奈穂美、荻原那子、岡田***、野口***、林田***、小笠原***

<書類とスピッツのダブルチェック：E>
長谷川祐子

<採血誘導：F>
森光友佳、積田佑介、高畑***、横山***、藤本***

<採血：G>
表江***、星島***、宮本***、木口***、南井***

<カメラ係>安中哲也

<ボランティアスタッフにたすき/しおり/名札を渡す>荻原那子

★手があいたら、大変そうなところへ積極的に手伝いに行ってください。
※太字の下線がある人は、その場の責任者です。
※次のページに詳細が記載されています。

5

肝炎ウイルス検査/調査用紙 手順

A. パネル前 : テントAの前 (責任者: 下村泰之)

①人がどう並ぶかを考え、立つ位置を誘導する
(他のお客の迷惑をならないように)

②下記を説明する

<説明>

- 「肝炎ウイルス検査を受検することの重要性」の用紙を渡し、読んでもらう
- 青い枠内のチェックボックスにチェックをいれる
(今回は、20歳以上のみがアンケート/肝炎ウイルス検査ができます。)
- 倉敷市を除く岡山県在住の住民票のある人しか、肝炎ウイルス検査を受けられないことを伝える
(岡山県外、倉敷市在住の人については、受検できる場所を明記した紙を配布する。最終的に何部配布したかを数えます)
- アルコールで酩酊状態の人は番機応変に対応してください

B. 整理券を渡す (責任者: 足立卓哉)

- 整理券を渡す
- 書類の記載状況により採血の順番が前後することがあることを必ず伝える
- 「肝炎ウイルス検査を受検することの重要性」の用紙に記載された、
 - ・岡山市
 - ・岡山県(倉敷市を除く)
 - ・アンケート記載のみ(過去に肝炎ウイルス検査を受検した人や肝炎ウイルス検査を希望しない人/倉敷市/岡山県外)
 の3カ所のうちどこに並ぶかを伝える
並ぶ場所によって記載する書類の様式/枚数が異なります

6

C. 記載台 : テントA (責任者: 大久保進之介)

- ① 肝炎ウイルス検査の受検の重要性の用紙を読んだか確認する
- ② 記載用紙の説明(「肝炎ウイルス検査の受検の重要性の用紙」の裏を見せて説明する)

D. 書類確認台 : テントB (責任者: 大山奈穂美)

<肝炎ウイルス検査をおこなう人>

- ① 同意書、調査用紙、問診票の3つの用紙に記入漏れがないか確認する
(調査用紙は裏表記載されていること)
- ② 問診票、同意書、調査用紙の3つの用紙にホッチキスでとめる
(この順番で並べてください)
- ③ ホッチキスで止めた用紙をEに渡す
- ④ 整理券と引き替えに、袋を渡す
(袋には先着400人まではタオルあり)

<アンケート(調査用紙)のみの人>

- ① 調査用紙の裏表の記載を確認し、回収する
- ② 整理券と引き替えに、袋を渡す

E. ナンバリング : テントB (責任者: 小林***)

- ① 健康づくり財団の事務員が、ホッチキスでとめた用紙に採血者番号をつけ、採血者番号と同じスピッツを渡す
- ② 必ず採血者番号とスピッツの番号が同じか、被験者とダブルチェックをする

7

F. 採血誘導 : テントBの前 (責任者: 森光友佳)

- ① 検診車の中には2人だけ採血が可能、外のブースでも採血ができるので、空き状況を確認してどちらが空いているか確認し、誘導する
- ② 血液が落ちたりしないように、しっかり止血することを伝える

※もし、気分が悪いという人がいた場合には、検診車の中で休んでもらうように伝える

G. 採血 : テントBと検診車

被験者からスピッツを受け取り採血する

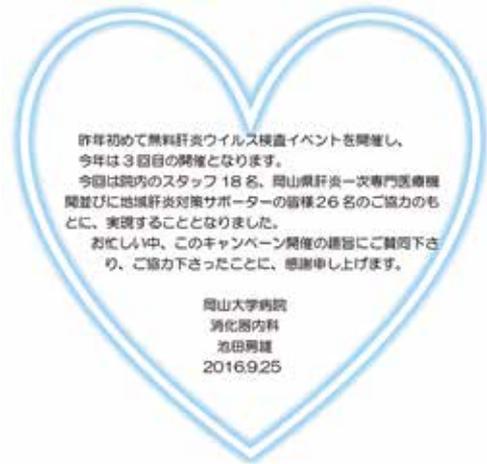


8

注意事項 ★このページは必ず目を通して下さい★

- 1.公共交通機関をご利用ください。(こちらでは駐車場の準備がないので、岡山大学でお支払いすることはできません。)
- 2.こちらで軽食を準備しています。休憩は状況を見ながら、順次お取りいただくこととなります。
- 3.当日の様子を記録するために、撮影や写真を撮らせて頂くことがあります。また報道等もありますので、ご了承ください。
- 4.困ったこと、心配なことがあれば、担当ブースの責任者にお声がけください。担当ブースの責任者でも判断が困ることがあれば、難波志穂子にお声がけください。
- 5.キャンペーンスタッフは当日ネームプレートとたすきをご用意していますので、つけてください。昨年のTシャツをもたれている方は、Tシャツを着用してください。
- 6.個人の名前が記載してありますので、取り扱いに注意してください。
- 7.着衣は、動きやすい格好でてください。
- 8.試合観戦希望の場合は、別途チケットが必要です。ファシアーノ岡山のホームページからご確認ください。
- 9.当日に問い合わせがある場合には、
★役割全般についての問い合わせは、
岡山大学病院 新医療研究開発センター 難波志穂子
に電話してください。

★集合場所についての問い合わせは、
岡山大学病院 医事課 小山善弘 に電話してください。

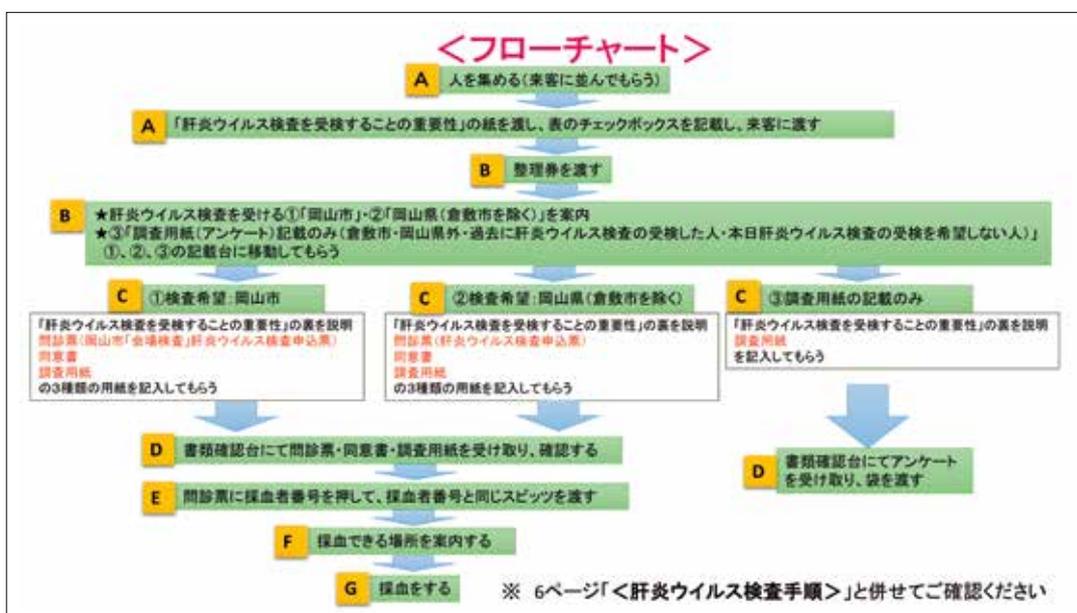
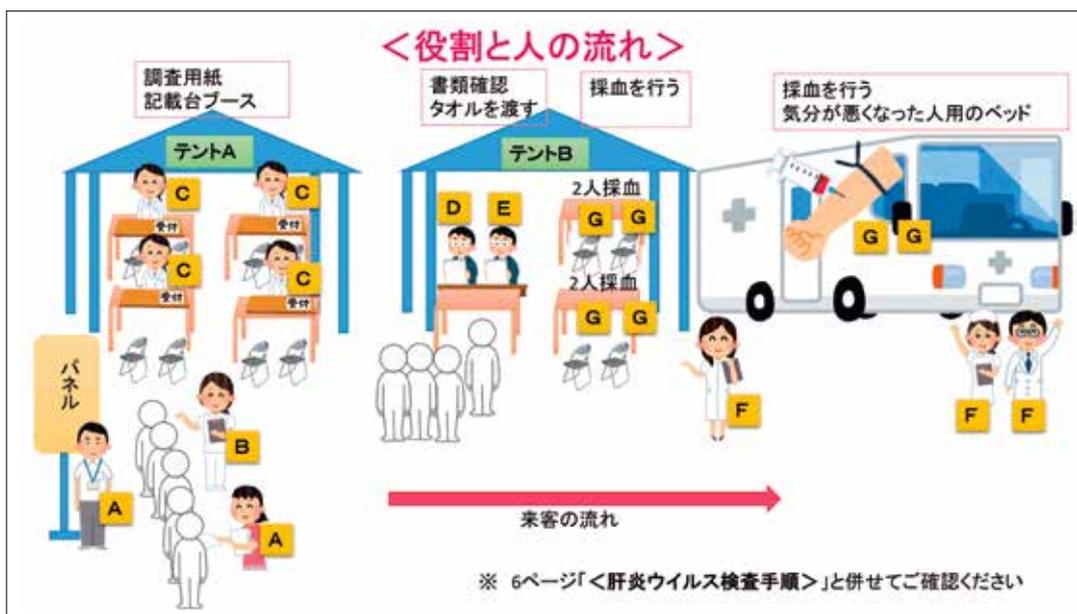


岡山大学病院 スタッフ 時間割

氏名	職種	役割	タイムスケジュール						
氏名	職種	役割	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時
高木 章乃夫	医師	A	肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明						
池田 房雄	医師		各病院医師対応						
安中 哲也	医師	F	カメラ係						
下村 泰之(A:責任者)	医師	A	Aのボランティアに採血誘導をしてほしいことを説明する、休憩調整						
足立 卓哉(B:責任者)	医師	B	整理券をわたす						
大山 淳史	医師	C					整理券をわたす		
難波 志穂子	看護師		全体調整/ボランティア対応						
森光 友佳(F:責任者)	看護師	F	Fのボランティアに採血誘導をしてほしいことを説明する、休憩調整						
二宮 美咲	看護師	C	文書作成補助						
山下 美穂	看護師	C	文書作成補助						
脇坂 早映実	看護師	C	文書作成補助						
大久保 進之介(C:責任者)	臨床検査技師	C	Cのボランティアになにをやるか説明する、休憩調整						
岩井 賢司	理学療法士	A	肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明						
長谷川 祐子	栄養士	E	健康づくり財団の人のサポート						
晴田 佑介	薬剤師	F	採血誘導						
大山 奈穂美(D:責任者)	事務職	D	書類確認						
笠原 郁子	MSW	D	Dのボランティアに何を確認してほしいか説明する、休憩調整						
小山 道弘	事務職	A	肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明						

ボランティア 時間割

医療機関名	氏名	職種	役割	タイムスケジュール						
				9時	10時	11時	12時	13時	14時	
全国健康保険協会岡山支部	岡田 ***	事務職	D	書類確認						
川崎医科大学附属川崎病院	川中 ***	医師	A				肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明			
川崎医科大学附属川崎病院	野口 ***	事務職	D	書類確認						
新見中央病院	西田 ***	医師	A	肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明						
	林田 ***	臨床検査技師	D	書類確認						
岡村一心堂病院	高城 ***	看護補助者	F				採血誘導			
勝山病院	横山 ***	看護師	F	採血誘導						
	藤本 ***	看護助手	F	採血誘導						
倉敷市保健所	福島 ***	看護師	C	文書作成補助						
水島協同病院	三宅 ***	看護師	C	文書作成補助						
笠岡市役所	小笠原***	保健師	D	書類確認						
水島中央病院	二階堂***	看護師	C	文書作成補助						
	陶守 ***	事務職	C	文書作成補助						
津山中央病院	岩本 ***	理学療法士	A				肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明			
勝山病院	福山 ***	看護師	C	文書作成補助						
	岡田 ***	看護助手	C	文書作成補助						
水島協同病院	大野 ***	医師	A	肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明						
岡山市民病院	西村 ***	医師	C	文書作成補助						
	喜多 ***	医師	C	文書作成補助						
新見中央病院	戸部 ***	医師	A	肝炎健診の重要性説明用紙を渡し説明						
健康づくり財団	採血(G):表江 ***,星島 ***,宮本 ***,木口 ***,青井 ***, ナンバリング(E):小林 ***									



＜会場への行き方＞

シティライトスタジアムへはどうやって行けばいい？

車：	スタジアム内は駐車場が少ないので、お近くの有料駐車場、西口パーキングをご利用ください。
バス：	岡山駅後楽園口(東口)から 7番乗り場から同電バス・中鉄バス津高台・半田山ハイツ行き、国立病院行き、免許センター行きで、スポーツセンター前下車。 岡山駅運動公園口(西口)から 同電バス 岡山大学・岡山理科大学行きのバスがありスポーツセンター前下車。
徒歩：	岡山駅運動公園口(西口)から北へ約15分。
シャトルバス：	ホームゲーム開催時、岡山操車場跡地臨時駐車場から無料シャトルバスを運行しております。詳細は「 Cスタへのお車でのご来場 」を参照してください。

詳細は、ファジャーノ岡山のホームページにて、ご確認ください。

MOMO肝通信の発刊

岡山大学肝疾患サポートチームでは、肝疾患診療連携拠点病院として、地域住民や近隣の医療職などに肝炎に関わる情報提供を行う役割を担っています。

そこで、院内の肝臓病教室が開催されたのを機に、肝臓病情報誌として『MOMO肝通信』を発行することにしました。

MOMO肝通信では、開催した肝炎啓発イベント、院内肝臓病教室、家族支援講座、出張肝臓病教室などの活動報告、岡山県肝炎対策協議会や肝炎情報センターが企画する研修会から得た情報、学術集会の発表、薬剤情報、論文紹介など肝疾患サポートチームの定例会で報告された内容を中心に掲載しています。

原稿はイベントや研修に参加した院内の職員を中心に依頼していますが、今後は他院や保健所の関係者などからの有益情報についても掲載の依頼をしていきたいと思っています。

また、地域連携を拡大させるためのツールとして、当院が企画するイベントや出張肝臓病教室の予定なども掲載し、地域肝炎対策サポーターなどにも活動場所の情報提供として活用していただければと願っています。

副刊号 岡山大学病院 肝臓病情報紙

MOMO肝通信 Vol.1

始まりました～！！
岡山大学 肝臓病教室

第1回 開催
H26. 5. 27(火)13:00～
テーマ：肝臓病ってなに
当日は約30名の外来・入院、
患者様、ご家族の方々の参加
がありました。

第1回目は、教授のご挨拶、医師
からC型肝炎の最新治療、お薬や
感染予防の方法、新薬の開発、承
認、肝炎相談センターの紹介など
を行いました。
わきあひばいとした雰囲気の中
で開催されました。

第2回の開催予定
H26. 8. 19(火)13:00～
テーマ：肝臓がんの診断・治療
お薬・日常生活の工夫
講演者：中村達一郎先生
森元雅典先生
橋田樹志先生、他
場所：岡山大学病院
11階カンファレンスルーム

肝臓病教室の配布
資料は西6階病棟
と外来受付フロアに
あります。
自由に上手に借り
返して下さい。
お薬の
お薬の
お薬の

肝臓病教室開設にあたり

岡山大学病院消化器内科教授 山本和秀

岡山県では肝疾患診療連携拠点病院である岡山大学病院を
中心として肝炎専門医療機関が連携し、肝疾患の患者さんに
良質かつ適切な肝疾患医療が提供できるように努めています。
また、岡山大学病院内に肝炎相談センターを設置し、患者さん
などからの相談を受けています。
この度、肝臓病教室を開講し、患者さんなどから相談される
ことの多い内容を中心に、患者さんや家族の方々が肝疾患につ
いて不安に思っておられることや必要としておられる情報を提供
したいと考えています。今後、肝臓病教室を定期的に開催し、
その時々で様々なトピックについて日常生活にかかわる部分を
中心に取り上げていきます。より快適な生活のためにお役に立
てていただけたら幸いです。

慢性C型肝炎治療の進歩

岡山大学病院消化器内科助産 池田勇雄

2011年にテラプレビル、昨年シメプレビルが保
険認可され、慢性C型肝炎の治療成績が劇的に
良くなっています。これらの薬のいずれかよりパ
リンの2種類の薬を服用しながら、週1回のイン
ターフェロン注射を半年間受けていただくことで、
今まで難治性と言われていたウイルス型が1型の
患者さんでも8割以上の方でウイルスを消すこと
が出来るようになりました。また、今年後半にはイ
ンターフェロン注射を必要としない新薬もいくつか
保険認可される予定です。これらの新薬も8割以
上の方のウイルスを消すことが出来る薬ですが、
ウイルスの特定部分のタイプの違いで治療効果
が全く異なることが判っています。ウイルス遺伝
子検査は保険で認められていませんが、ウイル
ス治療を始める前に確認することがお勧めです。
岡山大学病院消化器内科では解析可能ですので
担当医にご相談ください。

☆☆☆お知らせ☆☆☆
平成26年度岡山県肝がん撲滅運動
市民公開講座
日時：平成26年9月7日(日)
時間：13時～15時
会場：備前市市民センター 小ホール

< 肝炎受診勧奨について >

岡山大学病院では全国に先駆けて、25年7月から、
肝炎ウイルス検査結果が陽性の患者さんの自宅に肝
臓検査結果と受診勧奨のお知らせを送付しています。
患者さんは、かかりつけ医・専門医療機関で、詳しい
肝炎ウイルス検査や画像検査により、肝臓の状態を確認し、
治療の必要性について肝臓専門医と相談してくだ
さい。

また、平成26年4月以降、患者さんのフォローア
ップを推進するため、他院を受診して再検査した場合、
その検査結果を自院まで送付していただくように、紹
介状や送書もまとめて送付させて頂いています。

※なお、受診勧奨の取り組みの成果について、受診料や検査結果などを臨床研究などに活用させて頂き、患
者様は個人情報に関する法律等に準じて適切に保護されています。研究内容は、個人が特
定できない形で公開いたします。

岡山県肝炎相談センターへのアクセス方法

- 1 Web(yahooやgoogleなどの検索サイト)で「岡山大学病院」を検索
- 2 患者のみぎさきへをクリック
- 3 おしらせを下にスクロール
- 4 患者のみぎさきの支援について

肝炎相談センターをクリック

岡山県肝炎相談センターが表示されます。新着情報には、第1回肝臓病教室のニュースがアップされています。岡山県のHP肝炎対策にもリンクしています。

岡山県肝炎相談センター スタッフ一岡

B型肝炎ウイルスの新しい治療薬のお話

岡山大学病院 薬剤師 橋田樹志

2014年5月、新しくB型肝炎ウイルスの増殖を抑える薬であるテノホビル ジンプロキシルマルチド酸塩(商品名:テノゼット®錠300mg)が販売開始されました。今回はテノゼット®錠の特徴をご紹介させていただきます。
このお薬は通常、1日1回、1回1錠内服します。
食事の影響を受けにくいお薬ですので、服用のタイミングは生活スタイルに合わせて飲み忘れない時間がかまいません。
治療効果が高く、薬が効きにくい耐性ウイルスが発現しにくいのが特徴です。ただし、投与を中止すると再び発症しやすいので、自己判断で中止しないでください。
副作用の頻度は比較的低いお薬ですが、悪心や肝機能障害、腎機能障害などが起こることがあり、定期的な検査が必要となります。
※用法用量は腎臓の機能などにより異なりますので、医師の指示に従い用法用量を守ってお使い下さい。

西6階病棟からのお知らせ

こんにちは。第1回目の肝臓病教室には多数の御参加ありがとうございました。このレターを手にとって下さる方の中には、入院したことがある方、又は、これから入院予定の方もいらっしゃると思います。そこで、今後は入院中のお役に立つ情報をこの場で紹介していこうと思っています。こんなことが知りたい、こんなことを聞いてもいいのからでも聞きたいと思うこと、どんなことでもいいので皆さんのご意見ご要望をお待ちしています。肝臓病教室にご参加の際、入院の際に遠慮なくお知らせください。

肝臓病教室には入院棟西6階の看護師が参加しています。今年度から矢野師長のもとスタートしました。49床をA・Bの2チーム制で担当し肝臓病教室と同様に薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士など専門職の方々にもサポートしてもらいながら安全よりよい看護をめざし日々頑張っています。よろしくお願ひします。(看護師 藤原)

編集後記

このたび、岡山大学病院の新たな取り組みとして肝臓病教室開催と啓蒙活動の一環としてレターの発行が行われることになりました。このレターは、患者さんにとって役立つ情報だけでなく、医療従事者にとっても病院の肝炎・肝臓病センターの存在がどのよう活動を行っているかを知ってもらうためでもあります。このレターにたくさんの方が掲載されていますが、肝臓病をもつ患者さんやそのご家族を支えるために、医師、病棟/外来看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、治療コーディネーター、事務職員、保健学科職員などの多くのスタッフが関わっています。このMOMO肝通信を手伝った方が、読んでよかったと思えるような内容になるよう工夫していきます。(編集委員 下村 賢達)

岡山県肝炎相談センター 発行 平成26年7月17日

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.2

MOMO肝通信

ようこそ～！！
岡山大学 肝臓病教室 第2回を開催

第2回目は、医師から、肝臓がんの診断・治療、薬剤師からネクサールの飲み方、副作用の対処法、治療費について、看護師からカテーテル治療・ラジオ波焼灼術を受ける患者さんの療養生活についてのお話がありました。家々クイズをまじえながらのお話にて、約30名の皆さんが熱心に耳を傾けておられました。

第3回の開催予定

安中先生

H26.11.18(火)13:00～
テーマ：肝臓病から肝臓移植まで
診断と治療

講演者：安中哲也医師
森本健志医師 他
場所：岡山大学病院
西6階カンファレンスルーム
森本先生

学術集会で発表しました

7月に福岡県久留米市で行われた日本慢性看護学会で、「肝臓病教室開催を目的とした患者ニーズ調査～入院患者と外来患者との比較～」(発表者：遠岡知子)と「肝臓病教室開催を目的とした患者ニーズ調査～肝臓病と診断されたからの経過した時間の違いからわかること～」(発表者：原恵美)の二論文を発表しました。

肝臓病教室の開催前に行った今回の調査で患者様の声を拝見し、病気の経過の不安や新規治療への期待だけでなく日常生活で抱える疑問・不安も改めて知る機会となりました。その結果をふまえて、肝臓病教室の内容を検討することを発表しました。

会場では肝臓病教室での看護師の役割についても質問があり、会場での取り組みについて説明しました。

院内で実施している肝臓病教室では患者様だけでなく家族の方も参加可能です。必要な情報を日常の言葉を使って繰り返しお伝えしていきます。病気のこと、食事・薬・日常生活全般について一緒に関心をもって頂き、医療者と共に疑問や解決策を見つけて出す場にしていただければと考えております。

西9病棟 看護師 原 恵美

肝臓の新しい治療装置と検査装置について

岡山大学病院 消化器内科 中村達一郎

2014年8月から消化器内科に新たにオリンパス社のパイポラRFASシステムColonPOWER(セロンパワー)を導入しました。このシステムは、国内では初めてとなるパイポラ方式を採用した肝臓がん治療用のラジオ波焼灼装置です。従来の装置では治療困難な部位にあるがんや、大きながんも治療可能とされています。今後は患者さんやがんの状態をみてそれぞれの装置を使い分けて治療することが出来るようになります。

また、2014年 9月より簡便に肝臓の硬さを測定できるFibroScan(ファイブロスキャン)という装置を超音波診断センターに導入しました。従来どおりの超音波検査に引き続いて、短時間で針生検などを行わずに肝臓の硬さを測定することが出来る様になりました。定期的に肝臓の硬さを測定することで、肝硬変への進展速度や、肝炎ウイルス排除後の肝臓の状態を知るための目安にもなるものと期待しています。

肝がんの診断

岡山大学病院 消化器内科 森元哲貴

肝がんは、ウイルス性肝炎やアルコール・脂肪肝などの慢性的な肝臓病で、慢性肝炎や肝硬変となった肝臓に多く発生する悪性腫瘍です。肝がんの大部分は肝細胞がんと呼ばれるものであり、その診断には血液検査と画像検査が用いられます。

血液検査では、がんがある時に血液中で増加することのある「腫瘍マーカー」の測定を行います。肝がんの腫瘍マーカーには、アルファフェトプロテイン(AFP)・AFP-L3分画・ピコパツ(PiVKA-Ⅱ)などがあります。画像検査では、CT・MRI・エコーが用いられます。CT・MRIで肝がんの診断を行うときは、造影剤と呼ばれる薬を使いながら検査を行います。肝がんの症状はなかなか出てきません。早期発見・早期治療を行うためには、上に挙げた検査を定期的に行って、積極的に肝がんを見つけに行く必要があります。そのためには定期的な外来通院が必要ですが、都合で外来受診できない方も、必ず病院へ連絡して代わりの予約をとって、外来通院をゆるいようにして頂きたいと思っております。

近年、がん治療において経口抗がん剤を使用することが増えてきています。肝臓癌の治療においてもネクサール®錠という飲み薬が使われています。自宅でも治療を行えるというメリットがありますが、副作用のために治療が継続できなくなる場合もあります。そこで、ネクサール®錠の服用継続を支援する目的で、2010年に医師、看護師、薬剤師を中心にチーム「ネクサール」が発足しました。入院では薬の飲み方や副作用を説明し、副作用を予防するためのコツをお話しています。外来でも肝臓の診察を持つ時間を利用して、看護師や薬剤師が副作用状況を確認し、医師に必要な情報を提供することで、副作用をコントロールしながら効果的な治療を行っています。

チームネクサール

岡山大学病院 薬剤部 橋田崇志

インターフェロンを使用しない日本初のC型肝炎治療薬

林 桂一郎(岡山大学病院 治療推進部)

2014年9月、C型肝炎ウイルスの増殖を抑え、肝臓の機能を改善させる抗ウイルス薬「ダクルインザ®錠80mg(ダラタズビル塩酸塩)」、「スネンプラ®カプセル100mg(アソナプリル)」が発売されました。今回は、ダクルインザ®・スネンプラ®併用療法の特徴や注意点についてご紹介させていただきます。

ダクルインザ®、スネンプラ®は、C型肝炎ウイルスに直接作用してウイルスの増殖を抑えるお薬です。2剤を併せて24週間服用することで、ウイルス排除を目指します。ダクルインザ®は1日1回(1回1錠)、スネンプラ®は1日2回(1回1カプセル)服用します。1日の服用回数異なるので、飲み間違えには注意が必要です。また食前、食後問わず服用することができます。治療効果が高く、80～90%の患者さんがウイルス排除が期待できます。副作用には肝機能障害や鼻膜炎、発熱などがあります。治療期間中は定期的に血液検査を行い、薬の効果や副作用が出ていないかを確認することが重要です。

「治療」をご存じですか?

藤波志穂子(岡山大学病院 治療推進部) 治療推進部スタッフ

皆さん「治療」という言葉を聞いたことがありますか? 新しい薬や医療機器を世の中で広く使えるようにするためには、有効性(薬が病気を治す程度)や安全性(副作用の程度)を評価し、厚生労働省から承認を受ける必要があります。

厚生労働省から承認を得るための臨床研究を「治療」といいます。上記のダクルインザ®、スネンプラ®カプセルも治療に参加して下さった患者様(岡山大学病院でも10数名の方がこの治療に参加して下さいました。)のご協力のおかげで承認を得て、販売の日を迎えることができました。

治療に参加される患者さんの不安を減らし治療を安全に進めるために、治療コーディネーターは、患者さん一人一人に寄り添い、意思決定のサポートや必要な情報提供を行っています。

当院では、看護師、薬剤師、臨床検査技師等が治療コーディネーターとして活動しています。岡山大学病院は、臨床研究支援病院に選定され、新規治療受託件数が日本の大学病院の中で第4位(2012年度)となっています。消化器内科(肝臓領域)は、治療に参加して下さる患者さんも多く、池田房雄先生、白羽実生先生は治療参加患者さんの人数が特に多い医師として、病院長から表彰されました。池田房雄先生は、3年連続で病院長から表彰されており、責任医師として大きく治療に貢献していただいています。

もし治療に興味がある方がございましたら、治療推進部(086-235-7991)までお問い合わせ下さい。

院長 藤波志穂子先生
呼吸器内科 池田房雄先生
消化器内科 白羽実生先生
消化器内科 池田房雄先生

消化器内科外来からのお知らせ

岡山大学病院の外来は内科18部門と外科8部門に分かれています。外来は約70名の看護師が勤務しており、「ワーク・ライフ・バランス」を考慮した柔軟な勤務形態で配置されています。この大規模なスタッフを束ねているのが、私たち頃原裕美外来部長です。頃原部長はバタリヤに溢れ、新しい取り組みを積極的に導入し、看護師が患者さんに適切な専門的知識や技術が提供できるよう、環境を整えマネジメントして下さっています。

当外来は、医科外来棟2階のエスカレーターを降りてすぐ右手にある内科外科フロアになりました。現在、C型肝炎のHCV治療を受けられる患者さんに、アンケート記入後、看護師と面談して頂く事で、体調の変化などを素早くキャッチし、医師と情報共有して治療継続をサポートしています。9月からは内臓での抗ウイルス治療も開始され、患者さんがより積極的に治療を受けられるように看護を構築しています。ご相談等があれば、気軽に8フロアにお立ち寄りください。

文責：看護師 三宅 加代子

頃原 裕美 看護部長
西丸 三宅 青井 小紅
8フロアの看護師

出張肝臓病教室 やってま～す!!

岡山大学病院は「出張肝臓病教室」を始めました。

内容
-肝臓検査の必要性、治療にかかる費用等
-30分～1時間程度
岡山大学病院の医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー等の様々な職種が企業や医療機関に出向し、分かりやすくお話しします。

今のところ、岡山大学、津山の専門学校などでの開催が決まっています。ただし、出張先も募集中です! ご連絡をお待ちください。

問い合わせ先：肝臓相談センター
086-235-6851

市民公開講座

H24年7月17日(日)「肝臓病とがんの予防と治療」
岡山大学病院 市民公開講座
岡山大学病院 市民公開講座
岡山大学病院 市民公開講座

市民公開講座

H24年11月18日(火)「肝臓病とがんの予防と治療」
岡山大学病院 市民公開講座
岡山大学病院 市民公開講座
岡山大学病院 市民公開講座

地域肝臓対策サポーター一冊作

肝臓病の予防と治療に関する情報をまとめた一冊の冊子を作成しました。冊子には、肝臓病の予防と治療に関する最新の情報を掲載しています。冊子の作成には、肝臓病の専門家や患者さん、ご家族の協力がありました。冊子の発行は、肝臓病の予防と治療の啓発に役立ちます。

編集後記：皆様のおかげで、おかげさまでMOMO肝通信もVol.2を刊行することができました。天高く鳥を飛ばす秋、今回は盛りだくさんの内容となっております。ブドウや梨、カボチャなど秋の味覚が満載で御飯のおいしい季節となりましたが、食べ過ぎは飲み過ぎに注意して肝臓に優しい生活を送りたいものです。それでは皆様、ごきげんようさようなら。 編集委員(下村、経達)

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.3

MOMO肝通信

出張 肝臓病教室

サビックスの皆さん
行って来ました！
たのしく肝炎の勉強しましょう！

目的

- 1: 肝臓病に対する偏見をなくし、職場に相談し易い環境づくり
- 2: 肝炎ウイルス検査の必要性の理解を深めるため

岡山県健康管理士会

岡山県社会保険労務士会

お問い合わせ窓口
TEL: 086-235-6851 FAX: 086-235-7613
e-mail: ijika@adm.okayama-u.ac.jp

お申し込み先
岡山県肝炎相談センターのホームページからダウンロードOK

訪問した企業等

日時	曜日	市	会場	対象	人数	時間	講師
10月28日	月	岡山市	岡山大学 法政キャンパス	岡山大学職員	30	19:00	医師・看護師/ソニーワークス
10月31日	金	津山市	津山駅前ホテル	岡山県職員	80	30分	医師・管理栄養士
11月14日	金	岡山市	岡山大学病院	SABA社員	70	30分	医師
11月19日	日	岡山市	HPD会館	岡山県健康福祉士会	30	19:00	医師・看護師/ソニーワークス
11月22日	土	岡山市	岡山県立図書館	岡山県社会福祉士会	30	19:00	医師・看護師/ソニーワークス
12月1日	金	岡山市	健康づくり財団	コリアンズ・イン・ヒロシマ社員	20	19:00	医師・管理栄養士
12月6日	月	岡山市	ナムケイビル	ナムケイ社員	30	19:00	医師・看護師/ソニーワークス

院内の肝臓病教室は誰でも参加できます。外部の医療機関からの見学も大歓迎です！ お気軽にご参加下さい

院内 第4回肝臓病教室 開催します！

日時: H27年2月17日(火) 13:00~ (1時間程度)
場所: 西6階病棟 カンファレンスルーム
テーマ: 脂肪肝に気をつけよう!

慢性肝炎、肝硬変の診断について

消化器内科 安中哲也

慢性肝炎、肝硬変は症状がないままに進行し、肝不全、肝臓癌、胃・食道静脈瘤など命にかかわる合併症を併発します。症状がないからといって放置しておく、非常に危険です。慢性肝炎の原因はウイルス性(B型肝炎、C型肝炎)、アルコール性、非アルコール性脂肪性、自己免疫性など多岐にわたります。

慢性肝炎、肝硬変の治療方針は、原因や進行程度、合併症によって大きく異なるため、まずはしっかり検査を受けて正確な診断をすることがとても重要となります。肝臓病の検査法は大きく分けて、1)血液、尿検査、2)画像検査(エコー、CT、MRI)、3)組織検査(エコー、腹壁鏡)があります。1)、2)については比較的負担が少なく、またその時々で病状が変動しますので、定期的に受けるようにしましょう。3)は比較的負担が大きいので、治療方針を決定する節目に主治医から提案があるかもしません。岡山大学病院ではいずれの検査も最新の機器と熟練したスタッフが担当しますので、安心して検査を受けてください。

なお、もしも以前ウイルス性肝炎と診断されながら通院を中断しておられる方は、近年急速に診断法や治療法が進歩していますので、一度消化器内科を受診されることをおすすめします。繰り返しになりますが、肝臓病はかなり進行するまで症状がでてきません。慢性肝炎、肝硬変の患者さまはくれぐれも通院を中断することなく定期受診を継続して頂きたいです。

肝硬変の治療

消化器内科 島本健志

慢性肝炎は自覚症状に乏しい場合が多いため、気づかないうちに肝硬変となっている場合があります。体がだるい、手足がむくむ、体がゆがむなどの症状は、肝硬変のサインです。肝硬変の治療には、原因療法(肝硬変を進行させる肝炎の原因となるウイルス等を治療する)と、肝臓(ひご)療法(肝臓の血流を良くし、炎症を抑える)のほか、食事療法(塩分を抑えバランス良く)、合併症(むくみや腹水など)の治療があります。

C型肝炎については、今年9月からインターフェロンを使わない抗ウイルス治療が保険診療にて受けられるようになりました。原因療法については肝硬変を悪くする肝炎の原因や肝炎ウイルスの種類・ウイルス量・肝臓の状態により行うことができる治療が人それぞれで異なりますので、主治医の先生とよく相談の上治療を受けてください。

肝硬変では肝がんを発症する危険が高いことに注意してください。CTや腹部超音波検査などの画像検査を定期的に行い、肝がんを早期に発見することが大事です。

受診勧奨 Q&A

Q1 受診勧奨の手紙が届きました。どこで検査を受けたいですか？

A1 現在肝臓専門医にかかっておられる方は、次回が肝臓専門医受診日に同封の紹介状を持って受診して下さい。かかっておられなければ、お近くの肝臓専門医を受診してこれを機会に詳しい検査を受けられる事をお勧めします。緊急症はありませんので3ヶ月以内に受診して下さい。

Q2 岡山県内の肝臓一次医療機関を教えてください

A2 岡山県内の一次専門医療機関(113機関)があります。一次医療機関は、岡山県HPもしくは肝臓病相談センターHPでご確認ください。

Q3 岡山病院入院中に精密検査を受けたいです。A3 院内紹介の手続きをしてもいい。消化器内科に相談して下さい。問診のあと、必要な検査(採血・肝臓超音波検査・腹部CT等)の予約と次回の外来予約を取らせていただきます。検査は通院後になります。入院中二次診が出来れば、月曜～金曜の11時までに消化器内科外来を受診して下さい。問診、採血、必要な薬の予約をさせていただきます。

Q4 子供の受診はどうですか？

A4 15才以下の子どもは、金曜日のみの診察です。平日の14～16時に小児科外来に電話して予約を取り、金曜日の午前中に、検査結果と対応確認書を持って来院して下さい。

今回は、実際に肝炎相談センターに寄せられた質問を紹介してみました。私に対応させて頂くようになって、早4ヶ月、各スタッフに助けを借りながら現在に至ります。毎朝毎夜、何らかの事が起こる新たな発見がある中で、今後の対応に活かされれば、と思っております。 医師 犬山宗徳

新たなC型肝炎治療薬「パニヒップ」について

治験推進部 島田哲

2014年11月に新発売されたC型肝炎の治療薬「パニヒップ」カプセル150mgについて紹介いたします。

パニヒップは、C型肝炎ウイルスの複製に必要なNS3/4Aプロテアーゼを阻害してウイルスの増殖を抑えるお薬です。1日2回(1回2カプセル)で12週間(インターフェロンの治療で無効となった方の場合は24週間)服用します。なお、ペグインターフェロン(週1回皮下注射)およびレベテール®(1日2回服用)と併用して治療を行います。

他の同じ効き方の薬と比べた場合の特徴は、インターフェロンの治療で無効となった場合でも6割弱効果があることです。なお、初めての治療の場合は8割強の方でウイルス検出が期待できます。

よくみられる副作用は、消化器症状(吐き気、食欲不振など)や、インフルエンザのような症状(発熱、頭痛、だるさなど)、尿もなどです。消化器症状は特に治療開始から2週間までに出やすいとされています。

雑誌紹介 西6階病棟 藤澤知代

この度、日経出版「消化器最新看護」という看護雑誌に、「食道静脈瘤破裂による吐血を経験した患者への退院・療養支援について」として、記事掲載いたしました。以前から、患者さんが吐血に対し、どのように悪い対応をしておられるのかを知りたいと思っていました。吐血を経験したことのある患者さんにインタビューをしながら、悪い対応行動について分析しました。その中で、病状への不安を抱えながら日常生活を営む様子を知りました。日常生活で病状を悪化させない方法や、病状の吐血に備えての対策などの対応方法を多くの方に知って頂きたいと思い、食道静脈瘤の治療を終えられた患者さんを対象にしたリーフレットを作成しました。出来るだけ多くの方に知って頂き、病状と上手に付き合いたいという人らしい日常生活が送れる手助けとなれればいいなと思っております。

藤澤知代、山田隆子、他: 消化器最新看護、日経出版、p13~19、14(12)、vol19 no.5

論文紹介 治験推進部 雑誌掲載

当院では、2010年よりインターフェロンを使って抗ウイルス治療を行う患者さんに対して、診察前に看護師が面談を行っています。この看護師面談では、患者さんご自身の体調や精神的な変遷について記載していただき、その記載や血液検査結果を一緒に確認しながら、副作用の対応策や日常生活の工夫を看護師が説明しており、患者さんの生活の質の向上を目指しています。

すでに、海外ではこうした看護師や医療職による支援が、必要な薬剤の服用の向上/維持に役立ち、治療成績を向上させることが報告されています。

そこで、当院の看護師も患者さんごとのような効果をもたらしているかを検証しました。治療期間が長くなればなるほど体調や精神的負担は強くなるにもかかわらず、看護師面談を受けた患者さんは治療後半において、インターフェロン/レベテールの投与率を下げることなく治療を継続でき、副作用対策も入れている傾向がわかりました。

この内容は、当院消化器内科 池田隆雄先生のご指導の下、2013年の日本慢性看護学会に「C型肝炎患者でインターフェロン投与を行う患者を支える看護実践効果の検証 副作用投与率の観点から」のタイトルで三宅加代子看護師が発表しました。さらに、Acta Medica Okayama に論文投稿を行い2014年11月に掲載されました。

Namba S, Miyake K, Ikeda F, Hazama T, Hisobe Y, Yamasaki N, Shiraha H, Takaki A, Nouse K, Iwasaki Y, Yamamoto K. Nursing support increases the efficacy of interferon therapy in patients with chronic hepatitis C. Acta Med Okayama. 2014 Oct;68(5):263-8.

都道府県肝疾患診療連携拠点病院 看護師向け研修会に参加して

西6階病棟 加賀宇孝

12月に千葉県市川市にて、肝炎・免疫研究センター 肝炎診療センター主催看護師向け研修会に、草履副院長と共に参加してきました。全国の肝疾患診療連携拠点病院から56名の看護師が参加し、1日目は講義を受け、2日目はグループワークを行いました。グループワークでは、「難治性腹水の看護」をテーマに、難治性腹水を抱えて生活されている患者様の看護について話し合いました。お互いの考えや各々の病院の取り組みの情報交換を行うことで、新たな考え方を知り、患者様との関わりを考える良い機会となりました。患者様が抱える苦痛をしっかりと受け止め、腹水とともに日々の生活を少しでも安楽に過ごす事ができるような看護を提供していきたいと改めて思いました。

また、当院で行っている一般市民/就労者に対して企業等に訪問する出張肝臓病教室はまだ他の施設では同様の取り組みがされておらず、先進的な取り組みだということを知りました。

肝疾患サポートチームの活動報告

10/20、31分科討議法人ウイルス肝炎研究新報 肝炎ウイルス相談員養成研修会(東京) 山崎、安原

11/10 厚生労働省 就労に関する総合支援モデル連絡会 第2回総会(東京) 池田、安原、小山

11/19 岡山県肝炎対策協議会 及び岡山県肝臓病診療連携拠点病院連絡協議会(岡山) 山本、池田、小山、犬山、安原、山崎、藤澤

12/5、6 H26年度 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター主催 看護師向け研修会(千葉) 加賀宇、草履

12/5 日本臨床看護学会【C型肝炎患者に対するオラフェンビル併用療法を受ける患者の看護支援の効果】(愛媛)発表 雑誌

12/10 岡山県医師会主催の保険薬局協会基礎研修会【肝炎治療の基礎知識】(岡山)講演 植田

研修予定

2月21日(土) H26年度 第2回 地域肝炎対策サポーター研修会
場所: ビュアシティまきび
時間: 14:00~16:30

3月8日(日) 第15回 岡山県肝炎医療従事者研修会
場所: ビュアシティまきび
時間: 13:00~15:00

編集後記

12月に入り寒さが厳しくなってきましたが、岡山にもオゾンがで、朝はイルミネーションが輝き、ワクワクする季節がやってきました。秋から始まった治験肝臓病教室では、新たな取り組みの発表を期待していただいていた、スタッフ一同気持ちも新たに準備しております。皆様も年末年始の忙しい時期ではありますが、お年賀状などお送りいただき、今年一年お世話になりました。来年も宜しくお願いいたします。(編集委員 下村、健志)

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.4

MOMO肝通信

肝臓病死亡"0"を目指して
岡山大学消化器内科 教授 山本 和秀



私が医師に成り立ての頃（約40年前）、肝臓病は不治の病であり、原因は分からず治療法も全くありませんでした。医学の進歩により、現在では肝臓病の原因はほぼ解明され、治療法も確立されています。それでも、まだまだ多くの方が肝臓病で亡くなっています。

その一番の原因は、肝臓病は末期になるまで症状がないため、患者さんが自分で気づかないことです。これを防ぐためには「検診」が最も大切です。皆さん、肝臓病死亡を限りなく"0"に近づけるために積極的に検診を受けましょう。

肝臓相談センター長 新任ご挨拶 消化器内科 高木 幸乃夫

今年度より、肝臓相談センター長に就任しました岡山大学病院消化器内科 高木幸乃夫と申します。

山本和秀教授センター長が立ち上げられた多種多様な肝臓病サポートを引き継ぎ充実させていきたいと思います。

肝臓は沈黙の臓器と言われるように、多くの場合調べてみないと病気の有無がわかりません。健診で肝臓異常を指摘された時、血縁の方に肝臓病が発見された時、など何かのきっかけがあった時に気軽に相談できる窓口が必要です。

岡山県の支援により、肝臓病診療連携拠点病院である岡山大学病院内に肝臓相談センターを設置し、医師・看護師・治療コーディネーター・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカーなどより構成される肝臓病サポートチームが患者さんからの相談を受けています。

最近では出張肝臓病教室などでの情報提供も行っています。また、検査・治療が必要な場合には岡山県肝臓病専門医療機関が連携し、肝臓病患者さんに良質な医療を提供できるように努めています。

次々と新薬が認可される予定のC型肝炎治療薬や近年増加が著しい脂肪性肝疾患など、多くの疑問や希望にこたえていきたいと思っています。今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。



肝臓相談センター
相談センター長
高木 幸乃夫

脂肪肝の診断について

消化器内科 和田 隆

脂肪肝の診断は血液検査や画像検査があります。血液検査ではAST、ALT、γ-GTPなどがあります。AST、ALTは肝細胞中に含まれる酵素で肝障害により上昇してきます。γ-GTPは胆道系酵素でありアルコールの過剰摂取や肥満などで上昇します。

画像検査として代表的なものは腹部超音波検査になります。超音波では脂肪は白く見え、そのため腎臓との対比によりコントラストがつかえます。

アルコールの過剰摂取を含まない脂肪肝(非アルコール性脂肪肝)の中の10~20%程度に肝硬変に進行したり肝細胞癌を発生したりする可能性のある症例が存在し、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)とされています。NASHと単純性脂肪肝の区別には血液検査や腹部超音波検査で予想することは出来ませんが、診断の確定には実際に肝臓の組織を採取が必要な場合もしばしばあります。



脂肪肝の治療について

消化器内科 白野 祥樹

脂肪肝の治療の基本は、原因を取り除くことです。生活習慣の改善、特に食事と運動に気をつけることが大切です。アルコールや薬物が原因の場合には、それらの中止も必要となります。肥満や運動不足が原因の場合は、摂取カロリーを減らし、運動を増やします。簡単に言うと、一般的に行われている「ダイエット」を行います。

どのようにするべきかわからないといった方は、まず間食を減らしたりやめたりして、現在の食事量を1.2割量を減らすと良いでしょう。特に乳製品など、比較的カロリーの高い食品を体良いと考へ、多く摂取している方もいらっしやいますので、食事内容の見直しも大切です。運動は、15分以上行う有酸素運動が効果的で脂肪を燃焼させます。30分程度の散歩が体に負担をかけずに運動をスタートするには適当です。せつ々の生活習慣の改善も長続きしないという意味がありますので、無理なく長く続けられる方法を考えていくと良いでしょう。脂肪肝になるような生活習慣は、高血圧、高脂血症、糖尿病などその他の生活習慣病を合併しやすく、これらを予防するという意味でも生活習慣の改善を心がけることが大事です。

がんばって、悪い生活習慣を克服しましょう。



脂肪肝の予防について

看護部 塚本 八千代

皆さんは脂肪肝の予防というと、「必ず油を控えています。」「ケチ加工のフライパンにした。」などと一緒におっしゃいます。残念ですが、そうではありません。

栄養療法の基本は「バランスよく野菜を十分に組み合わせる」ことです。野菜を目標にしましょう。魚や大豆製品を中心に良質なタンパク質をとることも大切です。さらに、便秘をしない様に腸の中の環境を整えることも大事なポイントになります。食事を減らして間食や菓物を取り過ぎないことです。

標準体重の求め方ですが、2015年日本人の食事摂取基準から考え方が一部変わりました。BMI(体重指数)が、22から25未満であれば標準以内となりました。身長160cmの方であれば1.6×1.6×22=25=56~64kg未満ということになります。64kg以上であればまず12、3kg減量が目標です。食生活を見直してみよう。



食事のポイント

1. 腹八分止とする。
2. 食品の種類は出来るだけ多くする。
3. 脂肪控えめに。
4. 食物繊維を多く含む食品(野菜、海藻、きのこなど)
5. 間食、菓子、夕食を制限しなく。
6. 油・塩・糖・脂・たんぱく質を控える。

C型肝炎(2型)に対するテラピックの適応追加について

薬剤部 嶋田 祐介

テラピックは、2014年9月に、 genotype 2型C型肝炎に対する適応が追加されました。対象となるのは、以前にインターフェロン治療をして無効だったか再発した患者です。内服に際しては、併用薬や食事に関して注意が必要なので、治療を開始する前に薬剤師が薬のチェックや生活パターンの取組を行います。

副作用として、皮膚、食欲不振、貧血などが現れます。皮膚は早期から出現するので、全身の観察が重要です。皮膚が見られた場合は、皮膚科と連携して対応します。食欲不振が出現すると、食事や補食が摂りづらくなり、テラピックの作用が弱まるため、吐き気止めや胃薬などで対応していきます。貧血が見られた場合には、リビリンを減量するなどして対応していきます。



院内研究発表会で「肝臓病教室」をテーマに発表しました!

ICU(元 薬心臓)加賀 宇志郎

院内研究発表会にて「肝臓病教室が患者にもたらす意義と検討課題」という題目で発表を行いました。

第3回日までの肝臓病教室に参加された方が協力してくださったアンケートの結果を基に、実際に参加した方の感想や、どのような教室を希望しているのか、現在の教室に足りない部分は何かを分析し、まとめました。その結果、肝臓病教室に参加した肝臓病患者の治療効果が向上しており、肝臓病に対する情報を提供する場としての役割は果たせていたことがわかりました。一方で、就労している人の参加が困難であり、今後の開催方法において検討する必要性が明らかとなりました。アンケート結果を分析する際に参加者の思いに触れることができ、今後の肝臓病教室をより良い物にしていきたいと改めて思いました。

お役立ち情報!

~こんな論文があります~

Life expectancy in patients with chronic HCV infection and cirrhosis compared with a general population

van der Meer AJ et al. AMA. 2014 Nov 12;312(18):1927-1928

C型肝炎とは、C型肝炎ウイルス(HCV)の感染によって起こる肝臓の病気です。HCVに感染すると、慢性肝炎、肝硬変、肝がんへと徐々に病気が進んでいきます。C型肝炎の治療の目的はHCVを排除して肝臓の進行を防ぐことです。HCVの排除に成功すれば本来に長生きできるのでしょうか?今回はそんな疑問に答えてくれる論文をご紹介します。

van der Meerらの研究グループは、肝臓病が進行したC型肝炎患者530人を対象に、インターフェロンを基本とした抗ウイルス治療を行った後の経過を追跡調査しました。その結果、HCV排除に成功した患者群の10年生存率は91.1%と高く、健康な人と変わらないことがわかりました。肝臓が進行した患者でもHCV排除することで健康な人と同等の寿命が期待できるというのとはとても興味深い結果だと言えます。

近年、新しいC型肝炎治療薬が登場し、80~90%の確率でHCVを排除できるようになりました。この論文では抗ウイルス治療がインターフェロンを用いた治療に限定されているため、新しい治療薬でも同じ結果になるかはわかりませんが、今後の研究による検証が期待されます。

元 治療支援部 林 桂一郎

肝臓病サポートチーム「櫻の木賞」を受賞しました

ありがとうございます
ささいます



互ちしき...櫻の木賞ってなあに?
岡山大学に貢献した功績に対して病院長が表彰してくださる、名誉ある賞です

出展肝臓病教室の取り組み

消化器内科 下村 泰之

出展肝臓病教室もおかげさまで2年目に入りました。現在、出展肝臓病教室用に新たなリーフレットを作成中です。肝臓病についての予備知識や日常生活での注意点なども記載されています。今年度も様々な職種に出張させていただき予定で、皆さんにとって有意義な時間となるようにスタッフ一同頑張ります。よろしくお願ひ致します。

院内 第5回 肝臓病教室

(出展発表)

日 時: H27年5月19日(土) 13:00~
場 所: 西6階病棟 カンファレンスルーム
テーマ: 肝臓の外科手術について

活動報告

- 1/16 都道府県肝臓病診療連携拠点病院間連絡協議会(東京): 池田 小山
- 1/27 出展肝臓病教室(牟佐別荘): 安中山 山崎 笠原 健彦
- 2/4 岡山県肝臓病対策協議会及び岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会(岡山): 山本 池田 渡辺 山崎 犬山 笠原 小山
- 2/17 第4回院内肝臓病教室
- 2/21 第2回地域肝臓病対策サポーター研修会(岡山): 犬山 笠原
- 3/7 肝臓病相談センター相談員向け研修会(宇治): 山本 山崎
- 3/8 岡山県肝臓病対策協議会 山本 笠原 小山 山崎
- 3/17 出展肝臓病教室(清原町): 元 坂本 竹内 長谷川
- 4/23 出展肝臓病教室(西日本メディカルリンク): 下村 佐藤 犬山 小山 藤原 笠原

編集後記 池田 隆雄、渡辺 志穂子

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.5

MOMO肝通信

「肝臓癌の外科治療」肝臓外科 教授 八木孝仁

まず肝臓と肝臓癌の特性(他臓器・他臓器との違い)は

① 正常な肝臓は再生する。

② 癌治療をおこなう対象臓器(肝臓)が病気のことが多い。

③ 治療は肝臓の腫瘍因子と肝予備能のバランスのうえに成り立つ。

という三つの特徴があります。

肝臓癌の治療には肝切除・ラジオ波・動脈高圧術のほか肝移植まで(この順番で治療効果が高い)、肝予備能に応じて数種類の治療があります。しかし、肝臓癌の発症は治療の始まりにすぎません。肝臓癌は比較的転移しやすいのですが、転移をしたからと言って他のがんのように治療ができなくなることは少ないのです。つまり、癌を治療しながら生きてゆくこと(癌との共生)が可能です。

肝臓の原因疾患として有名なものはB型・C型肝炎があります。比較的肝機能の良いB型肝炎から癌化は、ウイルスの遺伝子組み込みがいつ起こるか分かりませんが、必ずしも肝硬変を経ずに患者さんが若くても突然癌化が起こります。一方C型肝炎(B型肝炎硬変)からの癌化は、何十年も日常的に繰り返された塊状再生によって、実質の蓄積が起こるのが原因です。C型肝炎は「肝臓の癌」であり、C型肝炎に罹患したら「癌」が必ずついてくると思われていました。発症率は低下させれば、インターフェロンやDAAというお薬でC型肝炎を駆逐する必要があります。しかしたとえウイルスを駆逐できても癌ができないわけではありません。

肝機能が悪化した患者さんに比較的早期の肝臓癌が合併した場合は肝移植という方法があります。肝臓は比較的早期から肝臓の中に転移を起こしますが、肝臓の外に転移するのは進行度が進んでからです。したがって、肝臓に比較的早期(単発なら直径5cm以内、多発なら直径3cm以内のもの)が3個以内、ミラノ基準と言います)であれば、臓器不全に陥った肝臓ごと癌を取り去ってしまえば、再発無く治療できることが可能となります。



大抵なことをもう一度繰り返しますが、肝臓の一般的な治療は肝切除・ラジオ波・動脈高圧術の順に治療効果が高く、どれを選択するかは腫瘍の進行度と肝予備能のバランスで決まります。患者さんに優しい治療がベストの治療とは限りませんので、肝臓の治療選択は必ず肝臓外科医にも相談下さい。



下村俊之、志田真樹、他 肝炎ウイルススクリーニング検査陽性患者に対する結果報告システムの構築による肝臓専門医受診率向上への取り組み 肝臓 2019; 30(4): 137-143.

肝臓手術の術前後の看護

第1病棟 病室 野山千穂

術前は、肝障害を起こす原因となるため禁酒と、肺機能の低下に加えて癌が多く、術後に肺炎を起こす危険性があるため禁煙の指導は重要です。術後は、度々起きると、肺血栓や腸閉塞などの弊害が起きますので、早期起床が重要です。肝臓切除後の合併症として注意すべきものは、肝不全と後出血と胆汁漏です。バイタル測定やドレーンの観察を厳密にしています。看護師は、術後の早期回復のため、術後合併症の兆候がないかを観察し、痛みコントロールを行い、安全に早い時期に動けるように援助しています。

強い痛みは、深呼吸ができなかったり、寝たきりになったりするほか、不眠やせん妄の原因になります。効果的な痛み止めを術後疼痛の大部分は取り除くことができるので安心してください。経過が良ければ2週間程度で退院できます。それまで責任を持って看護致しますので一緒に頑張りますように。



肝臓疾患術後のリハビリテーション

総合リハビリテーション部 看護師 買野

肝臓の病気、手術後は無理をしてはいけないと思われているかも知れませんが、無理をしなければ、基本的には適度な運動が重要になります。近年手術後は、できるだけ早期に歩いたり、歩いたり、呼吸の練習をしたりということがあたりまえになっています。起きて運動する方が、寝て安静にしているよりメリットが大きいです。運動をするメリットとして筋力維持、全身持久力維持などです。しかし、なんでもたくさんやったらいいというものでもありません。やりすぎたり、やり方を間違えたら効果が得られなかったり、悪くなったということもあるため注意が必要です。手術後は身体の機能を回復させる時期で、過度な運動は回復を阻害する恐れがあります。ですので、軽く汗がにじむ程度や、やきやきと感じる程度が安全で適切な負荷になります。退院後も、運動を継続していくことがさらによい効果につながります。



論文が掲載されました

肝炎ウイルス検査受診勧奨システム

実化内科 下村俊之

雑誌「肝臓」に当院の取り組みに関する論文が掲載されました。当院では2013年度より、手術前や入院時、輸血前などに付いている肝炎ウイルス検査で陽性であった患者さんに対して、結果を通知し肝臓専門医を受診するように勧奨する取り組みを開始しました。この取り組みでは肝炎ウイルス検査が陽性であった場合、①患者さんのカルテ上に「受診勧奨」を赤文字マークが出現して、カルテの閲覧者に対して注意喚起する。②翌月になっても結果説明がなされていない場合には、肝炎相談センターより検査を指示した医師に連絡し、許可があれば結果説明用紙を郵送する。という、2段階の仕組みになっています。当院では手術前の紹介などで遠方から来院され検査をして、入院まで受診のない患者さんも多く、なかなか結果説明がなされていない現状がありました。そこで郵送による取り組みを開始したところ、主治医の負担を増やすことなく、スムーズに結果説明がなされ、ほとんどの患者さんに結果説明を行うことができている。

C型肝炎の新しい治療薬「ソバルディ」について

第1病棟 病室 野山千穂

今回は2015年5月に発売されたC型肝炎治療薬「ソバルディ」(錠400mg)について紹介します。ソバルディはC型肝炎ウイルスの中でもジェノタイプ2型といわれる遺伝子型に分類されるウイルスを標的としたお薬です。ソバルディは1日1回1錠を12週間服用します。単独でも使用せず、ソラシリンと併用して治療を行います。ジェノタイプ2型の慢性肝臓病の治療において、インターフェロンを必要としない、初めての経口薬のみの治療法となります。有効(ウイルスが消失)率は90%以上で、従来のインターフェロンでの治療で効果がなかった人や、副作用によって治療が続けられなかった人でも効果が期待できます。副作用は比較的少ないお薬ですが、貧血、頭痛、倦怠感、悪心、そう痒症など起こることがあります。貧血はソラシリンに起因する場合もあり、ソラシリンを減量するなどに対応します。

【第51回 日本肝臓学会総会】の参加/発表報告

肝臓病研究開発センター 副センター長 野山千穂

5月に熊本で日本肝臓学会総会がありました。下村俊之先生が、【当院における就労者を対象とした出張肝臓病教室の開催】を発表し、私は【C型肝炎に対するアスナプレビル・ダクラタシル(第3回治療)の臨床的特徴から看護支援の検討】、【地域肝臓サポーター研修会参加者の現状分析】の2演題を発表しました。会場での抗HCV治療に関連した演題では、アスナプレビル、ダクラタシルの発表がかなりの数を占めており、経口剤だけの治療として初めて日本に誕生したこの2剤がともにも注目されているのを実感しました。私が治療に関わった、レディナビル、テラプレビル、アスナプレビル・ダクラタシル、ソフォスビルが製造販売承認を得て、レディナビルやオムタスビル・パリタプレビルも承認目新まですべて完了し、新しい薬剤が世の中に登場し、患者さんが治り喜ばれる様子を見ると創薬に関わる仕事のやりがい、すばらしさを感じます。同時に、データをまとめたから、治療に参加して下さった一人一人の患者さんに「ありがとう」ございました。みなさんのおかげで薬が誕生しましたと感謝の気持ちがいっぱいです。良い薬が次々誕生しているの、次のステージは【まだ感染に気がついていない人が多いに発見し、治療に結びつける】に視点を移して活動していきたいと思っています。

【第17回 日本医療マネジメント学会】の参加/発表報告

肝臓病相談センター 野山千穂

「職域での肝臓病研修会の開催～肝機能異常の有無での受講者意識の比較～」と題して出張肝臓病教室で配布させて頂いた調査用紙の結果をまとめ、大阪で開催された日本医療マネジメント学会で発表しました。調査用紙は、計13項目から構成し、肝臓病教室で異常を指摘されている群(指摘群)と、そうでない群(非指摘群)とを比較しました。指摘を受けた直後で「肝臓ウイルス検査を受けようと思ったか?」の項目において、両群とも約70%が受けてみたい、反対に約30%が受けたくないと回答しており、この背景については当日の座長を努めてくださった徳島市立病院院長 渡瀬 實先生も興味を示され、「受けたくない理由として考えられる要因はなにか?」とご質問頂きました。自由記載の内容や聴講者の会話から「検査を行った結果、自分が慢性だと知るのが怖い」、「身近な問題としては受けたくない」という意識があること、こうした意識をもとに研修会で使用するスライドの改善も進んでいることを説明しました。また、出張肝臓病教室が、肝炎に対する偏見/差別の解消に役立ち、就労環境の改善の一助となることを示していました。会場の熱心な雰囲気と触れ、この出張肝臓病教室にも参加させるため、身の引き締まる思いです。参加させて頂き本当にありがとうございました。

世界肝炎デーのお知らせ

世界保健機関(WHO)は、2010年7月28日を世界肝炎デーと定め、肝炎に対する認識を高め、ウイルス性肝炎の蔓延防止、感染予防の推進、感染者への差別偏見の解消を目的とした啓発活動を行っています。日本でも2012年第1回日本肝炎デーキャンペーンが行われました。当院でもこれに呼応し、世界肝炎デーのイベントとして、7月28日～8月4日に、当院の外産科1階大ホールにて、**パネル展示を行います。**医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、など肝疾患サポートチームが、皆さんに、肝炎についての理解を深めていただくこと、それぞれの部署での活動を掲示します。また8月21日(金)には**イオンモール岡山で無料肝炎検査を行います。**無料検査コーナーの他に、相談コーナー、クイズ、音楽や体操などいろいろな楽しい企画を考えています。お友達やご家族をお誘いの上、のぞいてみてください。お待ちしております。(肝炎相談センター 山崎典子)

厚労省 平成27年度肝炎患者の就労に関する総合支援モデル事業との連絡会

第1回会議に参加して

医事課 小山直弘

6月11日に東京都 主簿会館で、研究代表者の東海大学 渡辺智教授のもと開催されました第一回会議に岡山大学から池田助教、笠原SWと共に参加してきました。会議では、来賓の挨拶で厚労省 鈴木室長から最近の肝炎対策事業の動向や国の取り組みなどについてお話が有り、続いて参加者より各病院等の就労支援の活動や相談対応の報告が行われ、今後の取り組みについて産業界の関わり方などの意見交換がされました。

院内 第6回 肝臓病教室

目 的: H27年8月18日(火) 13:00~
場 所: 西産科棟 カンファレンスルーム
テ-マ: 肝臓と癌

活動報告

- 5/19 第6回院内肝臓病教室 肝臓の外科手術について 八木 孝山 野山 千穂
- 5/21 日本肝臓学会 池田、下村、渡瀬、ほか多数
- 5/27 出張肝臓病教室(徳川町) 野山 千穂 野山 典子 小山 大山
- 6/5 出張肝臓病教室(徳川町) 池田 祐田 野山 下村 野山 小山 笠原
- 6/17 肝炎患者の就労に関する総合支援モデル事業との連絡会(東京) 池田 小山 笠原
- 6/12 日本医療マネジメント学会発表(大阪) 笠原
- 6/14 出張肝臓病教室(倉科衛生会) 大西 結田 野山 野山 野山 野山 野山

活動予定

- 7/3 出張肝臓病教室(H27) 倉科 衛生 山崎 野山 下村
- 7/15 岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会(岡山) 高木 池田 野山 山崎 大山 笠原 小山
- 7/28 8/4 世界肝炎デー 院内イベント:
- 8/7 都道府県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会(東京) 高木 小山
- 8/18 第6回院内肝臓病教室 肝臓と癌
- 8/21 イオンモール岡山で無料肝炎検査キャンペーン

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.6

MOMO肝通信

【無料肝炎検査キャンペーン2015 in イオンモール岡山・未来スクエア】の開催に寄せて

「知って、肝炎プロジェクト」のスペシャルサポーターとして、市民の皆様へ肝炎ウイルス検査の必要性、肝炎の早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動する取り組みを促していただくことをお伝えし、今回の故郷の岡山でのイベントに参加させていただきました。

朝から多くの市民の方が肝炎検査を受けに会場に集まられたのを見て、岡山大学病院の方々はほっとし、多くの方のご協力により、肝炎に関する関心が高まっていることを実感いたしました。

今回の検査で、方が一掃と診断されたら、すぐに専門医の診療を受けて下さい。特にC型肝炎は、ほぼ副作用のない飲み薬での治療が始まっています。大切な人や家族のために「自分の身体は自分で守る。」を心がけて下さい。

私はこれからスペシャルサポーターとして肝炎に関する啓発活動を通じてまいりますので、皆様の肝炎撲滅に向けてより一層のご活躍をご期待申し上げます。

元プロ野球選手 平松政次
※「知って、肝炎プロジェクト」2012年から始まった厚生労働省の国民運動事業の通称

肝炎に対する認識を高め、予防・検査・治療を促進することを目的として国際的には世界肝炎デー、国内では日本肝炎デーを設けられています。そして厚生労働省は肝炎総合対策推進国民運動事業として【知って、肝炎プロジェクト】を発足して、潜在的感染者の発見にも取り組んでいます。

岡山大学病院ではそのスペシャルサポーターでいらっしやいます平松政次様をお招きして8月21日に無料肝炎検査キャンペーンを開催いたしました。平松様はご存知のとおり岡山県出身で名球会入りされている大塚南高等学校のエースでもいらっしやいます。岡山大学の岡山における音楽に設立しようという思いで戻ってくださった。

岡山大学病院では、このようなキャンペーンだけでなく「肝炎相談センター」を設置し、治療内容、検査にかかる費用や精神的負担、患者生活などについてのご相談に直接あるいはお電話で対応できるようにしています。ご相談内容に応じて、医師・看護師・薬剤師・栄養士あるいは検査技師などの専門職が対応いたします。また、患者さんやご家族をサポートするために定期的な肝臓病教室を院内で開催して、さまざまな情報提供を行っています。

さらに、就労団体・企業を当院医療スタッフが訪問し、肝炎ウイルス検査の受検・受診勧奨を行う出張肝臓病教室なども開催しています。今後も地域に開かれた医療機関として皆さんの健康を守るための活動を広げていきたいと考えています。消化器内科 教授 岡田勝之

無料肝炎検査キャンペーン2015 in イオンモール岡山・未来スクエア

この無料肝炎検査キャンペーンは、岡山大学で企画する初めての肝炎検査・啓発活動イベントでした。

大学の職員だけでなく、元肝炎治療参加者さん30名、川口メディカルクリニック、健康づくり財団などの肝炎一次医療機関の職員、岡山県職員 総勢80名と共に、開催しました。

朝7時30分～9時までは岡山駅前でのうちわ/ティッシュ配り、10時からはイオンモール岡山で、岡田教授、高木肝炎相談センター長、兼岡山県健康推進課課長のご挨拶に始まりました。

平松政次さん、下村憲之医師、元治療患者さんとのトークショーでは、肝炎治療が劇的に進化し治療成績の向上の話や、肝炎ウイルス検査の受検の重要性についてお話ししました。

当日は、肝炎ウイルス検査・アンケート記入・子ども広場・パネル展示で、500人近いの集客がありました。

無料肝炎検査キャンペーンに参加して 消化器内科外務科 森光友佳

8月21日イオンモール岡山で無料肝炎検査キャンペーンを開催しました。普段は疾患を持った患者さんの看護を行う私たちにあって、健康な方に肝炎を知ってもらい、興味を持ち、自分の事として検査を受けてもらうにはどうすればいいのかが、市民の方々の目線に立ち考える日々でした。

肝炎予防のための体操・ダンスの発表、多職種に呼びかけパネル作成など様々なアイデアが膨らみ、いざ本番を迎えました。結果は予定をはるかに超える集客があり、347名の方が検査を受けていただきました。今回が初めての開催でありながら集客も多々ありましたが、反省点を今後に活かし、感染に気づいていない人を早期発見・早期治療につなげられるよう尽力していきたいと思っています。

大森雅夫岡山市長を表彰訪問 消化器内科 池田剛雄

「知って、肝炎プロジェクト」のスペシャルサポーターである平松政次さんは、イオンモール岡山で開催された肝炎検査イベント当日、大森雅夫岡山市長を表彰訪問されました。厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動特別参加の杉良太郎さんから託された肝炎検査推進への協力を呼びかけるメッセージを読み上げ、感謝していても全く症状のないことが多い肝炎ウイルス感染は通常一生に一度確認すれば良く、肝炎ウイルス感染を見つかるために肝炎検査は大変良い機会であり、全ての人に受検をお勧めするとお話しされ、大森市長も協力することを約束されました。

平松さんが大森市長の忙しい日々を気遣い、肝臓を健康に保つ検査やアルコールの話を解説されたり、また、大森市長は平松さんが岡山県代表として甲子園大会で大活躍された時にスタンドで応援されていたエピソードを披露されたりと終始和やかな訪問となりました。

肝臓と腎臓と塩の関係

消化器内科 高木肇典

肝硬変に腎障害はしばしば合併し、生活習慣にも薬剤使用にも注意が必要です。

肝臓の重要な働きとして、血管内に水分を留める働きを有するアルブミンの産生があります。肝硬変が進むと、アルブミンが低下、本来は血管内に存在すべき水分が、腫水や浮腫になってしまいます。また、肝硬変になると、肝臓の血流が妨げられるため、血管を少しでも広げようと血管拡張ホルモンを産生するようになります。その働きにより本来細い静脈が太い静脈になり、結果として、腎臓に流れる血液は減少します。そのため、腎臓は水不足を勘違いして、水分を塩と一緒に再吸収します。更に水だけを再吸収する働きも助長する為、体内に塩分、それ以上に水が増加して腫水・浮腫になります。治療としてはナトリウム再吸収を抑える利尿剤や水再吸収を抑える利尿剤などを組み合わせて水分と塩をコントロールします。生活習慣で注意することは、水だけでは塩分も制限することです。

肝臓と塩について

臨床栄養師 長谷川純子

塩分には水を引き寄せる作用があります。肝臓の機能が低下し、おなかや水が溜まる腫水や手足が膨れだす浮腫がある場合は、塩分を摂り過ぎるとさらに水を溜めやすいため塩分は出来るだけ控えましょう。

減塩目標は1日6g未満です。日本人が1日に摂取している塩分量の半分にはなりません。塩分は調味料以外にも付録・漬物・佃煮・ム・ソーセージ・チーズなどの加工食品や漬物や麺類などにも含まれていますので気をつけましょう。

おいしく塩分を減らすためには

- ①昆布、鰹節、煮干しなどの出汁の旨味を利用する。
- ②レモン、すだち、ゆずなどの天然の酸味を利用する。
- ③表面に味をつける。
- ④食材本来の持ち味を活かせる新鮮な食材や旬のものを使う。
- ⑤香味野菜や香辛料を効果的に使用する。
- ⑥温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに、一番おいしい状態で食べる。

などがあります。上手に減塩をしましょう。

お役立ち情報！

～こんな論文があります～

Enhanced liver fibrosis test can predict clinical outcomes in patients with chronic liver disease.
Julie Parkes1, Paul Roderick1, et al. Gut 2010;59:1245-1251

慢性肝炎が悪化すると肝臓の繊維化が進行し最終的に肝硬変となります。肝臓の繊維化は5段階のステージに分類されそれぞれが分断するためには肝生検が必要で、この論文では肝生検をせずに血液検査の結果から繊維化のステージを予測できないかということ、(LFスコア(血清アルブミン(AL)、プロコラーゲンA1(PII)、プロコラーゲンA2(P1P)、総ビリルビン(TBIL)とTIMP-1)の測定値を組み合わせたアルゴリズムより算出)という評価法と肝生検の結果を比較して検証しています。追跡期間は1年にも及びました。結果としてLFスコアは患者群における6年後の肝硬変の予後を、少なくとも肝生検と同程度の正確さで予測できることが確認されました。 検査部 大久保直之

「世界肝炎デー」の院内パネル展開催

肝炎相談センター 山崎典子

WHO(世界保健機関)は7月28日を「世界肝炎デー」と定め、肝炎に対する認識を高め、ウイルス性肝炎の蔓延防止、感染予防の推進、感染者への差別・偏見の解消を目的とした啓発活動を行っています。岡山県肝臓病診療連携拠点病院で今年度開催とこれに呼び、7月28日～8月4日、外来棟1階大講堂でパネル展を行いました。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師など30部署からの肝炎に関するスライドが展示され、たくさんの方が足を止めて熱心に見入っておられました。TVモニターを設置し、【知って、肝炎プロジェクト】の広報用DVDも放送し、好評でした。

シート形式のアンケートにはおよそ70名の方々に御回答いただきました。肝炎検査を受けたことがない人が半数近くおられ、まず検査を受けていただくことの重要性を改めて感じました。

岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会について

理事 岡山 大森雅夫
岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会は年3回行われています。岡山県肝臓病診療連携拠点病院を中心に、肝炎二次専門医療機関の代表者で構成する協議会委員が、県内の肝臓病診療方針等についての情報交換、情報提供を行うことを目的としています。

本年度最初の開催(7月15日)では会長の選出があり、岡山大学病院消化器内科の岡田教授が選出され、新体制が整いました。

また、岡山県肝臓病診療連携拠点病院である岡山大学病院、岡山県肝炎相談センターの活動状況やその他の事業の報告、質疑応答なども毎回行われています。

今回は、第116回肝臓病診療連携推進研究会や地域肝炎対策サポーター研修会についても協議され、開催内容が決まりました。

院内 第7回 肝臓病教室

日時: H27年11月17日(火) 13:00-
場所: 西6階病棟 カンファレンスルーム
テーマ: 子どもと肝炎

活動報告

7/15 岡山県肝臓病診療連携拠点病院の院内連絡協議会(岡山) (岡田、高木、池田、室中、難波、山崎、中山、大山、長原)
7/28-8/4 世界肝炎デー院内パネル展示
8/7 H27年度第1回岡山県肝臓病診療連携拠点病院連絡協議会(東京) (高木、中山)
8/18 第68回院内肝臓病教育「肝臓と塩」
8/21 無料肝炎検査キャンペーン2015 in イオンモール岡山・未来スクエア

活動予定

● 出張肝臓病教室
9/25(金) 15:00~16:00 岡山ふれあいVIVANTサービスセンター
10/3(土) 14:00~15:00 21川病院
10/30(金) 9:00~10:00 岡山県介護福祉士会
11/21(土) 11:00~12:00 経理工業株式会社
● 第16回 肝炎診療連携推進研究会
9/27(日) 13:00~15:00 アークホテル岡山 3階
● 地域肝炎サポーター研修会(岡山)
10/19(月) 14:00~16:30 鳥取県立文化アライナー
● 肝炎ウイルスに関する相談員養成研修会(東京)
10/22(火) 10~12:30
● 肝炎診療連携推進研究会に関する総合モデル事業との連携(東京)
11/9(日) 12:50~17:00
● 第7回院内肝臓病教育「子どもと肝炎」
11/17(火) 13:00~14:00 西6階病棟
● 岡山県肝臓病診療連携拠点病院の院内連絡協議会(岡山)
11/11(水) 19:00~ ビュアリティまきび

編集後記

夏に企画していたイベントも無事に終わり、今更の後のような感じもありますが、各々次に向けて準備をしています。

厳しい暑さだった今年の夏も過ぎ、過ごしやすくなりました。食後、散歩、スポーツなどいろいろな活動がありますが、充実した秋にしたいですね。(下村憲之・森光友佳)

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.7

MOMO肝通信

『岡山大学病院健康フェスタ』 消化器内科 下村泰之

11月24日にイオンモールおかもやま未来ホールにて、『岡山大学病院健康フェスタ』を開催させていただきました。これは岡山大学まちなかキャンパスというイベントの一部で、肝疾患サポートチームと糖尿病チームのコラボで参加し、無料肝臓検査や血糖測定、健康相談、講演、ミニレクチャーなど、盛りだくさんの内容になりました。

イオンモールでの開催ということで、実際にイオンモールで惣菜の買い物をしたムービーを作りました。実際の商品が登場し、昔年の講演とは一味違ったものになったのではないかと思います。今回のイベントは、準備期間がなかなか院内の多くの方に御協力いただき、無事に開催することができました。また平日の日中にも関わらず多くの方に来ていただきました。関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。岡山大学病院肝疾患サポートチームでは、これからも院内内外で様々な取り組みをしてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

『身近な食材を工夫して健康生活を送ろう』

臨床栄養師 副部長 長谷川祐介

今回は、おかもやま未来ホールで身近な食材を工夫して生活習慣を見直す話しをしました。事前に下村医師の企画で看護師、理学療法士が食品売り場で買物をし、食材の選び方について解説する内容でした。仕事や家事が忙しく作れない時は惣菜を利用することもあると思います。惣菜を選ぶときは栄養成分表示を確認し、エネルギー、食塩に気をつけることが大切です。揚げ物に偏らず、野菜、海藻、きのこを意識して加工、主食、主菜、副菜を揃えた食事にするのがバランスのとれた食事です。日本人(成人)の栄養摂取基準では1日の食塩摂取量は男性6g未満、女性7g未満となっています。調味料や漬物、練り製品などの加工食品を控えめにするとうまく減らすことが出来ます。

生活習慣病を防ぎ、また重症化を防ぐためには、食生活を見直し工夫して無理なく続けることが大切です。

『あなたの生活習慣は大丈夫？』

薬剤師 嶋田祐介

2型糖尿病は、遺伝因子と環境因子が影響して発症する。代表的な生活習慣病の1つです。日本人では、糖尿病および糖尿病予備群を含むと2000万人を超えると言われています。糖尿病自体は自覚症状がほとんどないため、予防や治療の意識を感じづらくいかもしれません。真に怖いのは血管の合併症です。三大合併症と言われる神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症のほか、心臓梗塞や脳梗塞、閉塞性動脈硬化症による下肢の切断などがあり、生活の質が大きく悪化する可能性があります。いかに合併症を予防できるかが重要です。

予防および治療で大事なのは、食事と運動習慣を見直すことです。食事については、規則正しく摂ること、腹7分目としゆっくり食べることを意識すると良いでしょう。運動については、有酸素運動を無理のない程度で継続することが大事です。生活習慣の見直しとしては、ストレスをためないこと、できるならタバコをやめることが、動脈硬化の予防につながるため、上記の合併症予防に有効です。



B型肝炎と予防接種

小児科 藤井洋輔

皆さん「VPD」という言葉をご存じですか？ VPDとは、Vaccine Preventable Diseasesと書くと、ワクチンで防げる病気という意味です。B型肝炎はワクチンで防ぐことができ、数年内にはB型肝炎ワクチンも定期接種になる予定です。現時点ではまだ普及が進んでいません。子供がB型肝炎にかかると、持続感染と言って、ウイルスが生きてしまえば、肝臓や肝がんなどの病気へ進んでいくことがあります。現在日本では、妊婦さん全員にB型肝炎の検査をして、陽性の妊婦さんから産まれた赤ちゃんに、感染予防を行なって母子感染は減ってきています。しかし、お母さん以外からの感染(お父さんなどの家族や、保育施設での感染)は起こっています。B型肝炎は無くなってはいけません！

今からでも遅くありませんので、大切な家族をB型肝炎から守るために、家族みんなが予防接種を受けましょう。そして、検査を受けたことのないお父さんたちは、ぜひ一度肝臓検査を受けてみましょう。

子どもと脂肪肝

臨床栄養師 科本 加奈枝

朝食抜き、急や野菜を食べない、間食の摂り過ぎ、水代わりにジュースや牛乳を飲む、遅い夕食、運動不足などの「詰ったライフスタイル」が育ち盛りの子どもの肥満増加に影響を与え、小・中学生に脂肪肝・2型糖尿病が増加しています。これらのライフスタイルは子どもが選択しているわけはありません。親は子のライフスタイルを子どもの将来に影響を与えていく。親の果たす役割は重要です。食生活において更に心がけたいのは免疫力を高める食材を取り入れることです。

「まごはやしとい」毎日の食事に取り入れてはいかがでしょうか。

- 【ま】豆、畑の肉と書かれる大豆、豆腐
- 【ご】ごまなど種実類
- 【や】わかめなど海藻類
- 【し】野菜、1日350g、幼児は200g以上
- 【い】さかな特に青魚はEPA・DHAが豊富
- 【な】シイタケ地きのこ類
- 【し】芋類
- 【よ】ヨーグルトなどの発酵食品

腸の免疫力を高めることにも役立ちます。

子供と肝炎感染予防対策

岡山大学病院 感染制御部 推進部員 齋藤真由子

B型肝炎、C型肝炎は、血液を介して感染が拡大する疾患です。B型肝炎については、母子感染予防プログラムの充実により母子感染は、ほとんどなくなっていますし、C型肝炎の母子感染も稀です。

では、子供が家庭において肝炎の家族からどのように肝炎ウイルスが感染するのでしょうか？考えられる可能性について述べてみます。①歯ブラシの共用②肝炎の家族の血液が子供の粘膜や損傷がある皮膚に付着した③出血がある手で子供の粘膜などに触った④注射器の針が、子供に刺さってしまった。などが考えられます。このように列挙しますと、日常的に感染が起こってしまうような錯覚を起こしてしまいがちですが、通常の日常生活で容易に感染するものではありません。ただ、血液には気を付けましょう。特に、近年は糖尿病の方をはじめとして、家庭で自己注射される方が増えてきています。子供が針刺しをしないように、針の取り扱いに十分気を付けなければなりません。



C型肝炎ウイルスの新しい治療薬のお話～ハーポニー配合錠～

薬剤師 嶋田崇志

2015年9月に新しいC型肝炎治療薬ハーポニー配合錠が発売となりました。このお薬はC型肝炎のなかでもシエタタイプという日本人に多いタイプのC型肝炎治療薬です。

治療は1日1回1錠を12週間続けました。高い治療効果が期待できるお薬で、日本人を対象とした治療(発症前・薬の効果・副作用を確認するための試験)において、治療終了12週間経過後のウイルス陽性化率が100%と全例で効果を確認することが報告されています。

その高い治療効果を期待するためには飲み忘れのないことが大切です。飲み忘れや薬が効きにくいウイルスが出てくる可能性があります。それは治療の失敗や今後の治療を困難にする原因となる可能性がありますのでご注意ください。お薬の飲み合わせにも注意が必要で、事前に薬の飲み合わせを確認してもらいましょう。また、買薬などの市販薬や健康食品でも効果や副作用に影響を与えるものがあります。使用する前には医師・薬剤師にご相談下さい。

肝臓検査を受けよう！

消化器内科 森本憲志

肝臓は栄養の代謝・貯蔵、体の免疫、有害物の処理、必要な蛋白の産生などを行っています。「沈黙の臓器」といわれますが、これは何らかの原因で肝臓が障害を受けても予備能力が高いため、症状として自覚できないことが多いからです。このため、慢性肝炎の初期の段階では自覚症状が乏しく、気がつかないうちに肝臓病となっている場合があります。

わが国におけるHepCのキャリアは110-140万人、HepCのキャリアは190-210万人と推定されています。体がだるい、手足がむくむ、体がかゆいなどの症状はありますか？これらは肝臓病のサインです。

肝炎ウイルス検査は通常の健康診断ではまだ行われていないため、自発的に検査を受ける必要があります。県内の保健所や、肝炎一次専門医療機関(平成27年12月8日時点で県内には16か所)、二次専門医療機関にて無料で肝炎検査を受けることができます。検査の日程につきましては各医療機関にお問い合わせください。

岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会 肝炎相談センター 五郎野子

平成27年11月11日(水)岡山市内で開催されました。

岡山県肝炎相談センターからの活動報告を行います。合わせて、8月21日(金)イオンモール岡山・未来スクエアで行われた無料肝臓検査キャンペーンを実施した様子を報告しました。当日の様子を収めたDVD(6分)の上巻をはじめ、アンケートの一部を解析した結果など、確実に啓発活動が県民の皆様の元へ届いたことなどのお喜びをお伝えしました。

議題「肝炎対策協議会の様式(関係者)」、「医療費助成制度の一部改正」等について議論がされました。

また、年2回開催している医療従事者研修会と地域肝炎対策サポーター研修の講師や講演予定内容も報告されました。

様々な職種が研修会に参加しています

【第16回岡山県肝炎医療従事者研修会 感想】検査部 大久保新之介

人間ドックを受ける方への肝炎ウイルス検査の受検勧奨など肝炎ウイルス検査をしてもうためそれぞれの施設で行っている工夫や、肝臓病教室の取り組みを紹介しました。当院の消化器内科助教であります池田直哉のご講演では、近年発展のめざましいHCVの治療薬の歴史や9月に発売となった新薬の治療効果についてお話しされました。HCVに対する新薬の登場によりC型肝炎の治療が「インテグラーゼ」による2、3割減という効果的でした。しかし、次々出てくる新薬のおかげでインターフェロンが効かなかった方も治療できる可能性が高まっており、その点はとても喜ばしいことだと感じました。

【地域肝炎対策サポーター研修会 感想】医事課 大山京理美

平成27年度第1回地域肝炎サポーター研修会が、10月19日自費企画で開催され、当院の新医療研究開発センター 難波助教が当院の肝炎ウイルス検査受検勧奨の活動について講演し、肝炎相談センターから、山崎、笠原、大山が出席しました。岡山県肝炎センターの松下山先生が最新の治療法について講演しました。まず1度は受検して頂き、陽性ならば肝炎専門医療機関を紹介し、その人に合った治療を行う必要があります。ウイルス性肝炎は治る病気になりつつある。その治療には助成制度が(国・県・市)にある事を知ってもらう。陽性でも放置している方については、受診勧奨、啓発活動が必要である事を感じました。陽性で放置されている方一人一人でも多く受診に繋がれるようしていくのが今後の目標です。

【肝炎ウイルスに関する相談員養成研修会 感想】西6病棟 二宮 義典

11月に県庁の奨励金で発生予防の健康局疾病対策課肝炎対策推進室より開催された肝炎ウイルスに関する相談員養成研修会に参加しました。岡山県肝炎センターの大山事務員と共に参加してきました。

この研修では、我が国の肝炎対策の動向についてと肝炎ウイルスに関する疫学について、また、急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・肝がん・NASHの疾患と最新の治療法についての講演が行われました。特に豊富、難波の時代のために最近日本でも増加しているNASHに関する講演は興味深いものでした。現在日本では肝炎ウイルスの新規感染者は少なくなってきていますが、感染を知らないまま潜在しているキャリアは約80万人。また、感染していることを知っているが継続的な受診をしないままいるキャリアは約50-120万人とまだまだ多い状況にあります。今後は様々な職種の方が肝炎コーディネーターとして肝炎ウイルスに関する正しい知識を広め、検査や受診の必要性の普及や勧奨を行っていくことが大事なのだと感じました。

活動報告

- 研修会・講演会等
 - 9/27 第16回岡山県医療従事者研修会(アークホテル岡山) (講師: 難波、大久保、小山、大山、笠原、山崎)
 - 10/19 地域肝炎対策サポーター研修会(岡山県立アピアター) (大山、笠原、山崎、難波)
 - 10/22-23 肝炎ウイルスに関する相談員養成研修会(県庁) (二宮、大山)
 - 11/9 岡山県肝炎センター事業部協議会(東京) (加藤、小山、笠原)
 - 11/11 岡山県肝炎診療連携拠点病院等連絡協議会(岡山) (笠原、高木、池田、小山、大山、笠原)
 - 11/17 第7回岡山県肝臓病教室(子供と肝臓) (岡山西6病棟)
- 出陣肝臓病教室
 - 1/21 (水) 18:00-19:00 プラッツイオン南校
 - 1/20 (金) 19:15-20:15 西岡
 - 1/29 (金) 16:00-17:00 東山中学校
 - 2/19 (金) 12:30-13:30 SAPOX
- 岡山県肝炎相談センター
 - 2/16 (水) 13:00-14:00 岡山西6病棟
 - 地域肝炎対策サポーター研修会 ヒューリックまじまじ
 - 2/20 (土) 14:00-16:30
- 第17回岡山県医療従事者研修会 ヒューリックまじまじ
- 3/6(日) 13:00-15:00 岡山県庁の研修会
- 岡山県肝臓病センターからの健康推進室への健康推進活動の展開

活動予定

- 出陣肝臓病教室
 - 10/30 北山病院 (高木、嶋田、長谷川)
 - 10/30 岡山県介護福祉会(下村、西野、長谷川)
 - 11/21 経建工業株式会社(高木、嶋田、山崎)
 - 11/22 石瓦人懇話会(笠原、池田、山崎)
 - 12/17 MSD株式会社 (内山、三浦、大山)
- 9/25 岡山県肝臓病フェスタ(イオンモール岡山)
- 9/25 岡山県肝臓病フェスタ(イオンモール岡山)

編集後記

思いもたず、今年も終わってしまいました。皆様にとって今年はどうだったのでしょうか？私には今年様々なことに挑戦し、たくさんの新しい仲間に出会うことができました。これも多くの皆様のおかげです。これと感謝して生きていく。これからも皆様の支えがあって、これからも皆様に役立つ情報をお届けしていきます。寒い日が続きそうですが、お体に気を付けて、良いお年をお迎えください。

下村泰之 編集後記

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.8

MOMO肝通信

岡山大学病院の職員が「地域連携活動」を拡大します

肝臓相談センター 笠原郁子

これまで、岡山大学病院の肝臓病サポートチームが、企業や就労団体に出向き、出張という形で肝臓病教室を開催し、最近では開催直後に肝臓ウイルス検査も実施していることを以前のMOMO肝通信でご紹介しました。

この月よりさらに新たな取り組みとして、この出張肝臓病教室で皆さまの地域(市町村、保健所)にお邪魔した際に、地域で働く職員さんと岡大職員が一緒に地域住民の方々の肝臓対策を考えていく企画を始めました。

今回は瀬戸内市役所 保健福祉部様からの要請を頂き、担当の方々と「肝臓ウイルス陽性者対策」についての情報交換を行いました。肝臓ウイルス検査の陽性者に対して、どのように関わり、個人情報への配慮を行いながら説明を行う方法や、関係機関へのアプローチなど就業中の案件について意見を交わしました。

当院の池田医師から、当該地域の医師会との協力要請を含めた連携が重要であることについて、前置がありました。

また、地域における「肝臓ウイルス検査」の実施についても協議し、地元の特性に注目した受検活動の方向を見つけたし、時期や方法などを今後の課題として共通認識し、当チームとの関わりを進めて行く予定です。

皆さまも是非、当チームとタッグを組んで「地域の肝臓対策」を充実させませんか？ご希望のある場所には、どこでも職員が出向きます。

第1回家族支援講座を終えて

臨床栄養部長 長谷川祐子

2月16日に第1回 家族支援講座を開催しました。患者さんにはさまざまな問題を抱えており、一人で解決出来ないことも数多くあるため家族の支援が必要で、第1回家族支援講座では食事を中心に家族だから知っておきたいこと、肝臓病患者と食べる食事の留意点についてお話ししました。

肝臓病食のポイント

- ①主食、主菜、副菜を揃えてバランスよく食べる。
- ②糖質を適量に抑える。
- ③魚、肉、卵、大豆製品、乳製品などの良質なたんぱく質を摂る。
- ④野菜类は1日350g以上を目安に毎食とり野菜を摂る。
- ⑤調味料や加工食品を控え、たんぱく質・糖質・脂質を制限する。

などがあげられます。治療食を作ることは家族にとっても負担になります。継続するために患者さんと一緒にのれん分けして調理し、患者さん1人分取り分けした後、家族用に味を再調整するなど、家族の食事と一緒に作るポイントについて紹介しました。また患者さんを支える立場でご家族には

- ①塩分や油の多い食品などの加工食品を出来るだけ控えるようにする。
- ②菓子類を控えるようにする。
- ③好まない食材を患者さんの目の前には食べないようにすること等。

お話ししました。

食事療法は継続が大切なので長く続けるためには無理はせず出来ることから取り組むようにお話ししました。今後とも患者さんやご家族の負担が少しでも軽減出来るように食事の支援をしていきたいと思います。

肝臓と糖質

消化器内科 下村孝之

肝臓は糖質の代謝に重要な臓器です。食後は食物中から吸収されたブドウ糖を取り込みグリコーゲンとして蓄え、空腹時にはグリコーゲンを分解して低血糖を防いでいます。

肝臓などで糖質が蓄積している時は、食後にブドウ糖が取り込みきれず高血糖になり、空腹時にはグリコーゲンが少ないため低血糖になります。肝臓病になると糖尿病になりやすくなるわけですが、これは食後高血糖によるもので「肝臓糖尿病」と言われています。また、糖質中心の食事や早食いなどで、急激にブドウ糖が吸収されると、肝臓はグリコーゲンだけでなく中性脂肪に変わって蓄えようとします。肝臓に中性脂肪がたまりすぎると脂肪肝となり、空腹時や食後に血糖値が下がりにくくなります。

肝臓を守ることは血糖の安定につながり、高血糖を防ぐことは肝臓を守ることに繋がります。糖質の摂りすぎにも注意しながら肝臓に優しい生活を心がけましょう。

運動と糖質

総合リハビリテーション部 若井 賢司

糖質は身体で最も重要なエネルギー源です。糖質不足では筋肉や脳の疲労、集中力の低下をきたした体が正常に機能しなくなり、糖質の過剰摂取は脂肪の蓄積、蛋白質が分解され筋肉量が低下するなど悪影響を及ぼします。重要なことは糖質の摂取と消費のバランスです。糖質はグリコーゲンとして貯えられて体に蓄え必要な時に使えます。しかし、多くなりすぎると中性脂肪として蓄えられ脂肪肝につながります。

脂肪肝に対する治療は運動と食事による予防と改善が必要です。一般的に糖を消費するための運動としては、運動強度が高いほど利用率が高くレジスタンス運動が効果的です。脂肪燃焼には運動強度が低く、継続時間が長いほど利用率が高く有酸素運動が効果的です。運動の頻度としては、最低週2-3回程度以上、負荷は中等度(最大心拍数の50-75%)強度の有酸素運動で自覚的にはややきついと感じる程度の運動を1日に20-60分程度の運動が推奨されます。運動を実施する時間帯は、食後1時間から2時間以内に運動することで、血糖上昇を抑えることができ最も効果的です。

肝臓病サポートチームが行う肝臓病教室/出張肝臓病教室

新医療研究開発センター 藤本志穂子

日域から発行されている【消化器最新看護】に当院の肝臓病教室/出張肝臓病教室について紹介する機会を得ました。当院の大きな特徴として、肝臓病診療連携拠点病院の活動として行っていること、チームの目標やスケジュールを設定し、多種多様な強みを活かして肝臓に特化したことのみに着目するのではなく、肝臓病から派生する他疾患や生活上の工夫点などを情報提供していることです。

肝臓病教室/出張肝臓病教室だけでなく、イベントや新たな地域連携のあり方も模索中です。日夜進化を遂げる肝臓病サポートチームの紹介する機会を今後も増やしていきたいと思います。

藤本志穂子 医師、長谷川祐子 部長(監修)「工」していることについてより1肝臓病診療連携拠点病院の活動(第1回)肝臓病サポートチームが行う肝臓病教室/出張肝臓病教室 消化器最新看護 2016. 08. 09

C型肝炎ウイルスの新しい治療薬のお話

～ヴィキラクス配合錠～

薬剤師 藤田敏志

ヴィキラクス配合錠はC型肝炎の中でもジェノタイプ1という日本人に多いタイプのC型肝炎の治療薬です。治療期間は12週間、1日1回食後治療として、効果があるタイプのウイルスが確認して治療を行うことで、治療終了12週間経過後のウイルス陽性率が99%と非常に高い効果を認めたことが報告されています。

副作用としては、むくみ(浮腫)や肝機能障害に注意が必要です。特に浮腫は高血圧治療などで用いられるカルシウム拮抗剤と併用することで起こりやすくなること分かってきました。その他の内臓薬や吸入薬、健康食品でも飲み合わせの悪いものがあるため治療開始前、開始後も新しいお薬が始まる前には医師・薬剤師に確認してもらいましょう。

高い治療効果を得るためには飲み忘れないことが大切です。飲み忘れると薬が効かなくウイルスが出てくるおそれがあります。それは治療の失敗や今後の治療を困難にする原因となる可能性がありますのでご注意ください。しっかりと服用し、C型肝炎ウイルスの排除を目指しましょう。

「出張肝臓病教室@アツヴィ」

消化器内科 森元貴貴

1月21日にアツヴィ合同会社さんで、出張肝臓病教室を開催しました。アツヴィさんは、C型肝炎治療薬「ヴィキラクス」を販売されており、ウイルス性肝炎についてはよく御存知です。そこで今回は肝臓病をメインテーマとし、「脂肪肝のこわさ-治療の必要性」「脂肪肝にならない食事」「脂肪肝を防ぐ運動」の3本立てで、講演を行いました。

肝臓が油にまみれた状態である脂肪肝は、B型肝炎・C型肝炎と同じように肝硬変・肝癌になる可能性も高くなります。また脂肪肝は生活習慣病と密接に関わり、心臓病や脳卒中を合併する危険性も高くなります。これらの理由で、脂肪肝の人はそうではない人よりも寿命が短いことがわかっています。脂肪肝を指摘されたときは放っておかず、生活習慣病も含めて治療を受けることが大切です。

出張肝臓病教室は、ウイルス性肝炎についての啓発活動の一環ですが、受講される方々のニーズに合わせて講演内容をアレンジすることが可能です。講演依頼をされる際に、お気軽にお問い合わせ下さい。

Ledipasvir/Sofosbuvir Regimens for Chronic Hepatitis C Infection: Insights From a Work Productivity Economic Model From the United States. Yoonossi ZMら

HEPATOLOGY 2015; 61:1471-1478.

肝臓病サポートチームのmeeting-読書会では月に1回行われています。活動報告や相談のほかに、様々な種類の書籍から関心のあるテーマを選んで、読書の読み合わせをしています。

C型肝炎患者のハービー2配合剤によるインターフェロンフリー治療をした場合の労働生産性低下を試算した。ハービー2治療(90%)では93.21%の患者が治療成功した。治療参加患者の質的期間延び、欠勤率は治療前2.57%で治療中2.62%、勤務時生産性低下率が治療前7.58%から3.53%に改善した。この結果を米国国民全体に当てて、HCV1型慢性肝炎患者全員がハービー2治療を受けたとして労働生産性低下による雇用費用を試算すると年間7億7100万ドルから27億ドル減らすことができる。就労者こそ治療を受けるべきである。(総合-消化器内科 池田博樹)

岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会について 肝臓相談センター 山崎 典子

岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会は今年3回、岡山県肝臓病診療連携拠点病院を中心に、肝臓二次専門医機関等の代表者で構成する約20名の協議会委員が、県内の肝臓病診療連携拠点病院等での情報交換、情報提供を行うことを目的に行われています。

本年度開催の開催(2月10日)では、第17回岡山県肝臓病診療連携協議会について、肝臓相談センターの実況、肝臓病診療連携拠点病院の実況について、地域肝臓病サポートチームに関する協議がなされました。肝臓の治療が医療機関の財政を圧迫しているが、病院側では治療のピークは過ぎているなどの意見が出ました。今こそ、層別している肝臓病患者の層別ごとの方たちを治療に繋げていくことが急務となることを感じました。また今回から患者代表者が委員として参加し、治療を受ける側として活動について発言がありその声が届くことが出来ました。

様々な職種が研修会に参加して学んでいます

【地域肝臓病サポートチーム-研修会 感想】 医療技術部 検査室 生化学検査室 大久保 達之介
この研修会では最新の肝臓治療や肝臓治療の動向について確認すること、またサポートチーム間の交流の場として開催されています。最新の肝臓治療として、昔年、インターフェロンによる治療、副作用はインターフェロンよりも少ないC型肝炎治療薬が発表され、治療を受けられる肝臓病患者が増えてきたというお話が印象的でした。地域肝臓病サポートチームとして、それぞれの地域において肝臓病の認知度、理解度をあげ、肝臓ウイルス検査を受けたことがない方々に検査を受けていただくことにつながるようなことを考えて行動することが求められています。さて、今後も新年度が始まります。新年度の目標は、肝臓病患者に対する正しい理解の周知や、周辺病院など地域との関わりにおいて肝臓病サポートチームの輪を広げることに貢献していきたいと思っています。

【肝臓病センター主催 看護婦向け研修会 感想】 看護部 西6階 山下美穂
私は昨年12月に平塚市の肝臓病センターで実施された看護婦向け研修会に参加してきました。研修会では肝臓病診療における看護師の役割、難治性慢性肝炎への治療、肝臓病患者が受ける差別・偏見と医療者とのギャップについてなど多くのテーマについて活発に議論が交わされました。難治性慢性肝炎患者というテーマでは、食事や薬事といった、今までの生活スタイルを変えなくては難しく、患者の目標にそって、また患者の生活を尊重して、今後の生活を一緒に考えていくことが重要だと実感しました。

私は今後、拠点病院の看護婦として院内での連携をはかっていきたいと思っています。現在、肝臓の治療は外で主に行われており、入院されるのは自己免疫性肝炎の方のみです。肝臓病、肝臓病を病院全体、そして地域全体でサポートし、チーム医療を提供できるように活動し、今後肝臓病サポートチームで行ってみたいと思います。

【肝臓病センター主催 肝臓病相談センター相談員向け研修会 感想】 医事課 大山俊穂美
平成28年4月4-5日に、平成27年度肝臓病相談センター相談員向け研修会が肝臓病センターで実施されました。私は中・西部門でグループワークをし、各部署の方から、直面している問題(悩み)等を出し合い、解決策を話し合いました。そもそも活動自体が忙しなく、活動したいが思うように行かない、院内でセンターが認知されていないなど、拠点病院としての課題、他々活動したいがマンパワー、予算が足りない、のような行政との関係など様々な問題が挙がりました。

そう言った中で岡山大学病院は絆が強い、絆を強固にするには肝臓病サポートチームの皆様の協力のおかげで、様々なイベント等を行ってきた経緯があり、少しでも他院の方々の今後の活動の場になれば良いなと思って、岡山大学病院の活動報告として発表すると同時に、岡大として研修会に参加し、今年度よりも次年度に向けて更に活動の場を広げたいと改めて思っています。

活動報告

- 岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会(肝臓)
 - 1.16 岡山県肝臓病診療連携拠点病院等連絡協議会(肝臓)
 - 12.24 平成27年度肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 肝臓病センター主催 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 1.15 平成27年度肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 肝臓病センター主催 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 2.10 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 3.4 平成27年度肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 2.18 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
- 出張肝臓病教室
 - 12.9 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 12.17 MBO (肝臓)
 - 1.20 FGH (肝臓)
 - 1.21 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 1.22 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 2.1 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
 - 2.18 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)
- 肝臓病相談センター相談員向け研修会
 - 3.6 13:00-15:00 セリアリブ(肝臓)
 - 肝臓病相談センター相談員向け研修会
 - 3.7 13:00-14:30 肝臓病相談センター相談員向け研修会(肝臓)

活動予定

- 出張肝臓病教室
 - 4/5 15:00-16:00 アークホテル岡山
 - 4/27 15:00-16:00 アークホテル岡山
- 第9回 肝臓病教室
●第2回 家族支援講座
日時: 2016年5月17日
時間: 14時-15時半
場所: 西階 カンファレンスルーム

編集後記

少しづつづつと肝臓病の認知度を上げていくことが出来た。肝臓病は怖い病気です。肝臓は静かに病気を進め、気づかぬうちに肝臓が壊れていく。肝臓病は怖い病気です。肝臓は静かに病気を進め、気づかぬうちに肝臓が壊れていく。肝臓病は怖い病気です。肝臓は静かに病気を進め、気づかぬうちに肝臓が壊れていく。

(下村孝之、若井賢司)

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.9

MOMO肝通信

発行所：岡山大学病院 岡山県肝臓病センター
発行日：2024.11



「香川県立中央病院と岡山大学病院の連携活動」

香川県立中央病院 地域医療連携課 森田康之

香川県立中央病院肝臓病支援センターにて肝臓相談員をしております森田と申します。香川県には小豆島や直島といった離島が多くあり、島から岡山大学病院まで送られる方が多いいらっしゃいます。そのような背景もあり、今年度は岡山大学病院様と共同開催という形で、直島にて肝臓啓発活動を行うこととなりました。

去る3月7日(月)に「地域肝臓治療コーディネーター養成研修会」が開催されました。まず当院では高口医師が、岡山大学病院様では池田医師・齋藤看護師が、肝臓の治療全般の話や啓発活動及びコーディネーターの重要性、岡山大学病院で既に実施されている活動に関するご講演をされました。そして研修会終了後には、参加者全員で今後の事業についての意見交換会があり、活発な議論が行われました。その結果9月11日(日)に行われる「直島健康福祉まつり」にて、出前講座や無料肝臓ウイルス検査を実施することが決まりました。

このように2つの島が協力して事業を行うということは全国的に見ても大変珍しいようで、そのような活動に携わらせていただくことに誇りや責任を感じております。相談員としての経験もまだまだありませんが、今後ともよろしくお願いいたします。

～新たな肝疾患サポーターチームのメンバー紹介～

「ピロリ菌除菌の啓発について」

岡山市立市民病院 消化器内科 喜多雅英

ピロリ菌は、胃の粘膜に感染して胃炎を引き起こす細菌です。日本人では約3500万人が感染しています。ピロリ菌は幼少期に感染し胃十二指腸潰瘍や胃癌などの病気の原因となることがわかっています。ピロリ菌は感染すると炎症を起こし慢性胃炎(ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎)となりますが、自覚症状はほとんどありません。感染している人が全員、重篤な病気を発症するわけではありませんが、ピロリ菌の除菌治療に成功すると、胃の炎症が改善して、ピロリ菌感染に伴うさまざまな病気の治療や予防ができます。

1994年にWHO(世界保健機構)から「確実な発がん因子」認定され、2013年にはヘリコバクター・ピロリ感染胃炎が除菌治療の適応拡大となりましたので、ピロリ菌感染者のほとんどの方が通常の保険診療で治療を受けることが可能になりました。

今回、肝疾患サポーターチームのメンバーに入れていただき、肝臓ウイルス検査の受検促進の活動とあわせて、ピロリ菌の検査、上部消化管内視鏡検査の受診のお話をさせて頂き胃がんの予防、早期発見早期治療に進めていきたいと思います。

「ウイルス肝炎の治療」が変わってきています!

消化器内科 池田潤雄



慢性肝炎は肝硬変や肝臓癌などを来し死に至る病気です。肝炎のうちに発見し治療することが重要です。慢性C型肝炎は2014年ダクルインザエンスペブラが発売され、飲み薬だけでウイルスを消すことができるようになりました。副作用も少ないので外来通院で治療が可能です。その後も ソバルディ、ハーボニー配合剤やヴィキラス配合剤といったC型肝炎の飲み薬が発売され、3か月の治療で治療成功率がいずれも割合以上です。70歳を超えた方やインターフェロン治療不成功例でもウイルスを消すことができます。医療費助成制度もあるので、治療を受ける方が急増しています。また、慢性B型肝炎は2000年にゼフィックスが発売されて以降、飲み薬で肝炎の進行を抑えることが出来るようになりました。現在はバラクールドやテノゾットという薬が主に使われています。これらの薬はほとんどの患者さんで有効ですが、ウイルスを完全に消すことは出来ません。

「ウイルス性肝炎治療で注意すべき飲み合わせ」

薬剤科 根田康志



現在はB型、C型肝炎ウイルスの多くが飲み薬で治療されています。治療を行う上の注意点の一つに、薬の飲み合わせがあります。たとえば、ハーボニー配合剤では、胃の中が中性に近づくと薬の吸収が低下し、効果が弱まる可能性があります。病院で処方されるお薬だけでなく、市販薬でも胃腸薬など商品によっては胃の中を中性に近づけるものがあるので注意が必要です。ヴィキラス配合剤は、セント・ジョーンズワート(別名:セヨウトキソウ)という健康食品により、薬が早く分解され、効果が弱まる可能性が指摘されています。セント・ジョーンズワートは気持ちを落ち着かせリラックスさせる働きがあるといわれ、健康食品やハーブティーとして販売されています。このように、市販薬や健康食品でも飲み合わせによって薬の効果や副作用に影響が出る可能性があります。使用している薬はもちろん、市販薬や健康食品についてもスタッフにご相談ください。

「ウイルス性肝炎患者さんにお勧めする食事」

臨床栄養部 長谷川祐子



食事は急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変(代償期・非代償期)と病期ごとに異なります。

- ①急性肝炎は食欲不振、悪心、嘔吐のため食事の摂取量が増えないため、食事が増えるように服薬や調理の工夫が必要です。
- ②慢性肝炎及び肝硬変(代償期)の場合は肝細胞修復のためエネルギー、たんぱく質、ビタミンを過不足なく補給します。
- ③非代償期肝硬変になると肝性脳症を伴う場合があります。たんぱく質を控え(0.6g/kg)分岐鎖アミノ酸で補います。

また便秘予防も大切で野菜を多く利用しましょう。腫水を伴う場合は減塩食にし、食道静脈瘤がある場合は軟らかい食事にし、良く噛むことも大事です。初期の段階からバランスのとれた食事に心がけ肥満を防ぎ肝臓の状態にあった食事をしましょう。管理栄養士がお手伝いいたします。

B型肝炎ワクチンの予防接種

～ビームゲン®、ヘプタバックスII®～

薬剤科 佐藤晶子

今回は、B型肝炎ワクチンに関するお話です。今まで任意接種だったB型肝炎ワクチンが、今年度より定期接種の対象となります。平成28年4月1日以降に生まれた新生児が定期接種の対象となります。B型肝炎はワクチンにより、高い確率で感染を予防することが可能です。今までも、B型肝炎ウイルスに感染した母親から生まれる新生児に対してはワクチン接種など予防対策が行われ、母子感染は減少しています。一方で、日常生活や生活行為などによる感染が報告されています。今回の定期接種開始により、今後はそういった感染の予防効果が期待されます。

薬としてはビームゲン®注やヘプタバックスII®の注射を行います。一般的に新生児の場合、生後2ヶ月、3ヶ月、7-9ヶ月の3回の接種を行い、3回目接種の1.2ヶ月後を目途に効果確認を行います。定期接種は平成28年4月1日以降に生まれた新生児が対象ですが、それ以前の方も任意で接種することは可能です。特に、乳幼児や小児、青少年には接種をご検討下さい。

第2回 家族支援講座を開催しました!

ご家族の方に肝臓病を知って頂くことは重要です。例えばウイルス性肝炎では、気づかないうちに家庭内感染してしまう危険があります。アルコール性肝疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患は患者さんと同様の生活をしていると、ご家族の方も発症するおそれがあります。また肝臓病は食事や薬など、日常生活での注意点多いのでご家族の方の協力も欠かせません。そういったことから、今回多くのご家族の方にご参加頂くことを嬉しく思います。今回の家族支援講座から皆様にもご意見をうかがいながら進行してまいりましたが、積極的な発言も多くとても盛り上がりました。今後も患者さん自身やご家族の方とともに有意義な役立てたいと考えております。(消化器内科 安中哲也)

「家族みんなに役立つ感染予防対策の知識」

感染管理認定看護師 粟村利子

血液を介して感染するウイルス感染と言えば、B型肝炎、C型肝炎、HIVが主なものですが、ウイルス以外にも、家庭や学校、職場での日常生活で容易に感染することはあります。気づかずに気づかないで血液に注意することです。「うつらない、うつさない」といって2次感染予防が必要になります。他者の血液には直接触らない。自分の血液が付着したものを捨てる時は他者に触れないようにして捨てましょう。電車のつり革にバイ菌がいるんじゃないか、って気にするより、口拭きや手洗い、手すりにつまんで行く時(食事等)の前とトイレの後は衛生的手洗いをしっかり行いましょう。

中高強度の身体活動量は非アルコール性脂肪性肝疾患のマネジメントにおける重要な因子である—後ろ向き解析研究—

Oh SS, Shida T, Yamaguchi K, et al. Moderate to vigorous physical activity volume is an important factor for managing nonalcoholic fatty liver disease: a retrospective study. *Hepatology*. 2015; 61(3):826-33

中年肥満男性を対象に減量介入試験の成績に關して後向き解析を行いました。運動が非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFD)の肝疾患に与える影響を、その強度と量の観点より詳細に検討し、中高強度の身体活動(MVPA:運動によるエネルギー消費量が安静時の3倍以上)の量について週150分未満、週150分以上250分未満、週250分以上と分類した上で、NAFLD量と減量介入の前後におけるNAFLD病態について比較検討した。解析結果より、250分以上のMVPAの実践は、週150分未満、週150分以上250分未満の実践に比べると、体重減少とはほぼ等しいが、善玉コレステロールと抗炎症性アディポカインの増加、肝臓の貯蔵糖と過酸化脂質の減少を導いた。つまり、MVPAが体重減少を介さず、NAFLDの肝疾患指標および関連病態因子の改善を誘導する独立した因子であった。(論文紹介 総合リハビリテーション 岩井賢司)

肝炎受診勧奨の再送について

肝臓病センター 山崎典子

岡山大学病院では、25年7月から院内初診時や病前に行った肝臓ウイルス検査が陽性の患者さんの自宅に、検査結果と受診のお勧めの手紙を郵送しています。また、26年4月からは、他院でも検査を受けた方のように、紹介状や書面もあわせて郵送しています。勧奨の手紙を受け取った患者様が、肝臓の検査を受けたことで、C型肝炎の治療を開始された方もおられます。しかし、手紙を受け取られても症状がないため放置されている方も少なからずおられます。そういった方を受診、検査、治療につなげるために検査から1年から半年後に再診の呼びかけが来ていない方に、再度勧奨の手紙を郵送することを始めました。これにより一人でも多くの肝臓ウイルス検査陽性の患者様の検査、治療につなげたいと考えています。

【第18回 日本医療マネジメント学会】に参加して

肝臓病センター 宮原節子

4月に福岡県福岡市で開催された日本医療マネジメント学会で、「C型肝炎患者の抗ウイルス治療導入におけるソーシャルワーカーの役割」と題し生活状況や経済的負担の程度について調査用紙を用いて調査した結果をまとめ発表しました。治療開始に関わるメリットとして、医療保険の自己負担に関する情報提供や、肝臓医療費助成の検討をすることで、約70%の方が経済的負担感も小さいと回答していることでした。ソーシャルワーカーの積極的な関わりが、安心して治療を遂行する支援に繋がったと感謝します。会場からは治療にまつわる身体的症状やメンタル的な支援についての質問を頂き、改めて多職種連携の重要性を認識し、患者さん中心の支援を模索していきたいと感じました。また、この学会が開催される数日前には熊本地震が発生し、会場には熊本県を応援するメッセージボードや募金箱が設置され、たくさんの善意が寄せられました。

【第52回 日本肝臓学会】に参加して

新医療研究開発センター 龍波志穂子

5月19、20日開催にて第52回 日本肝臓学会総会が行われました。当院と岡山県が主催となり、昨年8月にイオンモール岡山で開催した【無料肝炎検査キャンペーン】の活動報告を行いました。キャンペーンでは、肝炎ウイルス検査の受検者347人のうち7人の陽性者が発見され、そのうちの6名は肝臓病専門医を受検したことや、健康診断を受ける機会が少ないと思われる専業主婦(主夫の参加が多かったこと)などのキャンペーンの有用性を報告しました。これからイベント開催を予定している他大学の先生方から、集客方法の工夫、陽性者への対応、準備のあれこれの質問もあり、大変勉強になりました。肝疾患サポーターチームのみんなの頑張りを伝えることができて嬉しかったです。

活動報告

● 4/22 日本医療マネジメント学会(福岡、熊本)
● 5/19-20 日本肝臓学会(福岡、熊本)
● 院内肝臓病教室
● 5/17 第10回肝臓病教室
(講師: 池田、齋藤、長谷川)
● 第2回家族支援講座
(講師: 宮原節子)
● 出前講座開催
● 4/15 アーケナル山陽山陽(講師: 安中、大山、喜多)
● 4/27 アーケナル山陽山陽(講師: 中村、喜多、喜多)
● 5/16 日本生食(講師: 竹内、大久保、喜多)
● 5/25 米島高層ビル(講師: 池田、齋藤)

活動予定

● 6/15 18:00-17:00 肝臓病教室
● 6/27 11:00-12:00 日本生食参加

第10回院内肝臓病教室・第3回家族支援講座

岡山大学病院で「出前肝臓病教室」をして11回目、ご希望があればどこでも出張させていただきます。お気軽にご連絡下さい。

086-235-6451

編集後記

● 11月、中国地方も梅雨入りの発覚がありました。患者の雨という言葉があるように、雨は植物の生長に重要な役割を果たします。私たちも日々の出来事を雨の恵みと捉えて、前向きにすごしていきたいですね。 根田康志

岡山大学病院 肝臓病情報紙 Vol.10

MOMO肝通信

発行元: 岡山大学病院 岡山肝臓病センター
発行日: 2016.9.30

ファジアー/岡山 無料肝炎検査キャンペーン2016

消化器内科 大山 淳史

2016年9月25日シティライオスタジアムにて、ファジアー/岡山主催試合に合わせて『無料肝炎検査キャンペーン2016』を開催しました。主に健康への不安のない若い方を対象に、肝炎啓発と無料検査を行いました。肝炎に関心をもち、きちんと検査を受けていただき、必要であれば早期治療介入の重要性を訴えました。

今回はファジアー/岡山対フーレン長崎の岡山ホームゲームとすることで、岡山市の方はもちろんのこと、岡山県内外より参加いただきました。最終的に380名にアンケートにご回答頂き、270名に採血を受けていただきました。初めての会場であり、至らぬ部分もあったかもしれませんが、一方で時折激しい雨の降る中、観戦に来た方にスタッフが粘り強く呼びかけたことで、たくさんの方に参加いただけたと思います。今回の開催で出た反省点をさらに活かし、肝炎の早期発見・早期治療に結びつけられるよう尽力していきたいと思っています。

また、前年のイオンモールのキャンペーン同様、岡山大学だけでなく肝炎一次専門医療機関の皆様にもボランティアとして参加いただきました。この場をかりて御礼申し上げます。今後医師やメディカルスタッフの垣根を超えてさらに参加の輪を大きく広げられていければと考えています。これからも更なるご支援をよろしくお願いいたします。

【直島 健康福祉まつり】に参加して

肝炎相談センター 山崎典子

2016年9月11日香川県直島町総合福祉センターにて健康福祉まつりが開かれ、香川県の肝炎患診連携拠点病院である香川県立中央病院スタッフによる、無料肝炎ウイルス検査が行われました。香川県立中央病院 肝臓内科 高口医師をはじめ、森田、浦尾相談員、沖野主任主事、木村看護師長、田中主任、佐々木、大西技師の8名の体制で、岡大からは安中医師、小山主査、大久保検査技師、大森歯科衛生士、難波、山崎看護師の6名でお手伝いさせていただきました。2つの県が協力してイベントを行うというのは全国的に見ても大変珍しいそうです。会場は瀬戸大橋を一望できる高台の上にあります。香川県立中央病院の方たちとの自己紹介のあと、共同ブースをセッティングしました。まつりに参加されていた直島住民の方々とはより他のブース主催者の方たちにも次々に声をかけ、受検者は90人となりました。お天気にも恵まれ、会場検査の後に、安中先生に瀬戸国際芸術祭の観光案内もしていただき楽しく有意義な一日になりました。

第10回肝臓病教室

8月16日、院内にて第10回肝臓病教室・第3回家族支援講座が開催されました。今回の内容を掲載します。次回開催は11月15日(火)の予定です。

「脂肪肝に気をつけよう」

消化器内科 下村 泰之

脂肪肝とは肝臓の30%以上に脂肪(中性脂肪)が蓄積している状態で、近年増加傾向にあり、超音波検査やCT検査などで診断されます。原因は大きくアルコール性と非アルコール性(肥満・メタボ)に分けられます。最近、脂肪肝から肝炎、肝硬変、肝臓と進行することが分かってきており、内臓脂肪の蓄積・肥満が原因となるものは非アルコール性脂肪肝炎(NASH)と呼ばれます。脂肪肝のある人で、親族に脂肪肝や糖尿病の人がいる人や若いころから10kg以上体重が増えた人、糖尿病を合併している人はNASHになりやすいので注意しましょう。脂肪肝の予防・治療としては原因となるアルコールや肥満・内臓脂肪の蓄積を避けることが大切になります。そのためには節酒(アルコール20g/日以下・週5日以下)や適切な食事・運動とその継続が大切となります。日々の生活の見直しをして脂肪肝にならないようにしましょう。

「肝疾患にみられる糖尿病の病態と治療について」

総合内科 小比賀 美香子

肝臓は、糖の放出と取り込みを行うことにより血糖コントロールの中心的役割を果たしており、肝障害を生じると、糖が血液の中で増えすぎたり、糖尿病になります。糖尿病は、神経や眼、腎臓など全身に合併症を起し、肝臓を含めた発症のリスクも上昇させます。慢性肝疾患者の約5分の1、肝硬変患者の約半数の方が血糖が糖尿病域とわけていわれていますが、肝硬変の方の場合、食後血糖が高くなりやすく、空腹時血糖は正常値のことも多いので注意が必要です。また肝硬変では、肝臓での糖新生が減少し、食事の間隔が長かったり、糖尿病治療薬を使用したりする場合は、低血糖になりやすいという特徴があります。肝疾患合併糖尿病では、食事療法で血糖コントロールが得られなければ、インスリン注射による治療が原則です。但し、非アルコール性脂肪性肝疾患(NASH)の場合、食事療法や運動療法に加え、インスリン抵抗性改善薬が有効とされています。

「肝臓病患者における口腔ケアの実践」

歯科衛生士室 大森 裕子

肝臓病などの全身疾患は、歯周病を予防・改善することによって進行を抑制させたり予防することができると分かっており、口腔ケアによってメタボリックシンドロームから脂肪肝への進行を抑制されるといわれています。

お口の汚れは歯だけでなく頬の内側や歯茎、舌にも付きますので、粘膜炎も必要です。

- 用意する物: 歯ブラシ、義歯専用ブラシ、歯間ブラシ、糸ようじ、スポンジブラシ、保湿剤など。
- 歯磨きのポイント: 歯と歯の間や歯と歯茎の境に歯垢がつきやすいです。
- 磨きにくい部位は歯ブラシの端で方角よく磨きまよう。
- 粘膜炎のケア: 入れ歯であっても、粘膜炎に細菌が付着するため粘膜炎ケアが必要です。
- 入れ歯のお手入れ: 入れ歯にも汚れが付着するので義歯洗浄剤や専用ブラシを使用して清潔にしましょう。

肝臓病予防のためにも定期的に歯科受診をしましょう

第3回 家族支援講座

8月16日の第3回家族支援講座は17名の参加で開催しました。ご家族の方から積極的な質問や意見があり、有意義な会となりました。

家族でできる脂肪肝予防につながる運動

総合リハビリテーション部 岩井 賢司

脂肪肝予防に有効な運動は、有酸素運動と筋力強化運動が挙げられます。様々な種類の運動がありますが、ポイントはしんど過ぎない、興味がある運動、一人でなく複数人で会話したり楽しめるという点が継続するために重要になります。気軽に楽しく始められる運動からやってみることが脂肪肝予防の第1歩になります。目に見える効果は意欲を保つ意味でも重要ですが、目に見えない効果もあります。将来の病気の予防や後たきり予防など適度な運動は必ずプラスになります。

脂肪肝の食事について

臨床栄養部 長谷川祐子

脂肪肝の食事療法は
① 腹八分にする。② 甘いものやアルコールを控える。③ バランスの良い食事にする。④ 脂肪を控える。⑤ 野菜、海藻、きのこ類などの食物繊維を多く含む食品を一緒に食べる。⑥ 3食規則正しく。⑦ 仰ぐよりよく噛んで食べる。等ありますが、食事療法は患者さん1人で行うのではなく家族の協力があってこそ功を奏します。調理方法の工夫以外に、菓子類の買い置きを止めたり、好ましくない食材を患者さんの目の前で食べないようにすることも大切です。

岡山県肝炎患診連携拠点病院等連絡協議会

肝炎相談センター 笠原 郁子

平成28年7月13日(水)岡山市内で開催され、岡山県肝炎相談センターからは、昨年度の活動報告をしました。相談対応では、一年間を通して寄せられた相談内容・件数について、また、普及啓発活動では院内・外の肝臓病教室や、イオンモール岡山で行ったイベントなどについての報告をしました。あわせて、今年度計画しているファジアー岡山との県民デーのイベントなどについても事前情報としてお知らせしました。また、今回の【第18回肝炎医療従事者研修会】の具体的な日時や講演内容が報告されました。

FXR作用薬の非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)に対する効果

多施設共同比較試験 文献紹介: 消化器内科 安中 哲也

Farnesoid X nuclear receptor ligand obeticholic acid for non-cirrhotic, non-alcoholic steatohepatitis (FLINT): a multicentre, randomised, placebo-controlled trial. Neuschwander-Tetri BA, et al. The Lancet. 7 November 2014

核内レセプター-FXRの作用薬obeticicholic acid(OCA)の有効性を無作為化試験で検討(FLINT試験)。対象はNASH219人(OCA群110人、偽薬群109人)。72週後、肝の組織学的改善率はOCA群45%、偽薬群21%(p=0.0002)。AST、ALTも有意にOCA群が改善した。ただしNASHの治癒した症例数に有意差は無かった(p=0.08)。有害事象について、OCA群では痒痒感が有意に多かった(23% vs. 偽薬6%、p<0.0001)ものの、他の有害事象は同程度で全般に軽度〜中等度であった。生活習慣改善以外の治療法が十分確立していないNASHですが、今後は有効な薬が出てきそうです。

世界肝炎デー

肝炎相談センター 犬山奈穂美

世界肝炎デーは、ウイルス性肝炎の蔓延防止と患者(感染者)に対する差別・偏見の解消や感染防止の推進を図ることを目的としてWHO(世界保健機構)が7/28と定めています。岡山県肝炎患診連携拠点病院である当院もこれに呼応し、外來棟1階で7/19~29にパネル展を、7/25~27は無料肝炎ウイルス検査を実施、3日間で37名が受検しました。パネル展は医師、看護師、管理栄養士、薬剤師など、16部署から肝炎に関する情報が満載のポスターを展示、多くの方が足跡を留めておられました。肝炎検査は、様々な制約があり受検者が限られましたが、今まで未受検だった方もおり、この受検が良い機会になったようなので、今後もこのような啓発活動をしていけたらと思います。

【第11回 日本歯科衛生学会学術大会】に参加して

歯科衛生士 鎌正 桂子

日本歯科衛生学会 第11回学術大会にて口演発表しましたので報告します。

発表タイトルは、「肝疾患サポートチームにおける歯科衛生士の活動報告とその意義の検討」としました。歯科衛生士の中で肝疾患は注目されていない分野なので今回の発表に際しては聴講者の反応は乏しかった。ただし日本歯周病学会 常任理事 栗原秀見先生の特別講演の概要に今後注目すべき課題として「非アルコール性脂肪性肝炎」という言葉がしつり出ていました。歯科と肝疾患の関係は調査、研究がまだまだ必要とされており、いずれは歯科衛生士の中でも注目されることが予想されます。現在の活動が未来につながるということが実感でき前向きになれる学会でした。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

【第10回 日本慢性看護学会】に参加して

外来看護師 森光 友佳

7月東京一橋講堂にて第10回 日本慢性看護学会が行われました。

「C型肝炎でアサナプレビル/ダクラタビルの治療を受ける患者に対するチーム支援の効果」と題し、当院でC型肝炎で経口剤治療を受けた患者者に対してチームで支援した場合のような効果をもたらすのか、検証し報告しました。

チーム支援により患者は、治療満足度が有意に高くなっていました。また、治療意欲の維持や精神面、心理面、さらには生活全般においてもチーム支援は役に立てられていることが示されました。現在、C型肝炎治療はハモニーやヴィキテラックスといった新薬が登場し、より治療期間が短く高い治療成績が出るようになってきています。今後はどのような患者にどのような支援が必要であるか見極め、よりよい看護を提供していきたいと考えています。

岡山大学病院で「出張 肝臓病教室」をしています。ご希望があればどこでも出張できます。

お気軽にご連絡ください。(086-235-6851)

活動報告	活動予定
●無料肝炎検査 会場検査 9/11(日) 直島健康福祉まつり 9/25(日) ファジアー/岡山 岡山県民デー	●無料肝炎検査 会場検査 10/2(日) 秋の健康フェア&セミナー in小豆島 10/6(木) 岡山大学津島キャンパス
●出張肝臓病教室 6/15 日本栄養食動薬師会岡山支部 6/27 日生漁業組合 7/7 ティーヌスフルフレツサ 7/12 日生漁業組合(婦人部) 7/15 あずなる薬局 7/15 917牙科例会 7/28 真実堂薬局 8/9 児島薬師会 9/4 倉敷薬師会 9/6 岡山サウナ販売(株)中央センター 9/12 三菱マテリア株式会社	●研修会 10/16(日) 医療従事者研修会 岡山県地域肝炎対策サポーター研修会

編集後記

この度、MOMO肝通信がめたく10回目の発行となりました。これも偏に皆様からの支えがあってこそ、と感謝しております。今度も皆様と役立つ情報をお届けしてまいります。朝晩寒くなってまいりましたので季節柄ご自愛ください。

編集: 森光友佳

○岡山県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会

第1回

日時：平成26年5月14日(水) 19:00~20:30

場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2丁目）

参加者：山本和秀、池田房雄、三宅加代子、木村勝弘、小山道弘、笠原沙希、笠原郁子

第2回

日時：平成26年11月19日(水) 19:00~20:30

場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2丁目）

参加者：山本和秀、池田房雄、山崎典子、難波志穂子、木村勝弘、小山道弘、犬山奈穂美、笠原郁子

第3回

日時：平成27年2月4日(水) 19:00~20:30

場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2丁目）

参加者：山本和秀、池田房雄、山崎典子、難波志穂子、木村勝弘、小山道弘、犬山奈穂美、笠原郁子

平成27年度

○平成27年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会および責任者向け研修会

日時：平成27年8月7日(金) 10:00~12:00 協議会

13:00~16:40 責任者向け研修会

会場：国立国際医療研究センター病院（東京都新宿区戸山1-21-1）

出席者：高木章乃夫、小山道弘

○平成27年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会および責任者向け研修会

日時：平成28年1月15日(金) 10:00~12:00 協議会

13:00~16:40 責任者向け研修会

会場：国立国際医療研究センター病院（東京都新宿区戸山1-21-1）

出席者：高木章乃夫、小山道弘

○岡山県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会

第1回

日時：平成27年7月15日(水) 19:00~20:30

場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2丁目）

参加者：岡田裕之、高木章乃夫、池田房雄、山崎典子、難波志穂子、木村勝弘、小山道弘、犬山奈穂美、笠原郁子

第2回

日時：平成27年11月11日(水) 19:00~20:30

場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2丁目）

参加者：岡田裕之、高木章乃夫、池田房雄、山崎典子、木村勝弘、小山道弘、犬山奈穂美、笠原郁子



学術活動



いろいろな学会で
活動報告をしてきました。
雑誌にも載せて
いただきました。



↑
注目



チームの活動を
学会や雑誌に報告しました。
震災前の熊本城にも
お邪魔しています。



前相談センター長
山本先生の最終講義。
肝疾患サポートチームからも
参加させていただきました。
ありがとうございました。
お疲れ様でした♥

院内 肝臓病教室/家族支援講座 準備確認表

		内 容	内 容 / 留 意 点	時 期	担 当 者	
開催前	講師	◇ 講師依頼(日程調整)	開催ごとのテーマに従って依頼診療科/部署を検討	年度初め		
	施設関係	◇ 会場予約	入院棟6階西病棟・東病棟のカンファレンスルーム	年度初め		
		◇ クリッカー予約	医療教育統合開発センターに使用申込	年度初め1年分		
	広報	◇ ポスター作成	ポスター作成後、掲示許可を得る	開催1ヶ月前		
		◇ 院内広報	院内の掲示板 サイネージ掲載【電子掲示板】(システム係に依頼)	開催1ヶ月前		
		◇ 当センターHPに掲載	ホームページ管理→ご案内とポスターをUP	開催1ヶ月前		
	講師	◇ 確認も含めて再依頼	具体的な講演内容についてすりあわせ	開催3ヶ月前		
	PC関係	◇ 医局PC予約	クリッカーインストールPC貸出し予約	開催1週間前		
		◇ クリッカー質問挿入	講演内容を反映させたクイズを組み込む			
		◇ スライド合わせ	テーマ/他講師との整合性確認			
		◇ PCに挿入	あらかじめ講義順にしたスライドのファイルを挿入			
	印刷	◇ 参加者カード	参加者カードを印刷	開催1週間前		
		◇ 台紙とシール	台紙とシール印刷 シール切り取り			
		◇ 缶バッジ	台座に原稿をいれ、作成			
		◇ 当日配布資料	講演順に一冊にしたものを印刷			
		◇ 参加者調査用紙	不足が無いように多めに印刷			
◇ 自由持帰りパンフ		製薬会社などのパンフの確認とテキストの確認				
当日	会場準備	◇ 会場までの道案内	矢印表示で会場まで誘導するものを院内に掲示	開催当日	全員	
		◇ 会場設営	パーティションを撤去し広い部屋にする			
			イス、机を参加者の動線に配慮しながら設置			
	◇ 受付コーナー設置	シールや自由持ち帰りパンフレットなどを並べる				
	PC確認	◇ プロジェクター接続	2台のプロジェクターを繋いで上映可能にセッティング	開催直前		
		◇ PC作動確認	講演用のファイルの確認 クリッカー操作の確認(含:各端末の感知状況)			
	会場	◇ 配布物	資料や参加者調査用紙をあらかじめ配布	開催直前		
	広報	◇ 院内放送	直前に、院内放送で来院者に開催アナウンス	開催直前		
		配布物	◇ 参加者カード	参加者ひとりひとりに確実に渡す。 また、クリッカー端末、調査用紙は確実に回収	開催直前	
			◇ 調査用紙			
◇ 配布資料						
後	片付け	◇ 会場の現状復帰	パーティション設置、イス、机を整える	開催後		

準備物	会場持ち込み	◇ 配布物関係	シールと台紙、参加者カード、調査用紙、配布資料、ボールペン、アンケート回収BOX	開催直前	
		◇ PC/プロジェクタ関係	パソコン、クリッカー、ポインター、接続用ケーブル		
		◇ 会場準備	パーティション用ハンドル、顕微鏡用カーテン		
		◇ マイク	司会/進行、講演者用マイク		
		◇ 記録	カメラ		

院外 肝臓病教室 準備確認表

		内 容	内 容 / 留 意 点	時 期	担 当 者
開催前	交渉	◇ 日程調整	希望する講演内容、場所、参加者人数を確認、開催候補日選定	開催3ヶ月前	
		◇ 採血依頼	開催場所、採血人数によって肝炎一次専門医療機関もしくは院内職員に依頼		
	調整	◇ 講師依頼	講演内容の希望に応じ院内調整(職種ごとに依頼)	開催3ヶ月前	
		◇ 役割分担表	肝炎検査を実施する際の役割担当表を作成	開催1週間前	
	物品発注	◇ 採血物品発注	肝炎検査に必要な衛生材料を参加者人数に合わせ発注	開催1ヶ月前	
	スライド	◇ 各職種ごとに	サポートチーム間で内容の調整を行い、講演者による内容のバラツキを防ぎ、同一職種で共有可能な「ひな形」を作っておく	年度初め	
		◇ 講師依頼時(医師)	組み合わせ職種を伝え、必要に応じてスライドの微調整依頼	開催1ヶ月前	
	クッリカー	◇ クリッカー予約	医療教育統合開発センターに使用申込(クッリカーPC・端末)	開催1ヶ月前	
	移動	◇ 公用車の予約	開催日時にあわせ公用車の予約申込	開催3ヶ月前	
	広報	◇ ホームページ	ホームページ管理→開催日程表をUP	開催1週間前	
		◇ スライド合わせ	他講師との整合性確認	開催1週間前	
	PC関係	◇ PCに挿入	あらかじめ講義順にしたスライドのファイルを挿入		
		◇ USBに保存	万が一のために別媒体にファイルを保存・別々に搬送		
	直前連絡	◇ 事務連絡	参加スタッフ全員に集合時間・場所・役割分担表等をメールで連絡	開催2週間前	
	印刷	◇ 当日用配布資料	講演順に一冊にしたものを印刷する	開催3日前	
◇ 参加者調査用紙		不足が無いように多めに印刷			
◇ 岡山県内の専門医情報		肝炎一次専門医療機関の一覧表(A4版)			
◇ クリップ止め		配布するものを一人分ずつクリップ止め			
当日	P C 関係	◇ プロジェクター接続	スクリーン(白壁)の状況確認・ピントあわせ	開催当日	
		◇ PC作動確認	講演用のファイルの確認 クッリカー操作の確認(含:各端末の感知状況)		
	会場	◇ 配布物	資料とクリップ止めしたものをあらかじめ配布		
	配布関係	◇ 調査用紙	参加ひとりひとりに確実に渡す。		
◇ 配布資料		また、クッリカー端末、調査用紙は確実に回収			
開催後	片付け	◇ 物品、環境整備	忘れ物がないか、血液付着がないかの確認	開催当日	
帰院後	写真	◇ カメラ	可能なら終了後、訪問先スタッフと写真撮影		
	検体処理	◇ 検査部配達	院内で検体処理をする場合は速やかに検査部に配達	開催当日	
	結果郵送	◇ 結果郵送	肝炎ウイルス検査結果を受領し、結果を郵送/陽性者には個別連絡	開催3週間後	

準備物	会場持ち込み	◇ 配布物関係	講演資料、同意書/調査用紙/肝炎ウイルス検査問診票	開催直前	
		◇ 採血用物品	採血に必要な物品		
		◇ PC/プロジェクタ関係	パソコン、クッリカー、ポインター、接続用ケーブル		
		◇ 延長コード	2本=PCとプロジェクター用として		
		◇ テキスト	当院オリジナルの「出張肝臓病テキスト」		
		◇ USBメモリー	肝炎PCとは別にして搬入		
		◇ 記録	カメラ		

職場に
出向いて
講演します

岡山大学病院 出張 肝臓病教室のご案内

肝炎に対する正しい知識を得ませんか？
あなたの認識が、差別/偏見を解消し、一人一人を
大事にする環境を作る第1歩となります！



肝炎相談センター
センター長 高木 医師

目的

1. 職場での肝炎に対する差別/偏見の解消
2. 肝炎ウイルス検査の受検の促進

**当院のスペシャリストがチームを組んで、
あなたの職場を訪れます。**

医師、薬剤師、看護師、
理学療法士、管理栄養士、
ソーシャルワーカー、事務員、
などの多職種が連携して
活動を展開しています。

それぞれの職種が話す講演内容の一部



医師

肝臓病の病態、最新の治療、
厚生労働省の方針

治療にかかる費用、助成制度

差別の現状、感染予防対策、
生活上での肝臓をいたわる工夫

肝臓病に使われる薬剤、
ワクチンの情報

肝臓に優しい食事、
栄養バランスのとれた食生活

メタボを防ぐ運動、
職場でできるロコモコ体操



ソーシャル
ワーカー



看護師



薬剤師



管理栄養士



理学療法士

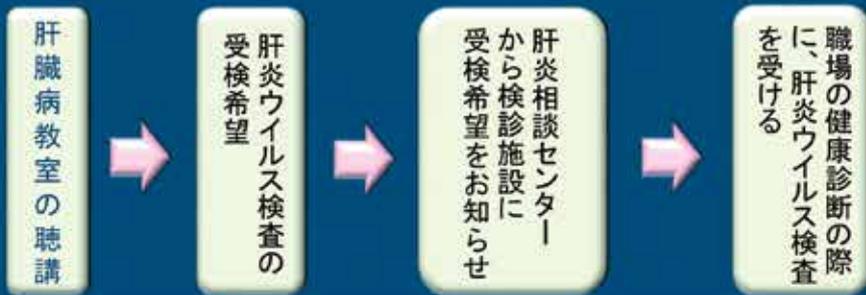
肝炎は、よほど進行しない限り自覚症状もなく、肝炎ウイルス検査を受けないかぎり、感染しているかどうかはわかりません。私たちは、一人でも多くの方に肝炎ウイルス検査を受けてもらい、肝硬変や肝癌といった深刻な病気に進行する前に、感染に気がつき、適切な治療を受ける環境を整えたいと願っています。

無料
です。

連絡先：岡山大学病院内 肝炎相談センター
担当：山崎、笠原、犬山、難波、小山
電話：086-235-6851
FAX：086-235-7613
e-mail：ijika@adm.okayama-u.ac.jp



肝臓病教室で講演を行うだけではありません。
 肝臓病教室を聴講して下さった人が、肝炎ウイルス検査を受検する希望がある場合には、
 検診施設の情報提供や職場検診の際に検診施設に、肝炎ウイルス検査の受検希望がある
 ことを当院の肝炎相談センターのスタッフからお知らせし、スムーズに検査ができるようにお
 手伝いします。
 (※肝炎ウイルス検査を受けることは職場には知らせることはありません。
 守秘義務を守って、実施します。)
 もし、希望されれば、その場での肝炎ウイルス検査を受検する機会を準備することも検討します。



実際に聴講した参加者の声

- ・肝炎ウイルスの検査は、採血だけでできるなんて知らなかった。
- ・肝機能検査と肝炎ウイルス検査は別だと初めて知りました。
- ・肝臓が悪いと黄疸や腹水がでることは知っていたけれど、初期ではまったく自覚症状がないとわかって、びっくりした。
- ・肝臓をいたわった食事を意識しようと思った。
- ・ウイルス性肝炎が、国内の最大級の感染症とか、感染に気がついていない人がたくさんいるのは知らなかった。自分には無関係と思っていましたが、検査を受けようと思いました。



☆☆☆開催にあたってのお願い☆☆☆

- ・講演者の調整のため開催日決定までにお時間を頂く場合がございます。
- ・講演日は、可能な限り複数の候補日をご検討ください。
- ・原則は、午後から（夕方ちかくの時間だと大変ありがたいです）の開催をお願いします。
- ・講演は、1時間程度です。

保健所や市町村での肝炎ウイルス検査陽性者に対する受診勧奨の方法や肝炎ウイルス検査受検率向上のための具体的対策の相談にも応じます♪



**講演内容・時間は調整しますので、
 ご相談下さい。講演料は不要です。**

◇◇◇◇◇ お役立ちツール ◇◇◇◇◇

しおり

- 目的や概要の記載 1ヶ月前
- 日程表の記載、集合時間、集合場所の記載、着衣 3週間前
- 参加者役割と役割ごとの手順、参加者に対してスタッフが説明をする場合には説明内容と手順 2週間前
- 参加者ごとに全体のシフト表 2週間前
- 会場レイアウト 2週間前
- 謝辞 2週間前
- しおりの全体の完成と配布 10日前

パンフレットやちらしなどの配布物

- 製薬会社等/「知って、肝炎」にパンフレットなどの提供物依頼 1ヶ月前
- MOMO肝通信 1ヶ月前
- 出張肝臓病教室のご案内 1ヶ月前

広報

- 記者クラブの日程確認 2ヶ月前
- 記者クラブのスライド・提出文書作成 2ヶ月前
- 記者クラブでの発表 1ヶ月前
- ポスティング 1週間前
- 院内でのポスター掲示 1ヶ月前
- 訪問依頼 1ヶ月前
- DVDの設置 当日

ポスター

- ポスター・ちらしの考案 可能な限り早く
- ポスター・ちらしの発注 1ヶ月前

のぼり

- のぼりの考案 1ヶ月前
- のぼりの発注 3週間前

Tシャツ

- Tシャツの考案 1ヶ月前
- Tシャツの発注 3週間前

タスキ

- タスキの考案 1ヶ月前
- タスキの発注 3週間前

ボールペン

- ボールペンの考案 1ヶ月前
- ボールペンの発注 3週間前

スライド/肝炎啓発ポスター

- スライド//肝炎啓発ポスターのテーマをお知らせ 2ヶ月前
- 肝疾患サポートチームではないスタッフに依頼する場合は、部署の長に依頼 2ヶ月前
- 本人に依頼 2ヶ月前
- スライドの内容確認 3週間前
- フォトセンターへの印刷予約 1週間前

肝疾患サポートチームの活動報告
～ 3年間の歩み～
拠点病院活動としての取組

平成28年10月25日 印刷
平成28年10月28日 発行

岡山大学病院
岡山県肝疾患診療連携拠点病院
〒700-8558
岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
TEL 086-235-7219

